

RADIOLOGICAL SAITAMA

NO.2
2018



[連載企画] ③Talbot-Lau 干渉計撮影装置による臨床撮影

③精査施設における Digital Breast Tomosynthesis の現状

②「MRI の性能評価」スライス厚の測定方法

[誌上講座] 骨軟部撮影セミナー 2017 抄録集

[総会資料] 第 7 回定期総会資料

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

<http://www.sart.jp>

E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

2018/5
MAY
VOL.66

CONTENTS

連載企画

- 「Talbot-Lau 干渉計撮影装置による臨床撮影」
～位相コントラスト撮影による早期リウマチ診断の有用性～
埼玉医科大学病院 仁藤 真吾 13
- 「精査施設における Digital Breast Tomosynthesis の現状」
～臨床使用から見えた有用性と課題～
埼玉医科大学総合医療センター 杉村 瞳 17
- 「MRI の性能評価」
～スライス厚の測定方法～
埼玉県済生会栗橋病院, さいたま市立病院
渡邊 城大, 大谷 真由美, 藤田 功 24

誌上講座

- 平成 28 年度 SART・TART 地区合同勉強会
骨軟部撮影セミナー 2017
～初学者からベテランまで抑えておきたい四肢撮影技術～ 28
- 「THA 術前計画における股関節 30° 内旋位 PA 撮影の検討」 29
さいたま赤十字病院 大河原 侑司
- 「造影 Dual Energy CT における乾癆性関節炎の画質評価」 34
東京慈恵会医科大学附属病院 宮崎 健吾

総会資料

第 7 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

- 第7回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会 40
- 平成29年度事業報告(案) 42
- 平成29年度(公社)埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項 60
- 平成30年度事業計画 10年先のAIを見越して 62
- 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款 64
- 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程 69
- 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 79
- 平成30年度当初予算 80

巻頭言

- 付度
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏 1

会告

- 第7回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会のお知らせ— 2
診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー
(第20回SARTセミナー)— 3
- 平成30年度埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会
～乳腺編～ 4

お知らせ

- 第41回 SAITAMA MRI Conference/
関東MR研究会合同特別講演会のご案内 5
- 業務拡大に伴う統一講習会(埼玉県 第11回)のお知らせ— 7
- 第34回 日本診療放射線技師学術大会 9
- 「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」— 10

本会の動き

- 平成30年公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
新春の集い開催報告 82
- 平成29年度第16回胸部認定試験開催報告 83
- 平成29年度第9回CT認定試験 開催報告 84
- 平成29年度第17回上部消化管検査認定試験 開催報告 85
- 第32回埼玉県診療放射線技師学術大会開催報告 86
- 平成29年度埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会報告 90
- 平成29年度受賞者 91
- ご寄付お礼 92

各支部勉強会情報

- 各支部勉強会情報 93

各支部掲示板

- 第一支部 95
- 第二支部 96
- 第三支部 98
- 第四支部 100
- 第五支部 104
- 第六支部 105

求人コーナー

- 医療法人社団 嬉泉会 春日部嬉泉病院 109
- 求人広告掲載申し込みFAX用紙 110

議事録

- 平成29年度 第2回常務理事会議事録(抄) 111
- 平成29年度 第3回常務理事会議事録(抄) 113
- 平成29年度 第4回常務理事会議事録(抄) 115
- 平成29年度 第6回理事会議事録(抄) 117
- 平成29年度 第7回理事会議事録(抄) 123
- 平成29年度 第8回理事会議事録(抄) 130

会員の動向

- 会員の動向(平成30年2月28日現在) 137

役員名簿

- 平成30年度役員名簿 138

- 正会員入会申込書 140
- 退会届 142
- 会員異動届 143
- 年間スケジュール 144
- 編集後記

忖度

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏



広辞苑で「他人の心中をおしはかること、推察」と記されており、例として「相手の気持ちを忖度する」とある。

会社で企画書を提出しプレゼンを行う場合、その決裁権者がどのような資料を要求するのか、またどのようなポイントでプレゼンをするのが効果的か忖度しながら資料を作成する。仕事上の報告でも、上司によって報告は事前なのか、事後でもいいのか、その報告内容の重要性を鑑みながら報告のタイミングを忖度する。彼氏彼女とのデートでも、食事をする場所やメニューも忖度するであろう。私たちの仕事も同様であり、患者の状態はもちろん、主治医や依頼医の要望を忖度し、撮影を追加する場合もある。他部門との円滑な連携をとるために、事前に調整をするなど忖度をすることがある。

世の中、忖度だらけである。むしろ、忖度能力の高い人ほど仕事がスムーズに進むことが多いのではないか。

さて、忖度能力は元から有している人もいるが、社会人になって能力を身に付ける人、さらに磨きを掛ける人もいる。私は人との出会いが多い人は、忖度能力が高いと考えている。それも同業者はもちろん、多種の異業種との出会いは、自分の人生を変えるきっかけにもなる。

私は経営者で構成される地元の商工会や法

人会に所属している。ある品物を購入しなければならないとき、どうせ買うなら量販店ではなく、地元法人会のお店から購入することがある。普段通りカード払いにしようとしたとき、できれば現金で支払ってほしいと言われて、理由を聞くと、カード決済の場合はお店側がカード会社に数%の手数料を支払う仕組みになっているという。それを知ってからは、知り合いの個人経営のお店での決済は現金で行うようにしている。そうすることにより、相手側はより感謝をしてくれるようになった。このような忖度ができるようになったのも、法人会での出会いがあったからである。また役所や会社では、庁内の会議や社内の打ち合わせは午後にあることが多く、前日に依頼メールを送り、朝仕事が始まった直後にメールの内容について電話連絡を行うようにしている。そうすることで、私からの依頼事はその日から取り掛かることが可能であり、お互いが円滑に仕事を進めることができるということが分かった。これも銀行マンなど大手サラリーマンとの出会いがあったからこそ、学ぶことができた忖度である。

業種により常識も習慣も異なり、多くの出会いを経験できる環境に身を置くことで、自分の常識が世の中の常識ではないということに気付くことができる。

忖度能力をUPするために出会いを求めませんか。

第 7 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏

日 時：平成 30 年 6 月 17 日（日）

総会会場：浦和コミュニティセンター 10 階 第 13 集会室

〒330-0055 浦和区高砂 11-1 (TEL) 048-887-6565

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 総会 | 14：00～15：40 |
| 2. 休憩 | 15：40～15：50 |
| 3. 特別講演 | 15：50～16：50 |
| 4. 情報交換会 | 17：30～ |

【特別講演】

講 師：ヤセ騎士（ナイト）

テーマ：「お笑い健康講座」

事務所：オスカープロモーション

紹 介：日本ダイエット健康協会認定、ダイエットインストラクター芸人

お笑い芸人兼、ダイエットの個別指導やカウンセリングを行っています！

2006 年～2010 年吉本興業（大阪）所属で魔界岩棲（マカイロックス）という芸名で活動

情報交換会

総会終了後、情報交換会を準備しております。お時間の許す方はご参加お待ちしております。

情報交換会会場：海鮮居酒屋 魚盛 浦和店

〒330-0056 さいたま市浦和区東仲町 1-23 浦和駅東口石井ビル 2F

(TEL) 050-3466-2814

情報交換会参加費：4,000 円

JR 浦和駅 東口 徒歩 1 分 ※駅を出て目の前のビル 2F

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー (第20回 SART セミナー)

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
公益社団法人日本診療放射線技師会

新入会員の方を対象として行われている本セミナーは、(公社)日本診療放射線技師会と合同企画として開催します。公益法人として日本診療放射線技師会、埼玉県診療放射線技師会の活動紹介、および学術関係の基礎的な知識や実習に加え、新入会員の方のみでなく全ての会員を対象とした講習内容を予定しています。皆さまの受講をお待ちしております。

プログラム (敬称略)

平成30年6月10日(日)

08:30～	受付開始	
08:55～09:00	開講式・オリエンテーション	
09:00～09:20	会長挨拶・技師会について	田中 宏(埼玉県診療放射線技師会会長)
09:20～09:50	社会人としてのエチケット・マナー講座	中根 淳(埼玉医科大学総合医療センター)
09:50～10:20	患者さんに優しい診療放射線技師	大河原侑司(さいたま赤十字病院)
10:20～10:30	休憩	
10:30～12:00	医療安全講座 感染対策講座	矢島 慧介(上尾中央総合病院)
12:00～12:50	昼食(ご用意致します)	
12:50～13:20	実際の検査について 消化器	浅見 純一(行田中央総合病院)
13:20～13:50	実際の検査について CT・肺	荻野 奈規(済生会川口総合病院)
13:50～14:20	実際の検査について MRI	明田川尚宏(埼玉医科大学病院)
14:20～14:50	実際の検査について 一般撮影	高橋 忍(埼玉医科大学病院)
14:50～15:00	休憩	
15:00～16:30	気管支解剖講座	富田 博信(済生会川口総合病院)
16:30～	入会案内・閉講式	

記

日 時：平成30年6月10日(日)

場 所：済生会川口総合病院 東館B1講堂(JR・京浜東北線 西川口駅西口徒歩10分)

受講料：無料

受講資格：診療放射線技師であればどなたでも受講できます

定 員：70人程度

申込方法：本会 Web サイトからお申し込みください <http://www.sart.jp/>

締め切り：平成30年5月28日(月)

※参加申込書受付のご連絡、受講券の発行などは致しません。参加申し込み後、そのまま会場にお越しください。(公共の交通手段をご利用ください)

平成 30 年度埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会 ～乳腺編～

日 時：平成 30 年 6 月 24 日（日）13 時～17 時 30 分

場 所：さいたま赤十字病院 7 階 第 1～6 会議室

参加費：2,000 円（会員，非会員共に）

プログラム（敬称略）

13：00～ 開会のあいさつ 埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏

セッション I

13：10～14：40

座長 さいたま赤十字病院 山田 智子

講演 1 MMG の撮影法と読影法

熊谷総合病院 亀山 枝里

講演 2 US の検査法と読影法

埼玉協同病院 新島 正美

講演 3 MRI の検査法と読影法

関東中央病院 坂井 香澄

セッション II

14：50～15：35

座長 済生会川口総合病院 土田 拓治

講演 高濃度乳房のデジタル解析

首都大学東京 准教授 根岸 徹

セッション III

15：50～17：30

座長 埼玉県立小児医療センター 田中 宏

さいたま赤十字病院 山田 智子

教育講演 1 乳癌の臨床

二宮病院 副病院長 二宮 淳

教育講演 2 乳腺外科医から診療放射線技師に臨むこと

さいたま赤十字病院 乳腺外科 部長 齊藤 毅

※プログラム内容および講演時間は、多少変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください
最新版は、埼玉県診療放射線技師会のホームページにアップしますのでご確認ください

第41回 SAITAMA MRI Conference / 関東 MR 研究会合同特別講演会のご案内

SMC代表世話人 栗田 幸喜

謹啓

時下ますますご清祥の段、誠にお慶び申し上げます。

このたび、関東部会関東 MR 研究会と合同で MRI 講演会を開催致します。今回のテーマは『圧縮センシングと頭部領域の臨床』とし、実際の検査に必要な基礎知識から最先端の情報、臨床まで幅広く網羅した内容となっており、各分野に御高名な先生に講演をしていただきます。皆さま方には奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

日 時：平成 30 年 6 月 23 日（土）13：30～16：40（受付開始 13：10～）

場 所：大宮ソニックシティホール 国際会議室（裏面参照）

参加費：1,000 円

【造影剤最新情報】

13：30～13：40
バイエル薬品（株）

『教育講演』

13：40～15：30
座長：草加市立病院 放射線科 佐藤 広崇

【頭頸部の MRI ～シーケンスと脂肪抑制法の使い分け～】

講師：自治医科大学附属病院 中央放射線部 山越 一統

【圧縮センシングだけではない最近のトレンド情報】

講師：獨協医科大学埼玉医療センター 放射線部 宿谷 俊郎

【Prisma3.0T を使用した圧縮センシングの基礎的検討】

講師：信州大学医学部附属病院 放射線部 木藤 善浩
— 10分休憩 —

『特別講演』

15：40～16：40
座長：さいたま市立病院 放射線科 藤田 功

【頭蓋内血管の“from A to Z”】

～形態・動的・機能評価の基礎及び臨床応用から最近の TOPICS まで～

講師：杏林大学医学部 放射線医学教室
五明 美穂先生

共催：SAITAMA MRI Conference (SMC) / 日本放射線技術学会 関東 MR 研究会 / バイエル薬品株式会社

- * 磁気共鳴専門技術者更新のための研究会（5単位）として認定されております。
（当日、受付にて更新の為の個人票に押印致しますので、ご提示ください）
- * 日本救急撮影技師機構より2ポイントとして認定されております。

【会場地図】

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5（大宮（埼玉県）駅西口から徒歩約3分）
大宮ソニックシティホール 4F 国際会議室 TEL：048-647-4111



業務拡大に伴う統一講習会（埼玉県 第 11 回）のお知らせ

主催 公益社団法人日本診療放射線技師会
後援 厚生労働省

業務拡大に伴う統一講習会を下記の通り開催致します。診療放射線技師法が平成 26 年 6 月 18 日に一部改正されました。具体的な内容は、CT・MRI 検査などでの自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含む）、画像誘導放射線治療時における腸管ガス吸引のためのチューブ挿入が挙げられます。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を確保することが求められ、必要な知識・技能・態度の習得を目標として本講習会を開催します。なお、静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会受講修了者と注腸 X 線検査統一講習会受講修了者には受講が免除される科目がありますので、プログラムをご参照ください。

記

開催日：平成 30 年 9 月 1 日（土）、2 日（日）

場 所：深谷赤十字病院 多目的ホール
埼玉県深谷市上柴町西 5 丁目 8 番地 1

定 員：70 人

受講料：

	日本診療放射線技師会会員	非会員
通常（受講実績なし）	15,000 円	60,000 円
静脈注射既修了者	13,000 円	50,000 円
注腸 X 線検査既修了者	5,000 円	35,000 円
静脈注射及び注腸 X 線検査既修了者	3,000 円	15,000 円

申込方法：JART 情報システムよりお申込みください。

※会員・非会員に関わらず、JART 情報システムの利用登録が必要です。

※詳細は、JART 情報システムに掲載しますのでご確認ください。

問合せ先：済生会川口総合病院 放射線技術科 城處洋輔

TEL 048-253-1551 mail y-kidokoro@sart.jp

JART

公益社団法人日本診療放射線技師会

業務拡大に伴う統一講習会 ＜通常開催＞ 北関東地域（埼玉県）

平成30年9月1日（土）、2日（日）
深谷赤十字病院 多目的ホール
〒366-0052
埼玉県深谷市上柴町西5丁目8番地1

講習会1日目 9月1日（土）

	時間	分	科目	※1	※2	※3
1	8:20～8:50	30	受付	免除	受付	免除
2	8:50～9:00	10	開講式・オリエンテーション			
3	9:00～9:50	50	講義（DVD放映）静脈注射関係			
4	9:50～10:40	50	講義（DVD放映）静脈注射関係			
5	10:40～10:50	10	休憩			
6	10:50～11:40	50	講義（DVD放映）静脈注射関係			
7	11:40～11:50	10	休憩および準備			
8	11:50～13:10	80	実習・演習 静脈注射			
9	13:10～14:00	50	昼休憩	受付	受講	受付
10	14:00～14:50	50	講義（DVD放映）法改正			
11	14:50～15:40	50	講義（DVD放映）IGRT			
12	15:40～15:50	10	休憩			
13	15:50～16:40	50	講義（DVD放映）IGRT			
14	16:40～17:30	50	講義（DVD放映）IGRT			
15	17:30～17:40	10	休憩および準備			
16	17:40～18:40	60	実習・演習 BLS	受講		

実習がありますので、身軽な服装でご参加下さい。特に女性の参加者は襟が深めのシャツ、ローライズのズボン、ヒールの高い靴などは実習に支障をきたす可能性がありますのでご配慮ください。

講習会2日目 9月2日（日）

	時間	分	科目	※1	※2	※3
1	8:20～8:50	30	受付	受付	免除	免除
2	8:50～9:00	10	オリエンテーション			
3	9:00～9:50	50	講義（DVD放映）下部消化管			
4	9:50～10:40	50	講義（DVD放映）下部消化管			
5	10:40～10:50	10	休憩			
6	10:50～11:40	50	講義（DVD放映）下部消化管			
7	11:40～12:30	50	講義（DVD放映）下部消化管			
8	12:30～13:20	50	昼休憩			
9	13:20～14:10	50	実習・演習 下部消化管	受講	受付	受付
10	14:10～14:20	10	休憩および準備			
11	14:20～15:10	50	実習・演習 IGRT			
12	15:10～15:20	10	休憩および準備			
13	15:20～16:10	50	試験説明および確認試験			
14	16:10～16:30	20	解答用紙回収、確認作業			
15	16:30～16:40	10	閉講式			

※1 静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会受講修了者

※2 注腸X線検査統一講習会受講修了者

※3 静脈注射および注腸X線検査の受講修了者

第34回 日本診療放射線技師学術大会

The 34th Japan Conference of Radiological Technologists (JCRT)

第6回 アジア放射線治療シンポジウム

The 6th Asia Radiotherapy Symposium (ARTS)



国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

一時代の潮流を見極める一

The Direction of Tomorrow

会期
Date

平成30年
9月21日(金)~23日(日)

September 21st (Fri) -23rd (Sun) , 2018

会場
Venue

海峡メッセ下関
下関市生涯学習プラザ

KAIKYO MESSE SHIMONOSEKI /
Shimonoseki City Lifelong Learning Plaza

会長
President

中澤 靖夫

(公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)

Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長
Chairman

山内 秀一

(一般社団法人 山口県診療放射線技師会 会長)

Shuichi Yamauchi (The Yamaguchi Association of Radiological Technologists)

URL:<http://www.convention-w.jp/jcrt34>

主催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

Host: The Japan Association of Radiological Technologists

共催: 一般社団法人 山口県診療放射線技師会

Cosponsor: The Yamaguchi Association of Radiological Technologists

後援: 厚生労働省(予定)

Support: Ministry of Health, Labour and Welfare

山口県(予定)

Yamaguchi Prefecture

下関市(予定)

Shimonoseki City



運営事務局 株式会社日本旅行 中四国コンベンショングループ

Congress Secretariat

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階 TEL:086-259-5578 FAX:086-250-7682 E-mail:jcrt34@wjcs.jp

Nippon Travel Agency Co.Ltd. Chu-shikoku Convention Group 2-1-7, Ekimae-cho, Kita-ku, Okayama, 700-0023, JAPAN Phone: +81-86-259-5578 Fax: +81-86-250-7682 E-mail: jcrt34@wjcs.jp

「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」

編集情報常務理事
八木沢 英樹

本会会員は、専用アカウント（ID / PW）を用いてメディカルオンライン無料閲覧サービスを受けることができるようになりました。

※メディカルオンライン（Medical Online）とは、医学論文をダウンロード 医療の総合ウェブサイト。医学文献の検索全文閲覧をはじめ、医薬品・医療機器・医療関連サービスの情報を幅広く提供する、会員制の医学・医療の総合サイト。

サービスの内容：メディカルオンラインで掲載の本学会誌「埼玉放射線」（全文・アブストラクト）、および他学会誌アブストラクトを無料で閲覧・検索することができます。

2018 年度アカウントについて
<～ 2019 年 3 月末日まで有効 >

学会様専用 ID：1100007180-03
パスワード：9qhwxv7r

雑誌名：埼玉放射線
雑誌 URL：http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ew2saita

貴会雑誌 URL をクリックしますと、機関誌アーカイブ画面へ遷移します。
画面右側の会員認証欄に上記 ID/PW ご入力後、機関誌の閲覧が可能となります。
(添付：学会誌閲覧方法.pdf ご参照)

*重要 アカウントの更新・移行期間に関して

専用アカウントは、1 個発行し、年度毎（4 月～3 月）で変更致します。
今回は、2019 年 2 月上旬に新アカウントを事務局さま（本 Mail アドレス）へご案内致します。

*メディカルオンラインでの検索は自由、アブストラクトは全誌閲覧可能です。

なお、埼玉放射線以外で全文ダウンロードボタンを押すと
「あなたは文献をダウンロードする権限がありません」と表示されます。
あらかじめご承知おき願います。

*メディカルオンラインご利用に際してのお願い

一定時間内に論文を大量にダウンロードする事は、会員規約で禁止事項としています。

◆メディカルオンライン会員規約◆

<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkiyaku.pdf>

※大量ダウンロードが発生した場合

そのご利用端末に対し、最大で1時間の利用停止措置の案内がメディカルオンラインより自動配信されます。

配信後においてもさらに続きますと、メディカルオンラインのサーバーに必要以上の負荷が掛かるため
本会専用アカウントの利用停止に至る場合があります。

株式会社メテオ

コンテンツ部

東京都千代田区神田須田町 2-7-3

TEL : 03-5577-5877 FAX : 03-5577-5878

学会誌 閲覧方法



学会誌無料閲覧サービスにお申込みいただきありがとうございます。
閲覧方法(手順)について、ご説明させていただきます。



学会誌アーカイブ

① 雑誌名URL:<http://mol.medicalonline.jp/>.....

インターネット上で雑誌名URLにアクセスすると、
メディカルオンライン掲載中の貴学会誌アーカイブが
表示されます。

② 学会様専用アカウント(ID・PW)でログインを行い、
閲覧したい巻号をクリックします。



論文タイトル

③ 論文タイトルが表示されますので、
ご覧になりたい「アブストラクト」、
「全文ダウンロード」をクリックしてください。



アブストラクト



全文PDF

メディカルオンラインでの検索は自由。
他学会誌・商業誌はアブストラクトのみ無料で閲覧できます。

*ご利用に関しては、“Medical*Online会員規約”に準じます。
<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkyaku.pdf>
一定時間内に大量に論文をダウンロードした場合、該当の端末でのご利用を一時的に停止させていただきます。
また、サイト内に広告が表示される場合がございますので、予めご了承下さい。

株式会社メテオ

「Talbot-Lau 干渉計撮影装置による臨床撮影」

～位相コントラスト撮影による早期リウマチ診断の有用性～

埼玉医科大学病院

仁藤 真吾

1. はじめに

われわれ診療放射線技師が単純撮影で扱う X 線画像は、X 線が物体を透過した後の強度変化を画像化したものである。単純写真は骨などの重元素で良好なコントラストを形成するが、軽元素が多い軟部組織の描出感度は乏しい。

位相コントラストは X 線の波としての性質を利用し、物体を透過した際の位相変化に起因するコントラストであり、感度は単純撮影の 1000 倍ともいわれている。位相コントラストを利用することで、これまで困難であった軟部組織の描出が可能となってきた。

2. 原理

X 線の波は Sin カーブで表すことができる (図 1)。物質に X 線が入射すると伝播速度に差が生じるため、位相に差ができていくことが分かる。この位相の差を画像化することで、従来とは違うコントラストの画像を形成することができる。

方法はいくつかあり、手段の 1 つとして Talbot-Lau (タルボ・ロー) 干渉計がある。Talbot-Lau という名称は、技術の元となる物理現象を考案した二人の学者名である。

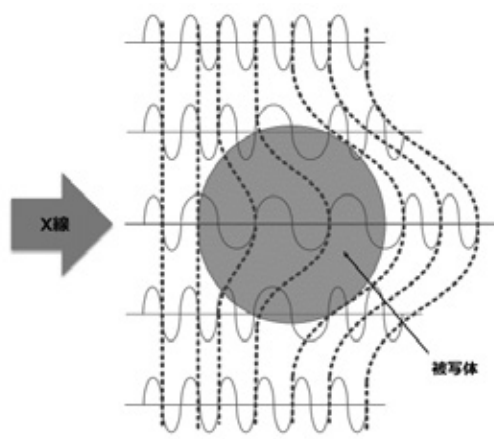
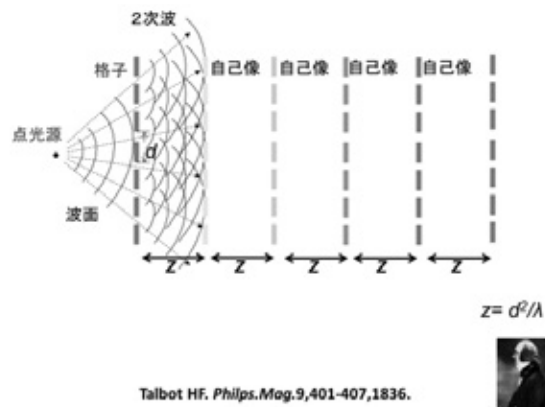


図 1 位相コントラスト

2-1. Talbot 効果

波面がそろった可干渉光が周期的物体を透過し、特定の距離だけ伝播したとき、周期的物体と同じ自己像が形成される現象を Talbot 効果と呼ぶ (図 2)。点光源の光路上に周期 d の格子を置くと、格子の各スリットで回折した 2 次波が互いに干渉し、格子の背面に自己像を結ぶ。自己像を間接的に検出することで、軟部組織を画像化することができる。

しかし、Talbot 効果では干渉性のある X 線が要求されるため、シンクロトン放射光を用いるか、出力不足の微小焦点 X 線源が必要であり、非干渉性の X 線を放射する通常の X 線管では困難である。



Talbot HF. Philips.Mog.9,401-407,1836.

図 2 Talbot 効果

2-2. Lau 効果

X 線管の後方に微小間隔 ($22.8 \mu\text{m}$) のマルチスリットを置くことで、多数の点光源を得ることができ、非干渉性であった通常 X 線を干渉性のある波に変えることができる現象を Lau 効果と呼ぶ (図 3)。

さらに、格子の配置とピッチを設定することで、各点光源による自己像が重ね合わさり、X 線を効率的に使用することができる。この 2 つの効果を組み合わせたのが Talbot-Lau 干渉計である。

シンクロトロン施設を必要とせず、干渉性がある十分な出力を得ることができるようになり、医療現場での実用が可能となった。

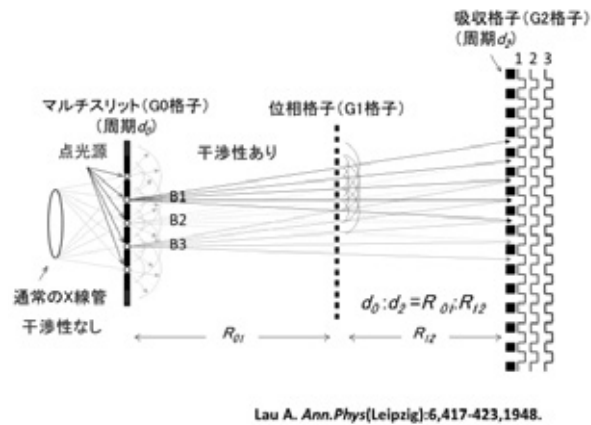


図3 Lau 効果

2-3. 画像形成原理

図4に、装置に用いる画像形成プロセスを示す。

Talbot-Lau 干渉計では3枚の格子を利用しており、X線管球側から格子をG0、G1、G2とする。

G0格子でX線源を点光源に変化させ干渉性を高め、G1格子により自己像を生成させる。G1格子の前に被写体を置くとわずかに屈折が生じ、自己像にも歪みが生じる。直接この歪みをFPDで画像化できればよいが、大きさは数 μm の大きさであり、通常は検知できない。そこでG2格子を用いてピッチの違うモアレ干渉パターンを作成し、画像を検出する。

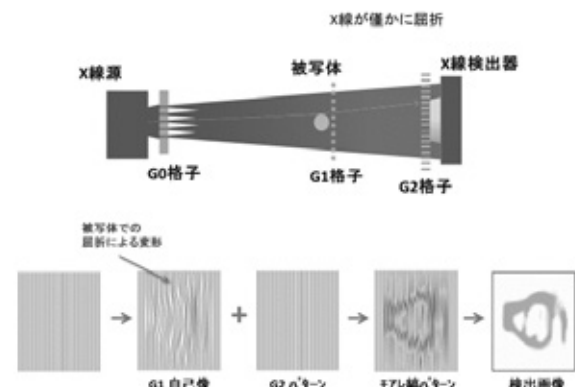


図4 画像形成プロセス

2-4. 再構成と出力画像

実際の装置を用いた撮影では、格子を移動させて濃度の異なる複数枚の画像を取得する。図5に、格子を移動させて撮影した4枚を例にとって説明する。まず画像の1つの画素に着目し、信号強度を縦軸、横軸を格子の移動量としてグラフにプロットする。同様の条件で被写体なしの場合でも同じ枚数取得し、それぞれSinカーブを描く。プロットした点での位相の差がこの画素の位相差となり、全ての画素で同様の計算を行うことで、位相差の画像化となる微分位相画像が得られる。

また、平均値の差を画像化すると吸収画像、振幅の差を画像化すると小角散乱画像が得られる。吸収画像は単純写真と同等の画像である。微分位相画像は物質間の境界を強調した画像で、構造の輪郭を捉えやすい特徴がある。X線吸収差の小さい構造体が隣接している場合に、辺縁を鮮明に描出することができ、関節軟骨や乳癌のスピキュラなどの描出に優れる。小角散乱画像は、数 μm ～数十 μm の細かい構造体が密集している組織の信号を検出できるため、微小石灰化や腫瘍内部構造などを描出するのに適している。

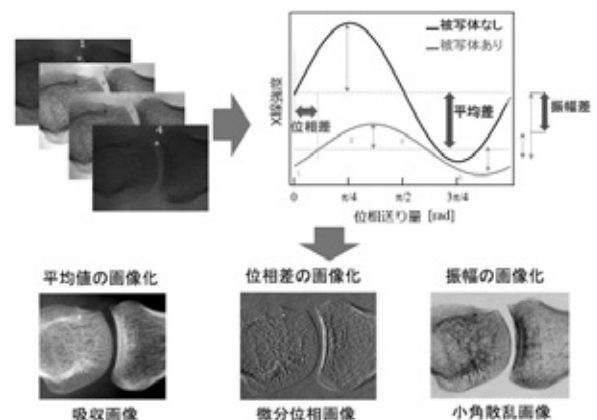


図5 再構成と出力画像

3. 早期リウマチ診断の有用性

日本のリウマチ患者数は80万人を超えるといわれており、関節リウマチ（以下、RA）は骨の変形から関節破壊に移行し、やがて日常生活に大きな機能障害をきたす自己免疫疾患である。関節の痛みから変形に進行する初期段階として、軟骨の非薄化が起こる。軟骨の状態を画像診断することでRAの早期発見につながる可能性があると考え

えられる。

- 関節軟骨の撮影部位について検討した結果、
- ① RA 症状が早期に出る部位が適する
 - ② 関節軟骨を描出するため骨の障害陰影がない
 - ③ ポジショニングが簡便で再現性があり、負担が少ない
 - ④ 装置の出力
 - ⑤ 解決すべき問題も多く部位が限定される
- 一以上のことを踏まえ、撮影部位を手指 MP 関節とした。

図 6 は、倫理委員会の承認を得て撮影した右手の解剖献体、および II～IV 指 MP 関節の画像である。中手骨遠位端に沿って 1 本の輪郭が描出されており、解剖医に撮影後、関節軟骨を露出していただき画像との一致を確認した。従来、単純 X 線画像では描出が困難といわれている関節軟骨の輪郭を描出していることが確認できた。

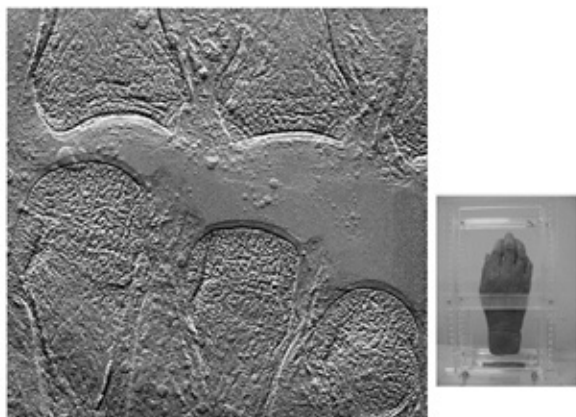


図 6 右手 II～IV 指 MP 関節 (70 代男性)

4. Talbot-Lau 干渉計撮影装置

Talbot-Lau 干渉計を用いて作成された臨床研究機である (図 7)。装置の概要と手指撮影条件を図 8 に示す。本装置で撮影した方々の片側 II 指 III 指の手指 MP 関節軟骨の厚みを評価し、RA への臨床応用について検討したものを報告する。

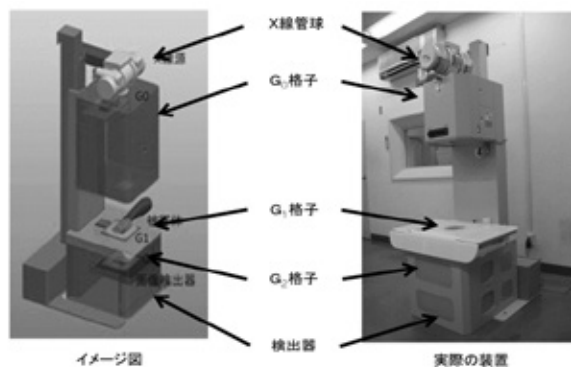


図 7 Talbot-Lau 干渉計 臨床研究機の構成

項目	臨床研究機	項目	臨床研究機
全長 (高さ) (mm)	1682	手指撮影時間 (sec)	32
全長 (幅) (mm)	540	撮影インターバル (sec)	211
焦点サイズ (μm)	400	X線照射時間 (sec)	19
G ₀ 格子の周期 (μm)	22.8	被ばく線量 (mDy)	4.8
G ₁ 格子の周期 (μm)	4.3	照射野 (mm)	50 × 50
G ₂ 格子の周期 (μm)	5.3		
FPD 変換方式	直接変換方式		
FPD 画素サイズ (μm)	85		

図 8 装置概要と手指撮影条件

4-1. 手指 MP 関節軟骨の厚み評価

RA 疑いを含む患者 36 例、健常者 54 例を対象にまとめたものを図 9 に示す。RA 患者は整形外科医に骨関節破壊の進行度を表す Steinbloker Stage 分類と Larsen Grade 法で分類してもらい、軟骨の厚みを比較した。軟骨の厚みは 1 関節ごとに 3 カ所所で測定し平均値を求めた。

関節軟骨の閾値の同定には ImageJ を使用した。

横軸は位置、縦軸は信号強度を屈折角に変換し、解剖献体と健常者の画像をプロットした (図 10)。信号が大きく振り切れている部分が骨の端部を示し、太矢印が軟骨の信号部分に相当する。左右を比較すると信号レベルはほぼ同じであり、解剖献体と健常者で同程度の画像を得られていることが分かる。

RA患者 N=36 (72関節)	
年齢(歳)平均値	62.9歳(26-80)
性別(男:女)	7:29
Steinbrocker Stage(36人) (I:II:III:IV)	15:12:6:3
Larsen Grade(72関節) (0:1:2:3:4:5)	48:15:5:2:2:0
健常者 N=54 (108関節)	
年齢(歳)平均値	45.3歳(23-66)
性別(男:女)	20:34

図9 撮影者データ

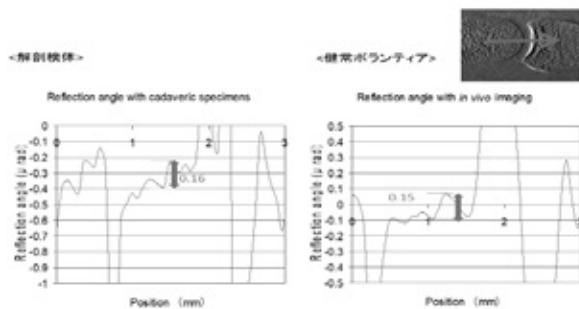


図10 軟骨の閾値

4.2. Steinbrocker Stage 分類

軟骨の厚みを測定し、健常者と Steinbrocker Stage で分類した RA 患者との比較を示す (図 11)。

軟骨の厚さの平均値は、健常者からそれぞれ 634、579、458、425、502 μm となり、健常者と各ステージ群との間には有意差が認められた。

Steinbrocker は手指 MP 関節以外にも肩や肘、足、膝関節などから最も重度な関節を基準にステージを決定している。Stage が進むにつれ軟骨が薄くなったが、Stage IV は手指よりも他の部位の関節変形が進んでいたため IV に分類され、Stage II、III よりも厚みがあったと思われる。

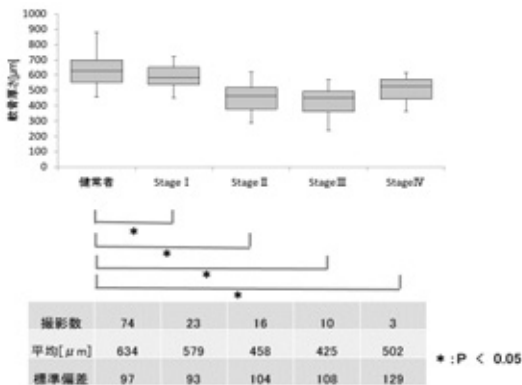


図11 Steinbloker Stage 分類

4.3. Larsen Grade 法

健常者は変わらず 634 μm、Grade 0 から 504、492、359 μm と、Steinbrocker Stage と同様に薄くなる結果となり、健常者と 0、1、2 の各 grade 間には有意差が認められた。

Larsen Grade は判定する各関節ごとにスコアを付け、合計点でグレードを決定する。Steinbrocker のような最も重度の関節を見る方法と違い、全身の状態からグレード分けを行っており信頼度が高い。

進行度に沿った右肩下がりの値になったことと、健常者とステージの低い群で関節軟骨の厚みに有意差が出たことで、RA 早期診断の可能性が示唆された。

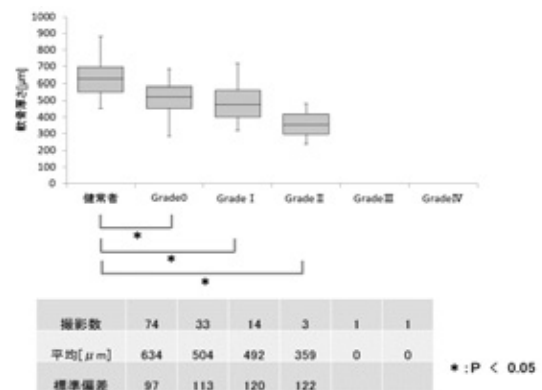


図12 Larsen Grade

5. まとめ

位相コントラスト撮影が可能な Talbot-Lau 干渉計撮影装置は、従来の単純撮影で描出が困難であった軟部組織を描出できる。

この装置を用いることで、MRI などが無い施設でも簡便に、患者の負担が少なく軟部組織の評価ができるようになること、研究をさらに進めることで早期関節リウマチの診断に寄与できるようになっていくと考える。

今後は装置の性能向上も期待されるため、現場の医師やメーカーとも協力し、医療技術の発展に貢献できればと思う。

「精査施設における Digital Breast Tomosynthesis の現状」

～臨床使用から見えた有用性と課題～

埼玉医科大学総合医療センター

杉村 瞳

1. 乳房撮影における現状

1-1 はじめに

近年、乳房撮影（マンモグラフィ）において、乳腺密度が高く乳がんを検出しにくい「高濃度乳房（Dense Breast）」の存在が大きく取りざたされている。2017年7月には厚生労働省より、乳がん検診で「高濃度乳房」と判定された場合、受診者に知らせる体制を整備するとの方針が発表された。この「高濃度乳房」は日本人女性の約4割を占めると推定され、通常の2次元（以下、2D）マンモグラフィでは、正常乳腺と乳がんが重なり、乳がんを指摘し得ない場合がある。また正常乳腺が重なることで、腫瘤陰影のように見えてしまい再検査の増加なども問題となっている^{1,2)}。これらの問題の解決策として期待されているのが、乳房トモシンセシス（以下、DBT：Digital Breast Tomosynthesis）の技術である。

1-2 Digital Breast Tomosynthesis (DBT)

圧迫した乳房に対し、複数の角度で画像を収集し、得られた画像データを基に、薄いスライス画像に再構成する撮影技術（図1）である。これにより乳腺などの組織の重なりを軽減することができ、2Dマンモグラフィでは得ることが難しかった高さ方向の情報を得ることも可能となった。そのため、今まで2Dマンモグラフィでは発見が難しいとされていた「高濃度乳房」での乳がんの発見や、診断・検診においても精度を向上させるなど、臨床的に有用性が高いことが国内でも数多く報告されている³⁾。

DBTにおける画像再構成法は、シフト加算法（SA法：Shift Addition）やフィルタ補正逆投影法（FBP法：Filtered Back Projection）、最近では、逐次近似法（IR法：Iterative Reconstruction）が用いら

れている。IR法においては、アンダーシュートの軽減や石灰化描出の優位性が示唆されているが、現時点では画像処理時間の問題によりFBP法が広く用いられている。

DBTの画像データ収集においても、収集角度やそれに伴う断層厚の違い、DBT撮影時の平均乳腺線量（AGD）など、各メーカーで異なるため、装置ごとに得られる画像特性はかなり異なる。

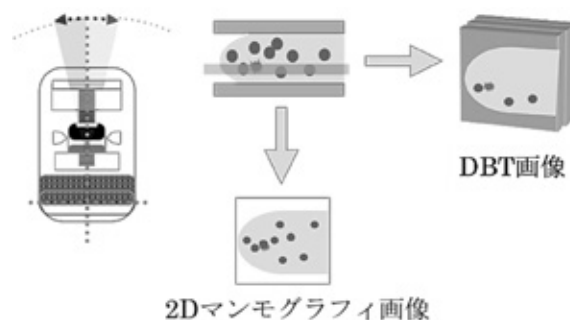


図1 Digital Breast Tomosynthesis (DBT) 概要

2. 当院における DBT 検査の現状

2-1 当院の DBT 運用方法

当院は2012年10月に、HOLOGIC社製 Selenia Dimensionsを導入し、年間約1000件のマンモグラフィ検査を実施している。検査件数の約8割がブレストケア科依頼であり、残り2割が産婦人科依頼のスクリーニング検査、人間ドック検診、手術標本（検体）撮影という内訳となる。ブレストケア科依頼は、がん検診結果が『要精査』の患者であり、当院初診時のマンモグラフィ検査は全例でCombo Mode撮影を実施している。このCombo Mode撮影は、1回の圧迫で2Dマンモグラフィ撮影とDBT撮影を同時に行え、DBT撮影追加による検査時間の大幅な延長もなく、患者への身体的負担も最小限に抑えることができる。

また最大のメリットとして、1回の圧迫で2D画像とDBT画像を得られるため、乳腺や腫瘍、石灰化の位置などが変わらず、両画像を容易に比較読影でき、より正確な診断補助画像として有用であるといえる。

2-2 当院のマンモグラフィ画像の流れ

当院のシステム構成は、乳房撮影装置 HOLOGIC 社製 Selenia Dimensions で、撮影した全ての画像がマンモグラフィ専用 Server と PACS の 2 ルートに送信される。また乳房撮影装置より 2D マンモグラフィ画像のみ乳房撮影診断支援システム (CAD) Senova に送信され、DICOM SR (Structured Report) データ⁴⁾をマンモグラフィ専用 Server へ、DICOM SC (Secondary Capture) 画像を PACS へそれぞれ送信 (図2) している。

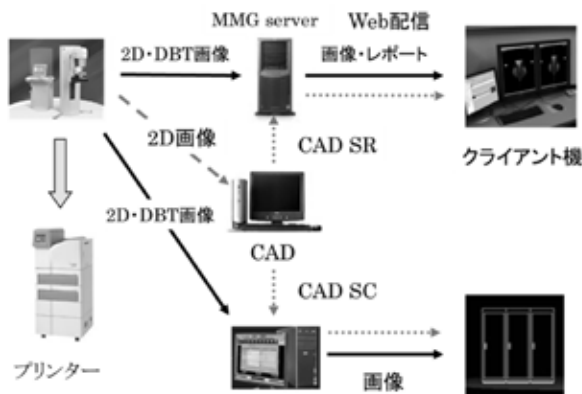


図2 当院の画像データ流れ

Viewerは、HOLOGIC社製 SecurView DX 1台とイメージワン社製 POP-Net Web Server Mammo Viewer システムを導入し、サーバ・クライアントタイプ (図3) で運用している。クライアント機は、放射線科読影室に1台、乳腺科診察室に2台の計3台を設置している。



図3 サーバ・クライアントタイプ

2-3 システム構築における問題点

当院では、2D画像だけではなくDBT画像も院内 PACS へ格納する運用としたため、各メーカー間での調整が必要となり、安定した運用までに時間を要した。まず、Selenia Dimensions で撮影した DBT 画像は Projection image と Reconstruction image の 2 種類の画像が生成され、両画像共マルチフレーム形式となる。そのためマルチフレーム形式にも対応している Viewer や検像システムが必要となる。現在のマンモグラフィ用 Viewer では、ほぼマルチフレーム形式対応となっているが、検像システムでは対応していない場合もあるため運用面において注意が必要である。

また DBT 画像の画像情報表示においても、必要項目がプライベートタグの場合もあり、ユーザー側でも Viewer 上に表示されている項目の確認が必要である。

システム構築における最大の問題として、DBTの画像データ量が膨大なため、Serverに大きな負担をかける点が挙げられる。2D マンモグラフィ1枚のデータ量は、ピクセルサイズにもよるが約27MB程度であり、左右2方向 (CC、MLO) 撮影でも、1患者で約100MB程度となる。しかし、DBT画像のデータ量は乳房の厚さによって異なるが、1患者、左右2方向 (CC、MLO) 撮影すると、約500MBを超えるデータ量が加わることとなる。当院のマンモグラフィ専用 Server は、5TBの容量を有しているが、導入後、約5年で容量が約8割程度に達している。そのため、今後のserver更新では、運用と合わせた容量を検討する必要がある。

3. 臨床使用で見た DBT の有用性

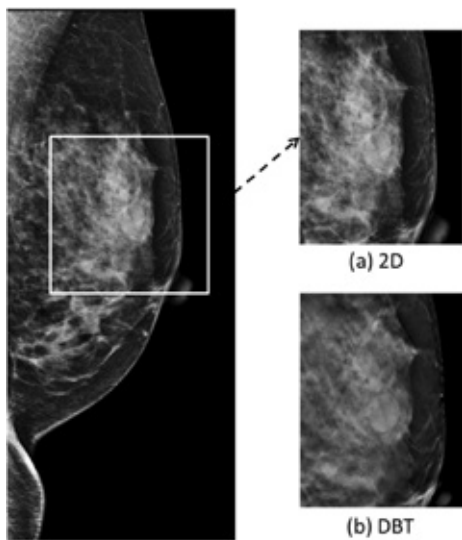
DBT 画像は、所見の発見のみならず、明確なカテゴリー分類の決定にも有用であることが報告されている。精査施設である当院において、DBT 画像が診断に有用であった症例を紹介する。

3-1 DBT 画像によりカテゴリー分類が明確化

3-1-1 腫瘍の形状が明瞭となった症例

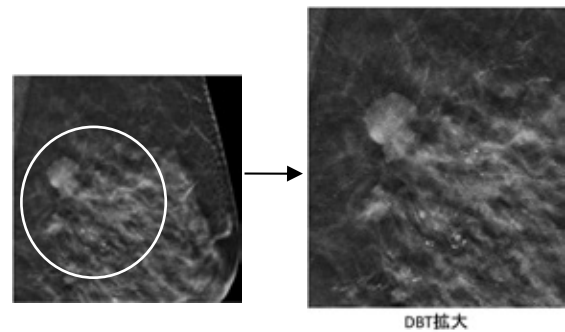
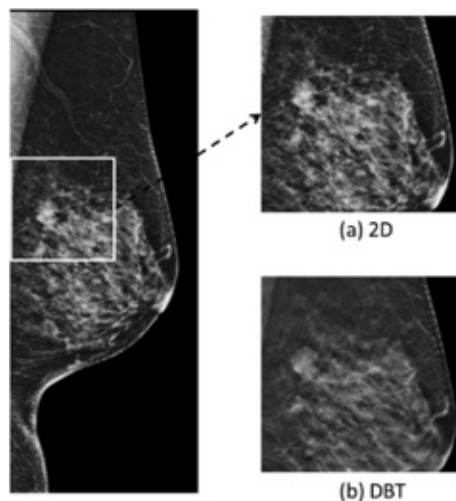
【症例 1】 カテゴリー 3：多発のう胞

症例 1 では、DBT 画像により腫瘍辺縁が明瞭に描出され、平滑であることが認識できる。



【症例 2】 カテゴリー 5：浸潤性乳管癌

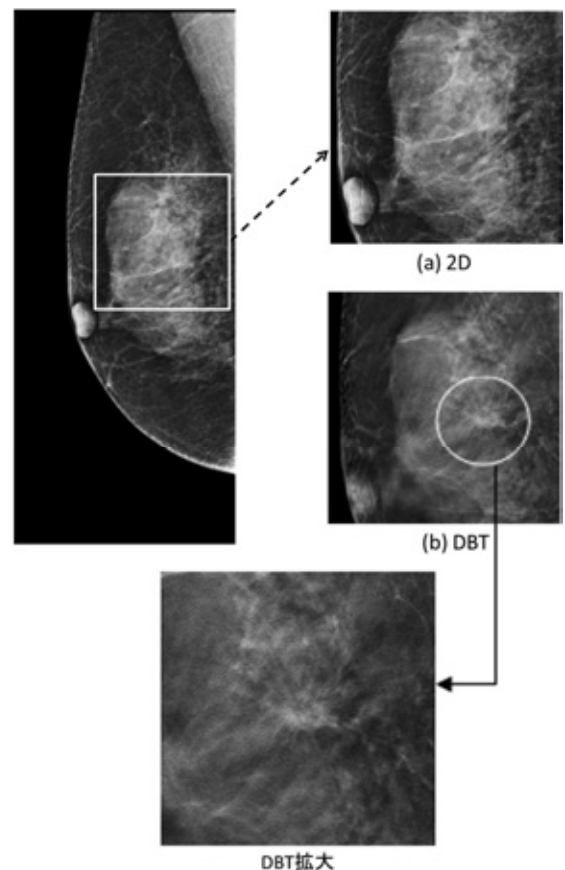
症例 2 では、DBT 画像により腫瘍の形状が明瞭となっただけでなく、周囲組織のひきつれや多形性石灰化が区域性に存在していることが認識できる。



3-1-2 構築の乱れが鮮明に描出された症例

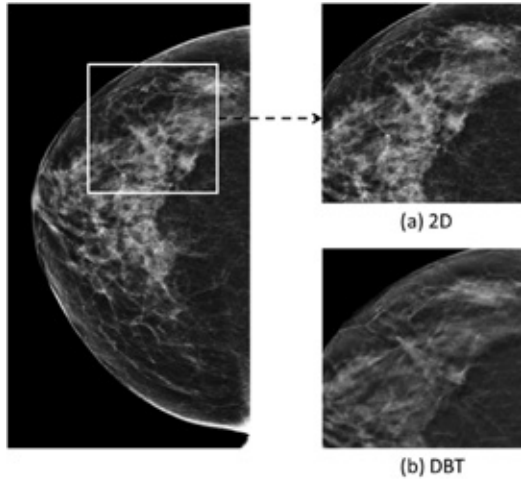
【症例 3】 カテゴリー 4：硬癌

症例 3 では、DBT 画像により Spiculation が明瞭に描出され、構築の乱れをより鮮明に認識することができる。



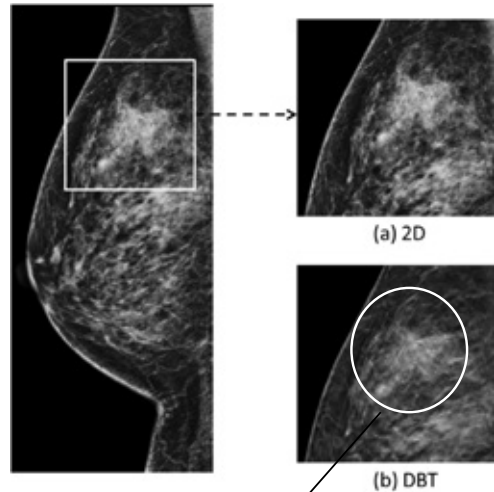
【症例4】 カテゴリー4：硬癌

症例4においても、DBT画像により Spiculation が明瞭に描出され認識できる。



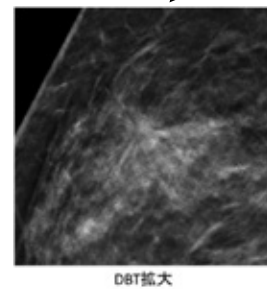
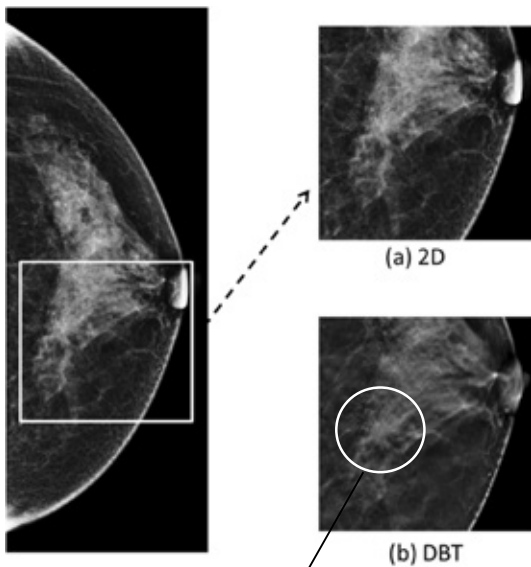
【症例6】 カテゴリー4：乳頭腺管癌

症例6においても、DBT画像により Spiculation が明瞭に描出され認識できる。

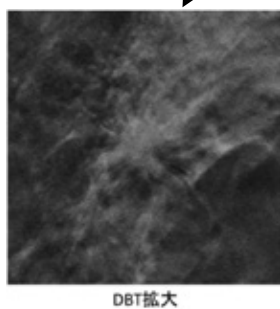


【症例5】 カテゴリー4：硬癌

症例5においても、DBT画像により Spiculation が明瞭に描出され認識できる。



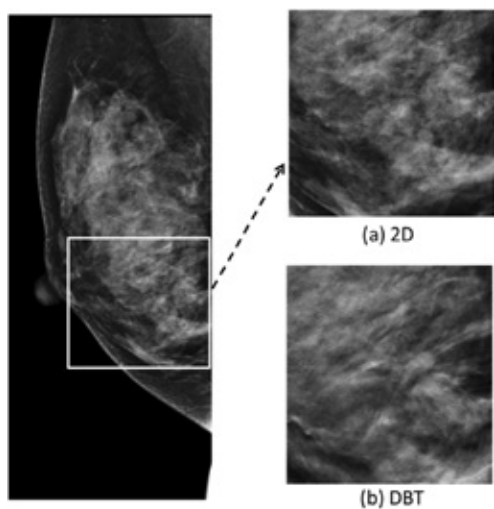
実際に、DBT画像を臨床で用いていると“構築の乱れ”を描出することが最も優れているように感じる。DBT画像は乳腺の重なりが少ない画像のため、正常乳腺構築が歪んだ状態を、より明瞭に描出することが可能になったと思われる。



3-1-3 スピキュラが明瞭に描出された症例

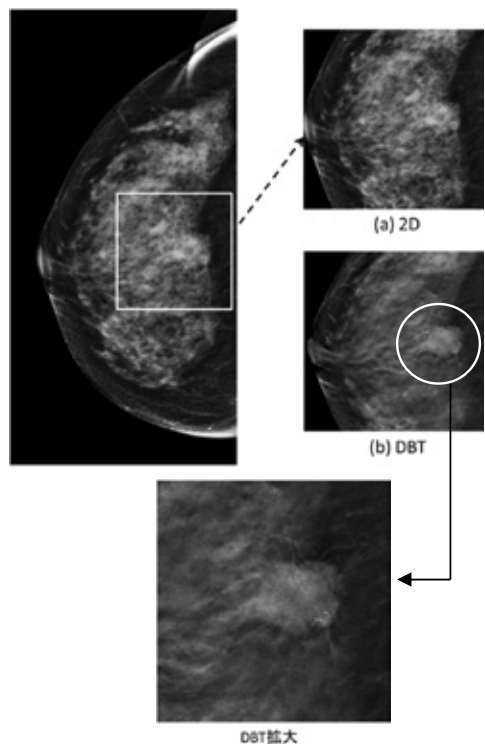
【症例7】 カテゴリー5：硬癌

症例7では、2Dマンモグラフィでは指摘困難なスピキュラを伴う腫瘤をDBT画像で認識することができる。



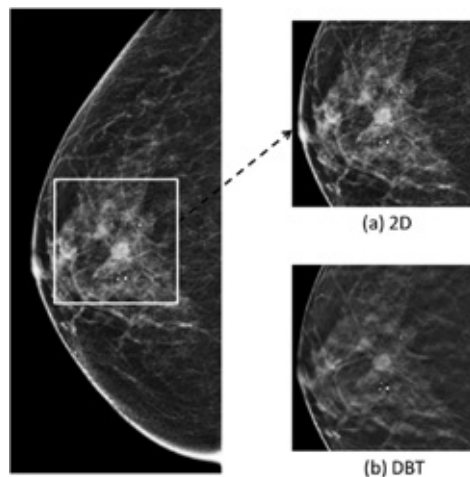
【症例8】 カテゴリー5：硬癌

症例8では、DBT画像によりスピキュラを伴う腫瘤が明瞭に描出され、微細分枝状石灰化が集簇性に存在していることもしっかりと認識できる。



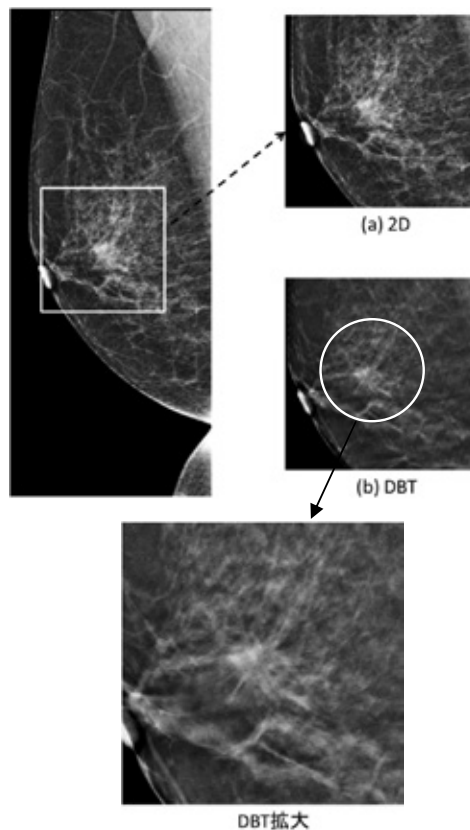
【症例9】 カテゴリー5：硬癌

症例9においても、DBT画像において2個のスピキュラを伴う腫瘤が明瞭に描出され認識できる。



【症例10】 カテゴリー5：硬癌

症例10においても、DBT画像でスピキュラを伴う腫瘤が明瞭に描出され認識できる。

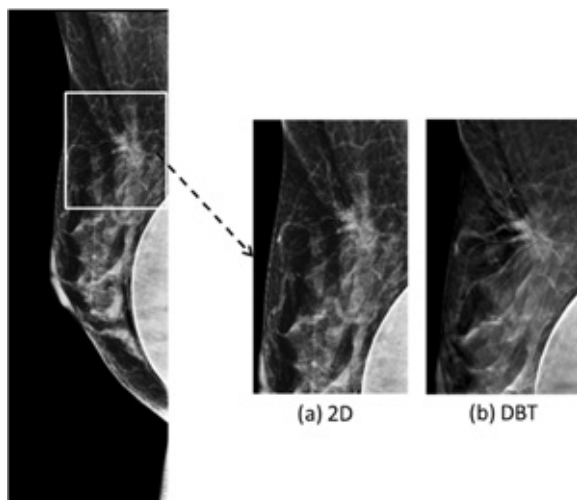


3-2 インプラント挿入乳房で所見を認めた症例

精査施設である当院では、インプラントを挿入している患者に対し、マンモグラフィを撮影する場合もある。インプラント挿入後の乳房の場合、装置に標準装備されているインプラントモードを用いて、Eklund view で撮影を行っている。

【症例 11】 カテゴリー 5：硬癌

症例 11 では、2D マンモグラフィでもスピキュラを伴う腫瘤を認識できるが、DBT 画像でより明瞭にスピキュラを描出できている。

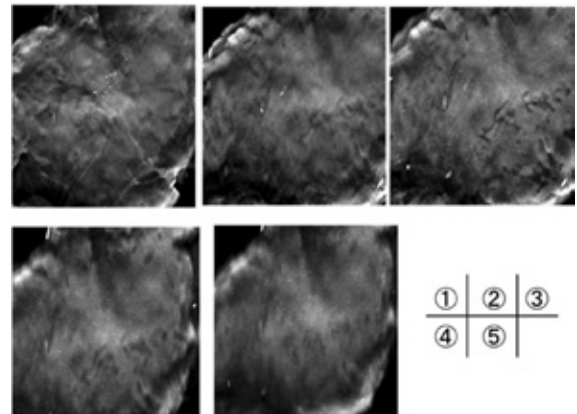
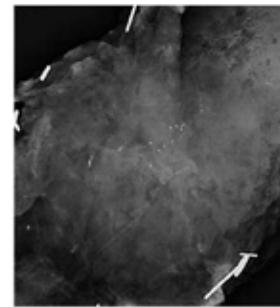


3-3 DBT を用いた術中標本（検体）撮影

当院では、術中標本撮影においても DBT 撮影を行っている。

【症例 12】 多形性石灰化が区域性に存在

症例 12 では、部分切除術が施行され、石灰化病変の切除範囲が網羅されているか、標本撮影と迅速病理検査が実施された。DBT 画像は、高さ方向の情報が得られ、この症例 12 では DBT 画像①～⑤まで全ての画像上に石灰化病変が描出された。DBT 画像⑤は支持台直上の画像であることから、切除範囲不足の可能性を示すことができた。これは、迅速病理検査の結果とも一致し、追加切除となった症例である。



4. 臨床使用で見た DBT の課題

Selenia Dimensions 導入後 DBT 撮影を臨床において約 5 年が経過したことで、見えてきた課題について述べる。

4-1 DBT の被ばく線量

現状、DBT 画像は 2D マンモグラフィの補足的な位置付けであり、石灰化病変の診断には 2D マンモグラフィ画像は不可欠である。そのため、DBT 撮影を追加すると 1 乳房 - 1 方向当たり通常の 2 倍程度の被ばく線量となってしまう、被ばく線量の増加が問題となっている。2014 年には、C-View ソフトウェアを用いて、従来の撮影モードである 2D、3D、Combo (2D + 3D) に加え、C-View 機能を追加した Tomo HD モード (3D + C-View)、Combo HD モード (2D + 3D + C-View) の撮影モードが選択可能となった。

精査施設である当院を受診する患者の多くは、検診にてマンモグラフィ撮影を実施しているため、再度、当院でマンモグラフィ撮影を行い、さらに被ばくが増すことに不安を抱えていることが多い。こうした現状に、合成 2D 画像生成を確立

した C-View 技術は非常に有用であり、2D マンモグラフィ単独よりも臨床成績が優れていながら低線量の DBT 検査が可能となったといえ、臨床において普及していくことを期待する。

4.2 DBT 画像読影

DBT 画像はさまざまな再構成法から作成されるため、明らかに 2D マンモグラフィの読影とは異なる。また膨大な画像量があるため、テクニックが必要となる。そのため DBT 画像の得意・不得意な点を理解し、より効率的に画像を読影するための教育も必要ではないかと思う。当院も Selenia Dimensions 導入前に放射線科医師、診療放射線技師共に DBT のワークショップなどへ参加し、実際に読影を体験したことで、DBT 画像読影をスムーズに臨床で使用することができたといえる。

4.3 DBT の国内ガイドライン未整備

DBT は、乳がんの発見や診断、検診においても精度を向上させるなど、臨床的に有用性が高いことが国内でも数多く報告され、急速に普及し始めた技術である。しかし、DBT における物理評価や平均乳腺線量の測定法に関する国内ガイドラインは整備されていないため、臨床において DBT を使用しているにもかかわらず、物理評価に関する報告⁵⁾は非常に少ない。海外においては、EUREF により『Protocol for the Quality Control of the Physical and Technical Aspects of Digital Breast Tomosynthesis Systems version1.01』が公開され、評価すべき項目と手法が定義されている⁶⁾。日本においても、臨床で使用している DBT の物理評価法や平均乳腺線量の測定法に関するガイドラインが早急に整備されることを期待する。

4.4 DBT は保険未収載技術

DBT システム搭載乳房撮影装置の価格は、通常の乳房撮影装置に比べ高価であるが、临床上、診断能向上は明らかである。しかし、現時点では DBT の技術に関して保険点数付与がないため、設備投資に見合った保険請求は行えていない^{1,2)}。

日本乳癌学会より医療技術評価提案の申請はなされており、早急な保険収載を期待する。

5. おわりに

先にも述べたように、DBT の技術は、2D マンモグラフィでは得ることが難しかった乳腺の重なりを軽減することができるため、さまざまな情報を提供することが可能となり、DBT の技術が乳がん診断に有用であることは言うまでもない。

そして今回、精査施設である当院において DBT (HOLOGIC 社製 Selenia Dimensions) を臨床使用した経験によって、DBT の有用性や解決すべき問題についてまとめた。本稿の内容が、DBT 導入を検討する際の一助となれば幸いである。

参考文献

- 1) 植松孝悦. プレストトモシンセシスを使用したマンモグラフィ検診の期待と課題. Japan Association of Breast Cancer Screening 2014;23 (2) : 270-278
- 2) 佐藤俊彦. 3D トモシンセシスをルーチンで使いこなす. Rad Fan 2014;12 (14) : 24-27
- 3) 内山菜智子. 乳腺デジタルトモシンセシスについて. 画像情報メディカル 2011;43 (12) : 1006-1011
- 4) Kubota H. 放射線部門レポート系 プロファイル SINR,RWF,ED. IHE Changing the Way Healthcare CONNECTS 2006;1-30
- 5) 福井亮平. トモシンセシスにおける物理評価. 画像通信 2015 年 3 月 ;38 (1) : 14-19
- 6) R E van Engen,H Bosmans,W Bouwman,et al. Protocol for the Quality Control of the Physical and Technical Aspects of Digital Breast Tomosynthesis Systems Version 1.01. 2016; EUREF (European Reference Organization for Quality Assured Breast Screening and Diagnostic Service)

「MRI の性能評価」 ～スライス厚の測定方法～

埼玉県済生会栗橋病院¹⁾，さいたま市立病院²⁾
渡邊 城大¹⁾，大谷 真由美¹⁾，藤田 功²⁾

1. はじめに

第2回目の今回は「スライス厚の測定」について解説する。MRIのスライス厚は、通常、RFスペクトル形状（スライスプロファイル）と傾斜磁場の傾きの強度で規定される。スライス厚の定義は、スライスプロファイルの半値幅（full width at half maximum：FWHM）となる点を結んだ距離として定義されている。

スライス厚は、パーシャルボリューム効果やクロストークに影響されるので、その影響を考えたが測定する必要がある。

測定に推奨されているウェッジ法には、くさび法と傾斜板法があり、解析方法など一部異なる点がある。

2. 測定原理

2-1 くさび法

プラスチックのようなプロトンMR信号を発しない素材で作られた2つの独立したくさび板が交差し、傾きによる誤差が補正できる構造である。第1のくさび平面は、撮像面と θ° 、第2のくさび面は、 $180 - \theta^\circ$ （補角）となるように作成されている（図1）。

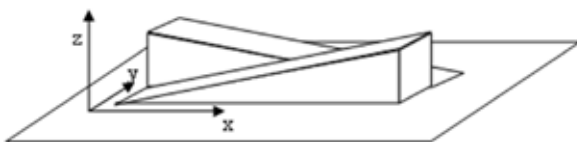


図1 くさびファントム

くさびの傾斜面と平行な方向をy、撮像面内でyと垂直な方向をxとする。xは、くさび傾斜板と角度 θ をなす。信号発生物質がくさび板を覆うように設計されている。

くさび板部を撮像すると、連続的に変化した画像が撮像できる。その撮像面の信号をグラフ化し、

ピクセル-信号強度（edge response function：ERF）のグラフを作成する。スライスプロファイルは、測定されたERFのグラフを微分することで求められる。求めたスライスプロファイルカーブの半値幅が、スライス厚と定義される（図2）。

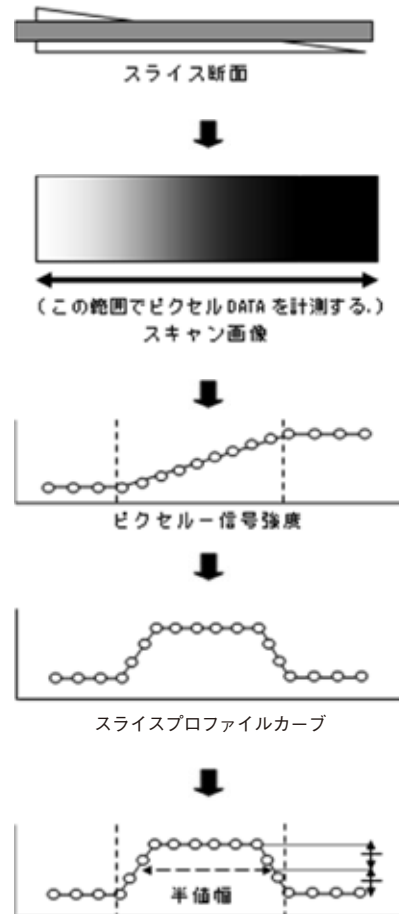


図2 くさび法の原理図

2-2 傾斜板法

ファントムの構造は、信号の発生しない2つの独立した傾斜板が設置されており、くさび法と同様に信号発生物質に覆われた構造になっている。2つの傾斜板は、お互にくさび法と同様に補角

となる構造である（図3）。

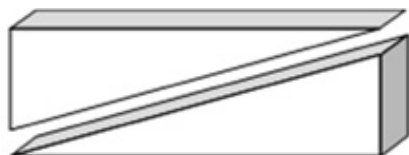


図3 傾斜板ファントム

くさび法と大きく異なる点は、ピクセル-信号強度のグラフから微分を行わずにスライスプロファイルカーブができる点にある（図4）。

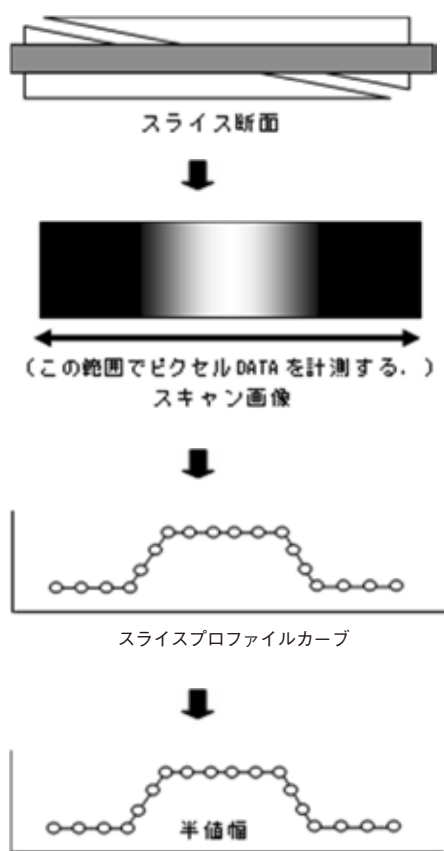


図4 傾斜板法の原理図

3. 操作手順

3-1 受信コイルおよびファントム

RF コイルに関しての規定はないが、感度ムラや信号変化が結果に影響するため、通常は装置備え付けの Body coil もしくは頭部系のボリュームコイルを用いて測定する。

測定用ファントムとしては、対向くさびファントム又は傾斜板ファントムを用いて測定する。

ファントム内容物 T₁ 値、くさびまたは傾斜板

の角度 θ° が既知であること。

参考) スライス厚測定用対向くさびファントム
日興ファインズ株式会社
MRI JIS ファントム 型式 95-1108Z

3-2 撮像条件および方法

3-2-1 ファントムの撮像位置調整（アライメント調整）

アライメントに関しては、データ収集断面と平行、垂直、前後の3方向の位置調整が存在する。撮像断面と平行方向に関しては、後半に記載する回転補正により調整可能であるが、垂直方向・前後方向に関しては正確に配置・調整する。

3-2-2 撮像シーケンス

臨床で使用している spin echo 法を用いて撮像する。TR は信号発生物の3倍以上の値に設定する。測定スライス厚は SNR を考慮して、4～8mm 程度とする。3枚以上のマルチスライスで撮像し、スライスギャップは撮像スライスより大きく設定する。

【撮像シーケンスの1例】

パルスシーケンス spin echo 法、TR：800msec、TE：15msec、マトリックスサイズ：256×256、FOV：256mm、加算回数：5、スライス枚数：3、スライス厚：5mm、スライスギャップ：5mm。

3-2-3 撮像断面の設定

マルチスライスの中心のスライスが、くさびの中心付近を通るように設定する。

面内分解能は 1mm 程度が必要である。SNR が高ければ高い精度で測定が可能となるため、時間の許す限り加算回数を増加する。

オブリークは使用不可であり、必ず直交面で撮像する。解析時にスライスプロファイルの半値幅におけるピクセル数が6以上になるように空間分解能を設定する。

3-3 計算・解析方法

ファントム撮像画像データは、デジタルデータで処理を行うため DICOM データを用いるのが望ましい。

3-3-1 画像処理ソフト (Image J) による解析
(画像データからピクセル値の抽出およびデータ処理に用いる。)

Image JにDICOM画像を読み込み表示する。くさびの移行部分を四角ツールで囲み、[Image] → [Crop]で切り取り保存する(図5)。ここで、長軸方向は信号変化が十分に入りきるように、短軸方向は10ピクセル以上囲うようにするのが望ましい。

[File] → [Save As] → [Text Image]で保存する。これにより、1ピクセルずつのデータが数値化されたテキストファイルに保存される。

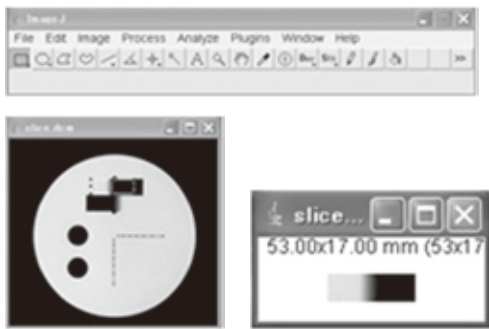


図5 Image Jによる切り出し画像

3-3-2 スライス厚計算用ソフト (EXCEL: マイクロソフト社製) による処理

テキストデータの短軸方向のSNRを上げるために加算平均処理を行う。次に隣り合ったセルの差分を求め、スライスプロファイルカーブを作成する。(図6)

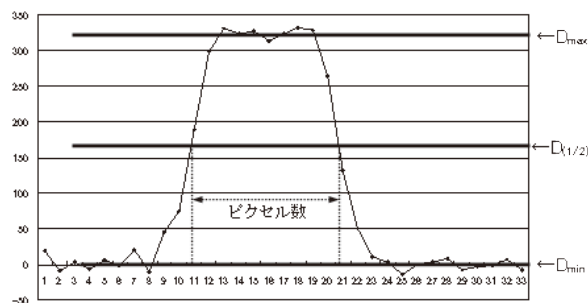


図6 スライスプロファイルカーブ

スライスプロファイルカーブより、信号最大値 D_{\max} と信号最小値 D_{\min} を求める。その際に、最低6ピクセル以上の値を平均して算出する。 D_{\max} と D_{\min} より、 $D_{(1/2)} = (D_{\max} - D_{\min}) / 2$ を求める。

$D_{(1/2)}$ の値をスライスプロファイルカーブにプロットし、 $D_{(1/2)}$ のピクセル数を計算する。

ピクセル数 \times 1ピクセルサイズより半値幅 (L) を求める。半値幅 (L) $\times \tan(\theta)$ によりスライス厚を求める。

3-3-3 傾きによる補正

スライス厚測定には、撮像断面の平行の軸に対しての回転ずれを補正することが必要になる。

その際は、2枚あるくさびの両方を測定する必要がある。それぞれのくさびを (L1, L2) と定義し説明する。 $L1 = L2$ であれば回転補正の必要はない。値が異なる場合は回転補正が必要である。 $L1 > L2$ とすると、回転誤差 α は以下の式から求めることができる。

$$(L1 - L2) / (L1 + L2) = \sin 2\alpha / \sin 2\theta$$

真のスライス厚 (T) は、回転補正をした $T = \text{半値幅}(L1) \times \tan(\theta - \alpha)$ または、 $T = \text{半値幅}(L2) \times \tan(\theta + \alpha)$ より求めることができる。

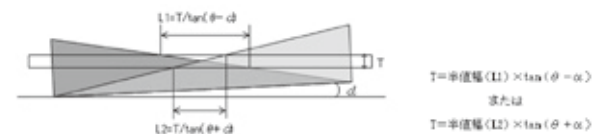


図7 回転誤差 α° での真のスライス厚 (T)

4. 撮像手順のまとめ

	Spin echo 法：SE 法
コイル	ボディコイルもしくは頭部系のボリュームコイル
ファントム	対向くさびファントムまたは傾斜板ファントム
ピクセルあたりの帯域幅 (Hz/pixel)	規定なし (例：150-300)
撮像視野	25.6 × 25.6cm
TR：繰り返し時間 (msec)	TR ≥ 3 × ファントムの T1 (例：800-1000)
TE：エコー時間 (msec)	規定なし (例：20)
NAQ：信号加算回数	規定なし (SNR10 以上を目安) (例：5)
撮像マトリックス	256 × 256 (FOV に合わせると分かりやすい)
スライス枚数	3 枚以上
スライス厚 (ギャップ)	4～ 8mm 程度 (撮像スライス厚より大きく設定) (例：5 mm 厚 (5 mm ギャップ))
スライスプロファイル数 (本)	5

5. 結果の評価および注意事項

- ・FWHM を測定できるスライスプロファイルの曲線内に 6 個以上のピクセルが含まれるようにすること [tan θ ≤ FWHM / (6 × pixel size)]。
- ・マルチスライスを少なくとも 3 スライス、隣り合うプロファイルの中心間が FWHM の 2 倍離れていること。
- ・マルチスライスの中心スライスを測定すること。
- ・ピクセル値の変動によるスライスプロファイルの劣化が生じるため、ERF を加算平均することで変動を小さくすること。

資料 (専門技術者試験に記述されている項目)

- 1) 標準的な NEMA 法に準じて、ウェッジ法を用いて測定を行う。
- 2) 2 枚の楔型三角錐が交叉したスライス厚測定用ファントムの使用が望ましい。
- 3) 撮像条件
 - ・SE 法を用い、マルチスライスで撮像を行う。
 - ・マルチスライスで少なくとも 3 スライスは撮像を行い、スライス間距離が予想される半値幅の 2 倍以上であること。
 - ・TR ≥ 3 × T1、スライス厚と TE は一般的に臨床に使用される範囲。
 - ・十分な SNR を担保すること。
- 4) 測定に際しコンピュータソフトを使用してもいいが、結果は正方眼紙 1 枚に測定方法とともに、得た数値の根拠となる計算式を表示する。
- 5) 楔形三角錐が 1 つしかない場合や、当該ファントムを持ち合わせていない場合は、ファントムを作成もしくは独自の方法で求めてもよい。独自の方法を用いる場合は、信頼度を記す。

参考

- ・National Electric Manufacturers Association : Determination of slice thickness in diagnostic magnetic resonance images, NEMA Standard Publication, MS5, 2010
- ・宮地利明 編：標準 MRI の評価と解析. 44-47, オーム社, 2012
- ・東京都診療放射線技師会監修：MRI 集中講座 MRI 専門技術者認定試験にチャレンジするためのテキスト 改訂版. 1-8, 三恵社, 2016
- ・日本磁気共鳴専門技術者認定機構 <http://plaza.umin.ac.jp/~JMRTS/exam/exam2.html>, (accessed 2018-2-20)

以上

平成28年度 SART・TART 地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー 2017

～初学者からベテランまで抑えておきたい四肢撮影技術～

【抄録集】

平成29年10月掲載

- ① 「機能解剖を考える上肢撮影」 上尾中央総合病院 仲西 一真
- ② 「誰でも簡単スカイラインビューの実践」 社会医療法人 堀ノ内病院 小池 正行
- ③ 「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」
～画像から見た撮影ポイントと画像から診た読影ポイント～
深谷赤十字病院 坂本 里紗

- ④ 「臨床に適した画像処理選択の基本」～四肢撮影を中心に～
埼玉県済生会川口総合病院 森 一也

平成30年1月掲載

- ⑤ 「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」 埼玉県済生会川口総合病院 西田 衣里
- ⑥ 「外傷診療における救急撮影の基礎」 さいたま赤十字病院 渡部 伸樹
- ⑦ 「みんなで創ろう、実践的救急撮影法」 上尾中央総合病院 内田 瑛基

平成30年5月掲載

- ⑧ 「THA 術前計画における股関節30度内旋位 PA 撮影の検討」
さいたま赤十字病院 大河原 侑司
- ⑨ 「Dual Energy CT を用いた乾癆性関節炎の画像評価」
東京慈恵会医科大学附属病院 宮崎 健吾

平成28年度 SART・TART地区合同勉強会
共催：骨軟部診断情報研究会



**骨軟部
撮影セミナー 2017**
～初学者からベテランまで
抑えておきたい四肢撮影技術～

日時 2017年2月18日(土) 9:50～18:30

参加費 2000円

会場 済生会川口総合病院 講堂(B1)
埼玉県川口市西川口5-11-5

セッション1 10:50*11:30	一般演習(各15分)	座長 東京大学病院 田影 博行 国立精神・神経医療研究センター病院 釋迦 亮
①「機能解剖を考える～手関節～」 上尾中央総合病院 仲西 一真 ②「THA術前計画における股関節30度内旋位PA撮影の検討」 さいたま赤十字病院 大河原 侑司 ③「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」 埼玉県済生会川口総合病院 西田 衣里 ④「ACS患者を対象としたアキレス腱の撮影意義と撮影方法について」 所沢ハートセンター 柴 俊幸 ⑤「誰でも簡単スカイラインビューの実践」 堀ノ内病院 小池 正行 ⑥「Dual Energy CTを用いた乾癆性関節炎の画像評価」 東京慈恵会医科大学附属病院 宮崎 健吾		
セッション2 11:40*12:40	メーカーセッション「ランチョンセミナー(各20分)」	座長 上尾中央総合病院 港口 泰徳
①「最新画像処理【ダイナミック処理】について」 富士フィルムメディカル株式会社 宮野 武晴 ②「ワイヤレスフラットパネルを用いた 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン社 佐中 康友 ③「キャンニングデジタルラジオグラフィ(CXDI)シリーズの紹介」 キヤンライフケアソリューションズ株式会社 伊藤 琢也		
特別講演 12:50*13:30	座長 埼玉医科大学病院 高橋 忍	
「撮影から考える(診る)疾患、疾患から考える撮影(読影や撮影の工夫・ポイント)」		
①「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」 深谷赤十字病院 坂本 里紗 ②「読影として手疾患を撮る(診る)」 船橋市立聖徳センター 石塚 剛一		
セッション3 14:00*15:00	座長 羽生総合病院 大野 渉	
「明日から実践！～救急撮影の基礎を学び、疑問を解消～」		
①「外傷診療における救急撮影の基礎」 さいたま赤十字病院 渡部 伸樹 ②「みんなで創ろう、実践的救急撮影法」 上尾中央総合病院 内田 瑛基		
セッション4 DR 15:10*16:30	座長 東海大学医学部付属八王子病院 由地 良太郎	
①「臨床に適した画像処理選択の基本～四肢撮影を中心に～」 埼玉県済生会川口総合病院 森 一也 ②「読影指標の基礎知識～整形外科領域での活用法～」 獨協医科大学 高橋 利聡		
特別講演 16:50*17:30	座長 埼玉医科大学病院 岡本 康正	
①「骨軟部診断情報研究会での症例検討紹介」 昭和大学歯科病院 石田 秀樹 ②「各施設一般撮影領域線量比較の取り組み」 関東労務病院 若林 一成		
特別講演 17:30*18:30	座長 JR東武総合病院 後藤 大作	
「日々の撮像に活かしたい骨軟部診断の知識～読影医の視点から～」		
埼玉医科大学病院 竹澤 佳由 先生		

※ 駐車券はございませんので公共の交通機関をご利用ください

お問い合わせ先
所沢ハートセンター 放射線科
大宮・東
04-2940-8611(代)

平成30年7月掲載予定

- ⑩ 「ACS患者を対象としたアキレス腱の撮影意義と撮影方法について」
所沢ハートセンター 柴 俊幸
- ⑪ 「日々の撮影に活かしたい骨軟部診断の知識～読影医の視点から～」
埼玉医科大学病院 竹澤 佳由 先生

「THA 術前計画における股関節 30° 内旋位 PA 撮影の検討」

さいたま赤十字病院
大河原 侑司

1. はじめに

1-1 背景

当院では年間約 200 件の THA (Total Hip Arthroplasty) を行っている。股関節の機能向上や疼痛緩和を目的とした術式で、変形性股関節症、関節リウマチ、大腿骨頭壊死などが適応疾患として挙げられ、特に変形性股関節症に対する THA を多く行っている。

現在 THA 術前計画として、CT 画像を用いて 3 次元的に術前計画を立てる方法があるが、高額な装置のため、導入が難しい施設もある。当院でも導入が難しく、X 線単純写真を用いて 2 次元的に計画を立てている。通常、X 線単純写真を用いて術前計画を立てる際には、両股関節正面内旋位 AP 像が用いられる。しかし、当院における THA 術前の患者の多くは変形性股関節症であり、前捻角が大きい傾向にあるため、外反股に見えることが多々見受けられる (図 1)。それが計画時と実際のステムサイズのミスマッチに繋がってしまう一因となってしまう。



図 1 前捻角が強い股関節正面像

1-2 変形性股関節症とは

変形性股関節症は、一次性股関節症と二次性股関節症に大分される。一次性股関節症の原因は明らかにはなっていないが、欧米に多く、解剖学的異常が少ないのが特徴である。

二次性股関節症は、先天性股関節脱臼や臼蓋形成不全に起因する変形性股関節症である。日本人の多くは二次性で、特に女性に多くみられる。進行の程度により、四段階のステージ分類に分けられている。

- ①前股関節症 (変形のあまりない軽度の状態)
- ②初期股関節症 (関節軟骨がすり減りだし、関節裂隙の狭小化がみられる状態)
- ③進行期股関節症 (X 線単純写真で軟骨下骨に骨硬化がみられるようになる。さらに進行して軟骨が摩耗すると、骨同士との接触が多くなり、骨硬化部に骨嚢胞形成、骨棘形成などの変化がみられる状態)
- ④末期股関節症 (軟骨が消失し、骨硬化や骨棘形成などが顕著になり、股関節全体が変形してしまっている状態)

1-3 THA 術前計画概要

当院における二次元テンプレティングは、まず術前計画の前段階として、CT 画像から大腿骨の前捻角と臼蓋に当てはまるカップサイズの計測を行う。次に、両股関節正面内旋位 AP 像や下肢全長正面像を用いて脚長の計測をする。両股関節正面内旋位 AP 像では、涙痕下縁を結ぶ線と小転子位置より、左右の脚長を計測する方法を用いている (図 2)。続いて、キャリブレーション用鉄球を用いて拡大率を計測する。ステムのスケールは 110%、115% の 2 種類があり、近い方を用いて臼蓋のカップとステムサイズのテンプレティングをし、脚長の補正などを考慮した骨切り位置

を決め図3の例のように作図をする。当院ではトレーシングペーパーを用いているが、2次元デジタルX線画像を用いたデジタルテンプレートティングという方法もある。



図2 THA 術前計画概要

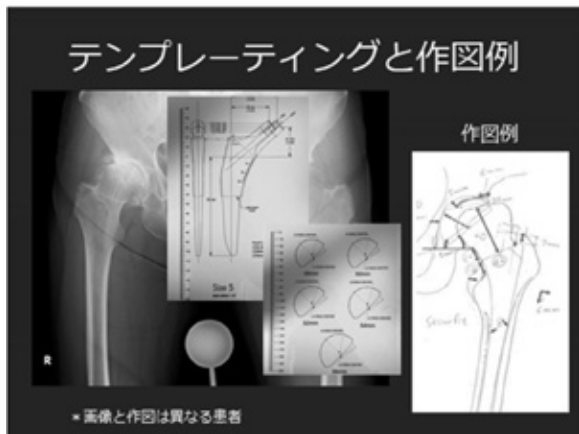


図3 テンプレートティング

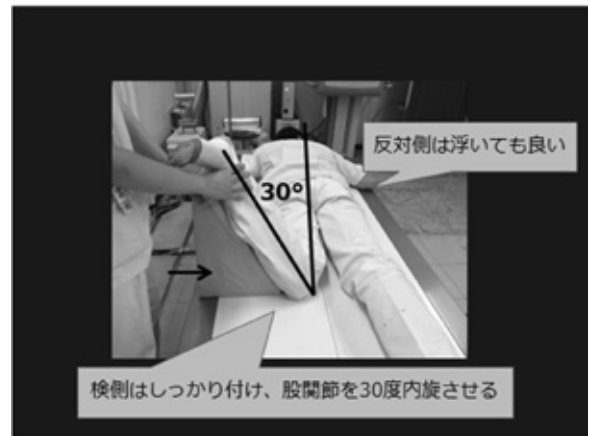


図4 股関節腹臥位 30°内旋位 PA 撮影法

同一患者における両股関節正面内旋位 AP 像 (以下、AP 像) と、股関節腹臥位 30°内旋位 PA 像 (以下、PA 像) の比較を図5に示す。PA 像の方が大腿骨頸部の描出を広く描出できている。

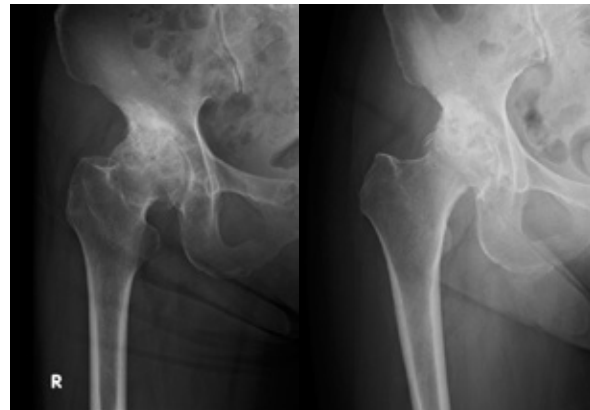


図5 AP 像 (左) と PA 像 (右) の比較

1-4 股関節腹臥位 30°内旋位 PA 撮影法

当院で行っている股関節腹臥位 30°内旋位 PA 撮影法を図4に示す。撮影時は角度を合わせた補助具 (図4→) を用いて再現性を保っている。撮影条件は両股関節内旋位正面撮影法に準じ、キャリブレーション鉄球による補正を用い、その補正値は115%としている。

2. 目的

THA 術前計画において、正確な大腿骨頸部の正面像を得ることは、ステムサイズ mismatches を防ぐための重要な要素となる。この mismatches を改善するための先行研究として、腹臥位骨盤斜位 PA20° 撮影法を追加撮影することが提唱されている。しかし、当院、および先行研究での前捻調査を踏まえ、当院では股関節腹臥位 30° 内旋位 PA 像を追加撮影することになった (表 1)。

そこで、本研究では両股関節正面内旋位 AP 像と股関節腹臥位 30° 内旋位 PA 像を比較し、両者の大腿骨頸部の描出能の比較をすること、さらに股関節腹臥位 30° 内旋位 PA 像の精度を評価することを目的とした。

表 1 前捻角調査

	全体[°]	男性[°]	女性[°]
当院	22.1 ± 1.4	21.9 ± 1.4	24.6 ± 1.4
中原 (2011)	-	20.3 ± 9.9	25.2 ± 9.8
Noble (2003)	-	-	35.6 ± 13.7

3. 方法

3-1 使用機器

- ・ View-R (横河医療ソリューションズ株式会社)
- ・ TRI-LOCK BONE PRESERVATION STEM Size2 (ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)
- ・ 股関節計測用 角度計 (大正富山医薬品)
- ・ AZE (株式会社 AZE)

3-2 AP 像と PA 像における大腿骨頸部の描出能の違いの検討

変形性股関節症患者で AP 像、PA 像ともに撮影している患者群 (全体 n = 72、男性 n = 8、女性 n = 64) の画像を、View-R を用いて頸部長を測定した。頸部長は、大腿骨頭の回転中心から大腿骨軸までの距離とした (図 6)。計測値は、測定者誤差を低減するために 2 人で同様に計測

し、平均値を用いた。AP 像においても、キャリブレーション鉄球による補正を行い、前途の通り AP 像、PA 像ともに補正値は 115% として計測している。

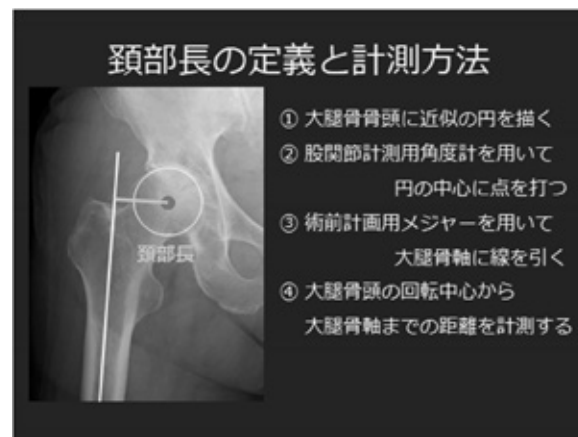


図 6 頸部長の定義と計測方法

3-3 PA 像の精度の検討

変形性股関節症患者で AP 像、PA 像、術前 CT 画像の全てを撮影している患者群 (全体 n = 33、男性 n = 3、女性 n = 30) の画像を、View-R を用いてオフセットを設定し計測した。CT 画像は、AZE を用いて RaySum 画像にしたもの (以下、CT 像) を用いた。オフセットは、大腿骨軸と小転子上縁を結ぶ線の 10mm 近位の大腿骨軸と内側骨端までの距離を設定した (図 7)。計測値は、測定者誤差を低減するために 2 人で同様に計測し、平均値を用いた。この時、CT 像での計測値を真値とし、AP 像・PA 像の 3 群を比較した。なお AP 像と PA 像の補正値は同様に 115% を用いている。



図7 オフセットの設定と計測方法

4. 結果

4-1 AP像とPA像における大腿骨頸部の描出能の違いの検討

結果を図8に示す。AP像では 31.5 ± 6.2 (mm)、PA像では 39.8 ± 5.23 (mm) という結果になり、PA像の方が有意に大腿骨の頸部長が広く描出できていた。

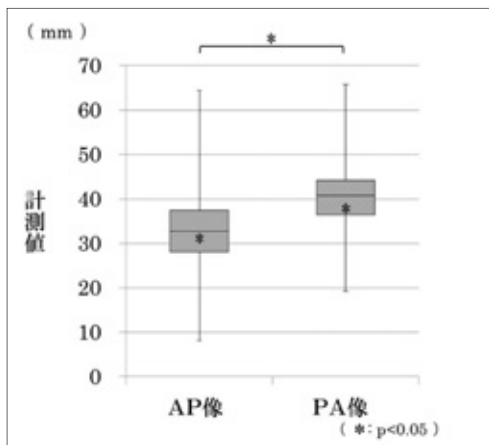


図8 大腿骨の頸部長の計測結果

4-2 PA像の精度の検討

結果を図9に示す。AP像では 24.3 ± 4.0 (mm)、PA像では 25.5 ± 3.8 (mm)、CT像では 26.2 ± 3.9 (mm) という結果になった。AP像とCT像では有意差が認められたが、PA像とCT像では有意差は認められなかった。CT像の計測値とAP像およびPA像の計測値の相関図を図10に示す。相関係数もPA像の方が強い相関を持ち、ばらつきも小さいことが分かる。

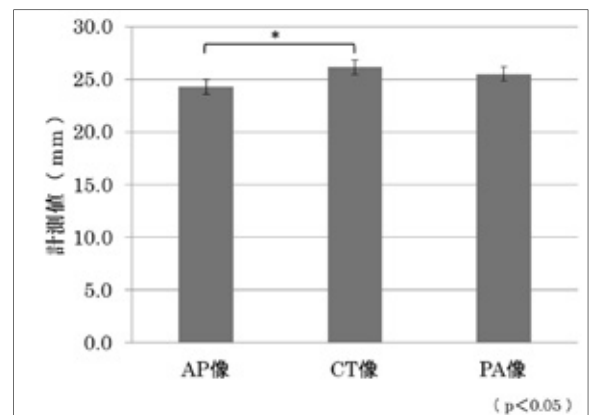


図9 AP像、CT像、PA像の計測結果

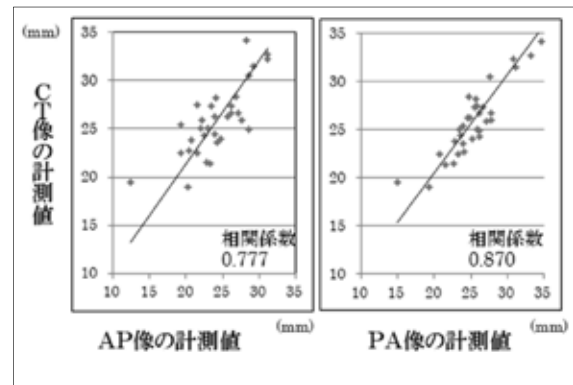


図10 CT像との相関関係

5. 考察

投影像である X 線単純写真において、被写体を広く描出するためには、検出面に対し、被写体をより平行に撮影する必要がある。股関節 30° 内旋位 PA 撮影法は、検側のみに焦点を当てた撮影法であるため、前捻角や可動域制限などの影響を受けにくく、大腿骨頸部をより正確に描出できたと考えられた。また従来法と比べ前捻角の大きい日本人、特に、女性の統計学データに基づいた撮影法であるため、大腿骨頸部の描出に優れていると考えられた。

さらに PA 像と CT 像の計測値において、AP 像よりも強い相関関係が得られており、AP 像よりも安定して大腿骨頸部が描出できていることから、補助具による再現性が高いことが考えられた。

しかし、従来法である腹臥位骨盤斜位 PA20° 撮影法との比較はしていないため、さらなる検討が必要である。

6. 結語

本研究により、THA 術前計画における股関節 30° 内旋位 PA 撮影法の精度は高く、その有用性も示唆された。

7. 参考文献

- ・ Noble.PC : The Three-Dimensional Shape of the Dysplastic Femur, CLINICAL ORTHOPAEDICS AND RELATED RESEARCH, 2003, 417, 27-40.
- ・ Nakahara.I : Gender differences in 3D morphology and bony impingement of human hips, JOURNAL OF ORTHOPAEDIC RESEARCH, 2011, 333-339.
- ・ 藤井英紀 : セメントレス人工股関節ステム術前計画における股関節伏臥位内旋撮影の有用性. . 日本人工関節学会誌 38, 2008, 596-597.

「造影 Dual Energy CT における乾癬性関節炎の画質評価」

東京慈恵会医科大学附属病院

宮崎 健吾

1. はじめに

1-1 乾癬性関節炎について

乾癬とは、慢性の経過をたどる皮膚疾患であり、皮膚の浸潤・肥厚した部分や紅斑の上に鱗屑が付着し、剥がれ落ちる症状を伴う疾患である。この乾癬に腫脹と痛みを伴う関節炎を合併する疾患が乾癬性関節炎 (Psoriatic Arthritis : PsA) であり、乾癬患者の 10 ~ 15% に発症する。多くの症例が血清反応陰性脊椎関節炎 (Seronegative Spondyloarthropathy) の末梢型に分類される。原因は不明とされているが、自己免疫疾患と考えられている。関節リウマチ (Rheumatoid Arthritis : RA) に類似する疾患であるが、一般にリウマトイド因子は陰性であり、男女差はなく若年者に発症することが多い。RA と比較すると、末梢関節、特に遠位指節間関節 (Distal Interphalangeal Joint : DIP 関節) を侵す頻度が高い。また、PsA 患者の約 60% は皮膚の乾癬が先行するが、4 ~ 21% は関節炎の症状が先行する症例もある。

RA や PsA の治療は、非ステロイド性消炎鎮痛剤による疼痛などの症状緩和が目的であったが、PsA では 2010 年の生物学的製剤の認可により、症状の完治や骨増殖性変化の進行などの制御が可能になった。PsA では早期に診断し、生物学的製剤を導入することが、患者の QOL につながる。

PsA の評価として、CASPAR 基準が用いられる。(表 1) 炎症性筋骨格系疾患 (関節、脊椎、または付着部) があり、表 1 の 5 項目で 3 点以上であれば、乾癬性関節炎と診断する。(感度 91.4%、特異度 98.7%) また PsA の早期診断には、画像検査により手指の炎症性病変を検出することが有用であり、滑膜炎や腱鞘炎、伸筋腱周囲炎、関節周囲炎、骨髄浮腫などの病変は、MRI

での評価が可能であるが、好発である DIP 関節などの末梢病変では空間分解能やアーチファクトの問題がある。

表 1 CASPAR 基準

1.乾癬の証拠 (a,b,cのうちの1つ)	a: 現存する乾癬	(2点)	皮膚科医あるいはリウマチ医によって診断された乾癬性の皮疹や頭皮症状が認められる
	b: 乾癬の既往歴	(1点)	患者の申告、かかりつけ医、皮膚科医、リウマチ医あるいは他の医療従事者により乾癬の既往が確認されている
	c: 乾癬の家族歴	(1点)	第一親等、第二親等の家族に感染の既往歴がある
2.爪乾癬		(1点)	爪甲剥離、点状陥凹、爪甲下角質増殖などの典型的な乾癬性爪病変が認められる
3.リウマトイド因子陰性		(1点)	リウマトイド因子陰性(基準値以下)測定はラテックス法以外のELISA法または比濁法が好ましい
4.指炎 (aかbのどちらか)	a: 現存する指炎	(1点)	指全体の腫脹が認められる
	b: 指炎の既往歴	(1点)	リウマチ医によって診断・記録された既往歴がある
5.関節近傍部の骨新生の画像所見		(1点)	手足の単純X線画像所見で関節辺縁近くに境界不明瞭な骨形成(骨棘形成は除く)が認められる

2. 画質評価

2-1 背景

従来、PsA の画像診断においては、MRI などによる診断や評価が行われてきた。しかし、好発部位である DIP 関節などでは磁場の影響を受け脂肪抑制効果が困難となる症例や、画像に歪みを生じる症例を経験する。

そこで Dual Energy CT (DECT) のヨードマップ画像を用いて検討を行った。末梢関節の炎症性病変に存在するヨード成分を検出し画像化することで、ヨード成分が存在している部分と存在

しない部分をマッピングし、炎症部位と正常部位の評価を行った。

2-2 目的

造影下の DECT を撮影しヨードマップ画像を用いることにより、末梢四肢のヨード成分の広がりから炎症の評価が可能であるか、またその臨床での有用性を目的とした。

2-3 対象および解析方法

当院において2014年12月から2016年1月の期間にPsAが疑われ、造影DECTが施行された

14例（男女比10：4、平均年齢52.6 ± 18.3歳（28～89歳）を対象とした。そのうち8例においてMRIが施行されている（DECTとMRIの平均検査日数は17.4日）。

表2 対象とした14症例の詳細

No.	性別	年齢	検査種	初回CT施行日	初回MRI施行日
1	男性	28	CT/MRI	2015/2/23	2014/12/25
2	女性	64	CT/MRI	2015/8/28	2015/8/29
3	女性	43	CT/MRI		
4	男性	89	CTのみ	2016/1/8	2016/1/20
5	男性	25	CTのみ		
6	男性	48	CTのみ		
7	女性	46	CT/MRI	2015/3/18	2015/4/20
8	男性	83	CT/MRI	2015/2/25	2015/2/9
9	男性	56	CT/MRI	2015/1/15	2015/1/30
10	男性	44	CTのみ		
11	男性	46	CT/MRI	2015/2/27	2015/3/28
12	男性	57	CTのみ		
13	女性	66	CTのみ		
14	男性	41	CT/MRI	2014/12/18	2015/3/6

得られた高電圧画像と低電圧画像より、病変部と正常部に関心領域を設定し、そのCT値を計測した。また高電圧画像と低電圧画像の双方を除算し、CT値の比とした画像を作成した。このCT値の比の画像より、病変部の持つCT値の比を可視化し、解析を行った。

撮影条件を表3に示す。造影剤は、高濃度製剤（350mgI/ml；100ml）のみを使用し、造影剤注入条件は1.5ml/secで全量注入とした。撮影部位にかかわらず、全症例に対し、撮影条件および造影剤の注入条件などは統一した。

撮影手順については、手や手関節が撮影対象と

なる場合は、健側に造影剤のルートを確認した後、患側を挙上した状態で寝台に仰臥位でポジショニングする。位置決め画像を撮影後、造影剤を注入し、2分後に撮影を開始する。撮影開始時間に関しては、Joshua M.Polster,MDらによって報告された Rheumatoid Arthritis : Evaluation with Contrast-enhanced CT with Digital Bone Masking (RSNA, 2009) を参考に2分後とした。撮影終了後、ヨードマップ画像の処理を行う。処理方法として Three - material decomposition法を使用している。縦軸を低電圧画像のCT値、横軸を高電圧画像のCT値と設定し、脂肪と軟部組織のCT値を定義すると、滑膜や腱鞘などのCT値はその脂肪と軟部組織のCT値を結んだ直線上に位置する。さらに造影剤のCT値を定義することで、炎症部位は造影剤のCT値に向かってCT値が上昇すると考えられる。炎症部位のCT値と、造影剤のCT値を通る直線が脂肪と軟部組織の点を結んだ直線と交差する部位は造影前のCT値と予想され、Virtual Non Contrast (VNC) 画像を作成できる。この予想された造影前のCT値と実際の造影のCT値の差分を定量化しヨードマップ画像を作成している。（図1）

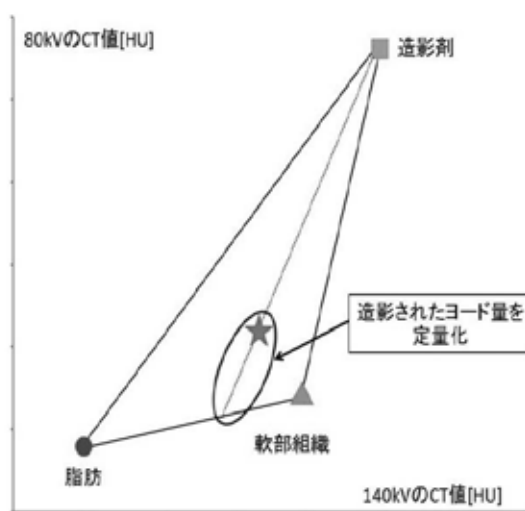


図1 Three-material decomposition

表2で提示した14症例の詳細にも記載がある通り、手や手関節以外にも足部、足関節などの部

位の症例も撮影している。手部や手関節以外の部位の撮影の際にも撮影条件、造影条件、処理条件は全て同一条件で検査、処理を行っている（表3）。

表3 撮影条件

管電圧	System A	80kV
	System B	Sn 140kV
Effective mAs	System A	250mAs (CT-AEC: off)
	System B	125mAs (CT-AEC: off)
コリメーション	40mm × 0.6mm	
ピッチ	0.7	
ローテーションタイム	0.5sec	

2-3 解析結果

高管電圧画像、低管電圧画像の病変部と正常部に設定した関心領域のCT値の結果を示す（図2、図3）。高管電圧画像、低管電圧画像ともに病変部では高いCT値を示し、正常部ではほぼ低い値を示した。また正常部と比較して病変部はばらつきが少ない結果となった。

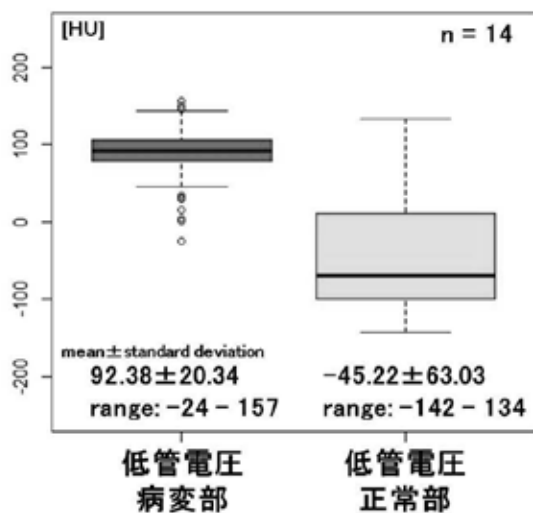


図2 低管電圧画像のCT値

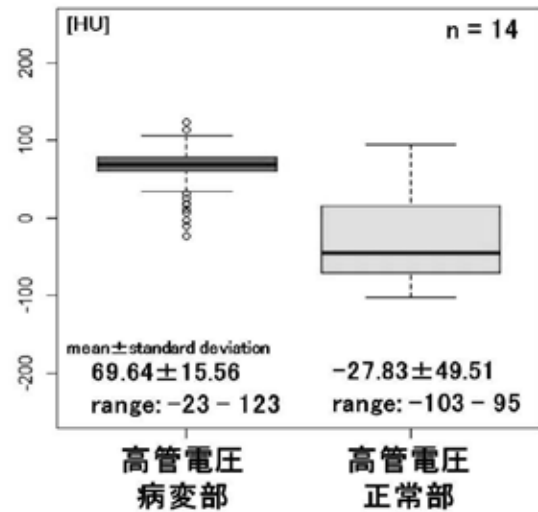


図3 高管電圧画像のCT値

病変部と正常部のCT値の比を図4に示す。CT値の比は正常部と比較し、病変部では 1.35 ± 0.33 と高い値を示した。

図5に計測した全ての関心領域のCT値をプロットしたものを示す。正常部のCT値をプロットした点はCT値の低い部分に位置し、バラツキも大きいですが、病変部のCT値をプロットした点は正常部と比較しCT値の高い部分に位置し、バラツキも少ない結果となった。

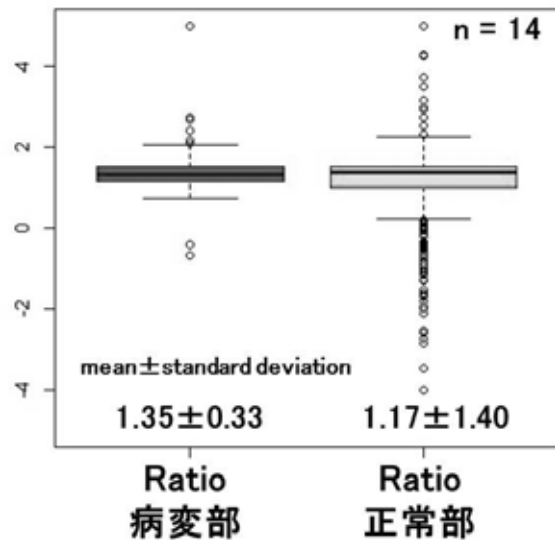


図4 病変部、正常部のCT値の比

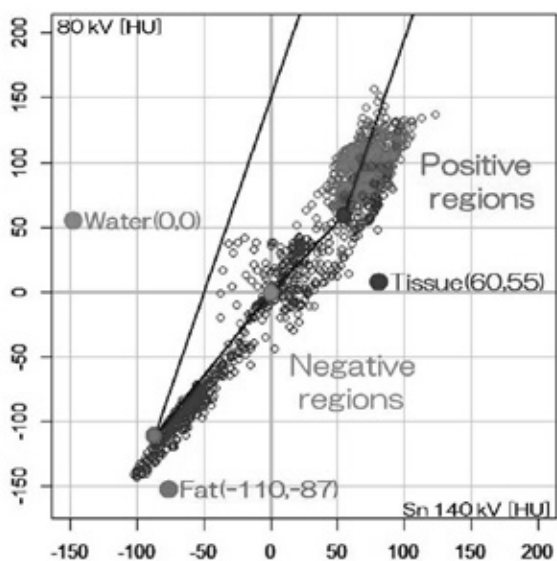


図5 全ての関心領域のCT値

2-4 考察

図2、図3の結果から、低管電圧画像、高管電圧画像ともに病変部のCT値は上昇しており、ヨードマップ画像の処理を行い、病変部と正常部の評価を行うことができると考えた。また図4からCT値の比を1.35～3.5に設定することにより病変部と正常部を分離して画像化することができると考えられる。このCT値の比の値を低い値に設定してしまうと正常部も病変部として捉えてしまう危険性があり、CT値の比の値を高い値に設定してしまうと、病変部を正常部として表示してしまう危険性がある。以上のことから病変部を過大に評価せず、かつ過少な評価とならない値として1.35～3.5の値が良いと考える（図6、図7、図8）。

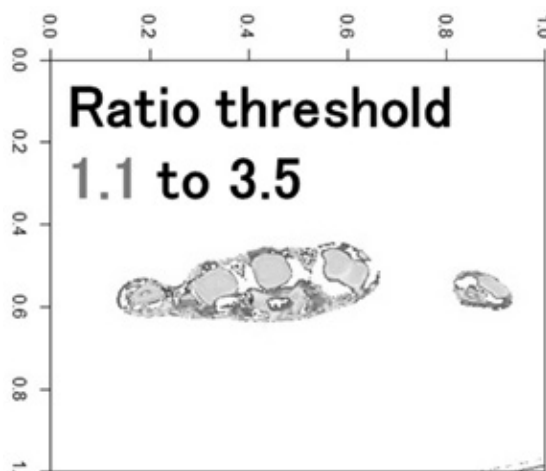


図6 1.1～3.5のCT値の比の画像

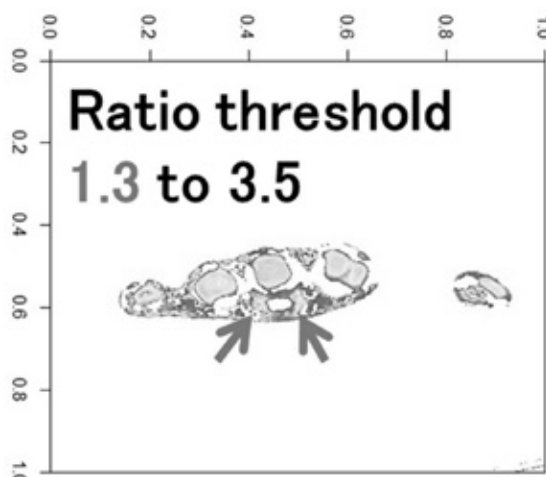


図7 1.3～3.5のCT値の比の画像

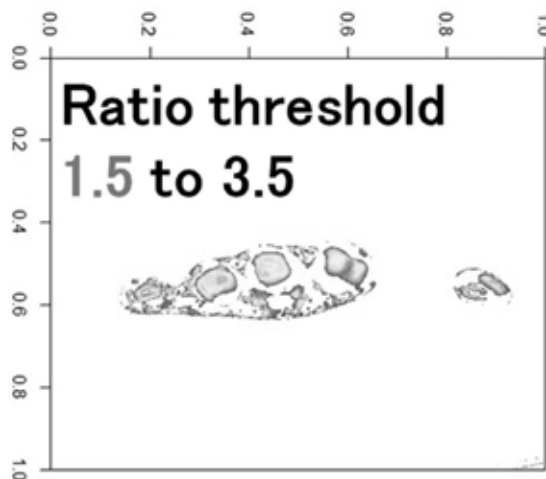


図8 1.5～3.5のCT値の比の画像

3. 臨床応用①

対象とした14症例のうち2症例、また14症例以外に撮影したものの中から2症例について記述する。

症例①

3-1 患者情報

20歳代 男性

左第3指 DIP 関節病変

当院において、治療開始前の2015年2月に撮影し、その後治療が開始され、2015年4月、6月と計3回撮影された症例である。

計3回の撮影において、低管電圧画像の病変部に関心領域を設定し、CT値を計測した結果を図9に示す。治療開始前の撮影時のCT値は、治療開始後のCT値と比較し、CT値の高い領域で集束した結果となった。

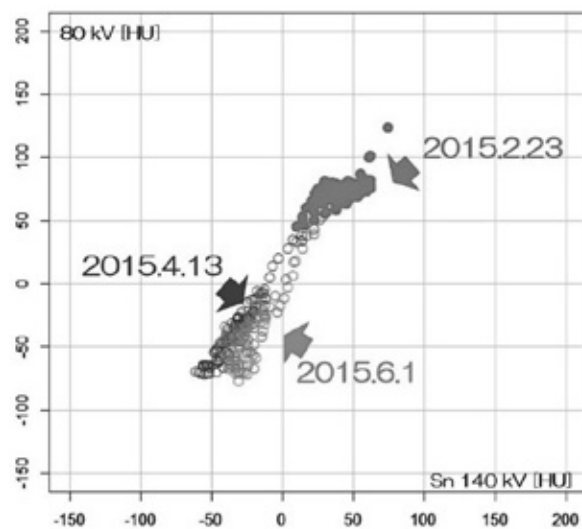


図9 全ての検査時のCT値

3-2 画像による考察

図9の結果から、治療開始の前後でCT値の変動があることが推測される。ヨードマップ画像ではこのCT値の変動も視覚的に捉えることが可能であり、視覚的にも物理的にも治療効果の判定に役立つツールの1つになると考えられる。

4. 臨床応用②

症例②

4-1 患者情報

60歳代 女性

右第2指 MCP 関節病変

乾癬性関節炎として、2010年からレミケードを投与していたが、右第2指 MCP 関節の痛みが出現し、その痛みが続いているため、2015年8月に DECT を施行した。その後、治療を続け2016年8月に2回目の DECT を施行した。

4-2 画像による考察

図10、図11は臨床において実際に作成しているヨードマップ画像である。図10は、2015年8月に撮影されたものであるが、炎症部分に造影剤成分が存在していることがヨードマップ画像で表せている。炎症の広がりを視覚的に捉えることができるだけでなく、多断面からの観察が可能となっている。また図11は2016年8月に治療後のフォローアップ目的として撮影されたものであり、同一の処理条件のヨードマップ画像であるが、炎症部分の分布が消滅している。このようにヨードマップ画像の提供をすることで治療後の炎症評価や経過観察にも有用であると考えられる。

また、DECTでの撮像によりアーチファクトが低減された画像を取得することができ、さらに多断面での観察が可能になること、撮影後にも再構成により細かいスライスデータを作成することで医師の読影や診断の一助となる。

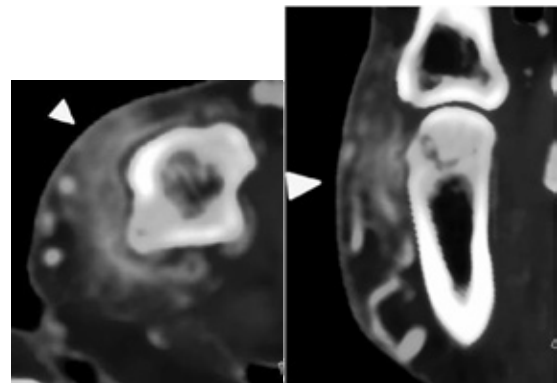


図10 治療前のヨードマップ画像

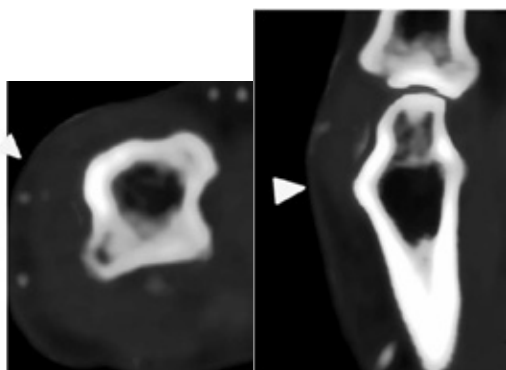


図 11 治療継続1年後のフォローアップ画像

5. 臨床応用③

症例③

5-1 患者情報

30歳代 女性

右第3指 PIP 関節病変

表2に示した14症例に含めていない症例である。乾癬の症状がなく、RAとして治療が続けてきたが、症状が改善されず、後日、乾癬の症状である爪変化や指炎を伴い、DECTを施行した。

5-2 画像による考察

第3指のPIP関節では、伸側や関節周囲に炎症の所見が観察でき、PsAの所見と一致する。(図12) また、乾癬の症状が発症していることから、RAではなくPsAと診断し治療方針も変更された症例である。このように関節炎の症状が先行される場合RAと診断される可能性もあるが、PsAは早期に発見し効果の高い治療を行うためにも、そのためのツールの1つとしてDECTは有用であると考えられる。

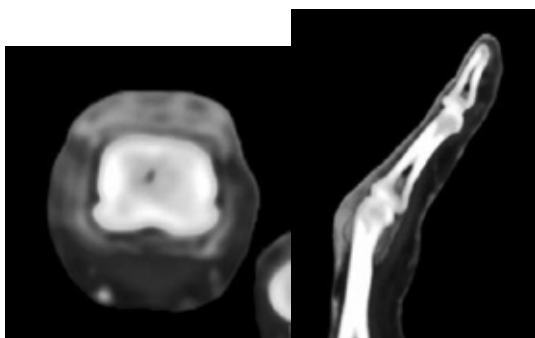


図 12 PsA と示唆する所見画像

6. さいごに

従来、一般撮影で評価していた骨びらんに関しては、一般撮影と比較して描出能は劣るとしても、CTで骨条件の画像を作成することで評価の一助となる。また骨髄浮腫に関して、MRIで評価を行っているが、DECTにおけるBone Marrowの画像処理を加えることで評価が可能になると考えられる。MRIと比較してアーチファクトの影響が少ない点や多断面での観察が可能な点、空間分解能の良い点に加え、Bone Marrowの画像処理でMRIに劣らない評価が可能であれば、MRIの代用となる検査法になると期待できる。さらにMRIと比較しDECTでは、被ばくがあるものの、体内金属留置の患者や閉所恐怖症の患者にも対応可能であること、長時間の体勢維持が困難な患者にも対応できることなどの利点が挙げられる。次に、PsAは早期に診断をすることが患者のQOLの向上につながるとされているため、MRIと比較してDECTの検査時間が短く検査へのアクセスが良い面は大きな利点として挙げられる。以上のことから本稿で述べた検査法の臨床における有用性は高いと考えられる。

第7回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
 会 長 挨 拶
 来 賓 挨 拶
 表 彰
 総会運営委員会報告
 議 長 選 出
 総 会 職 員 任 命
 議 事
 報 告

第1号議案 平成29年度 事業報告 (案)
 第2号議案 平成29年度 決算報告 (案)
 第3号議案 平成29年度 監査報告
 第4号議案 名誉会員の承認
 第5号議案 その他
 平成29年度 補正予算 報告
 平成30年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

第7回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

平成29年度事業報告（案）

平成 29 年度事業報告 (案)

1. 総括

2019 年の全国大会へ向けて準備を始めていく段階に入りました。会員が誇れる全国大会になるよう、思考をこらして企画してまいります。平成 28 年度の反省点を踏まえ、全国大会の基盤を作る年でもあると思います。

平成 29 年度の主な出来事

(1) 一般

- ①築地市場豊洲移転問題で、移転が決定
- ②プレミアムフライデー
- ③中学生のプロ棋士が 29 連勝
- ④日系英国人のカズオ・イシグロがノーベル文学賞
- ⑤トランプ大統領初訪日
- ⑥日経平均株価が 25 年 10 ヶ月ぶりに 2 万 2937 円
- ⑦ビットコイン高騰

(2) 医療

- ①時間外労働規制など、医療従事者の働き改革をめぐる動き
- ②聖路加国際病院名誉院長、日野原重明氏、105 歳で逝去
- ③アナウンサー小林麻央さん死去
- ④医師の地域偏在診療科偏在に対する対策の動き
- ⑤国際医療福祉大学医学部一期生入学
- ⑥オプチャーボ、胃がんの一部にも保険適用
- ⑦NHK のがん見落とし報道

県議会・行政への実績アピール

埼玉県教育委員会と県立高校特別授業についての実績や今後の事業拡大の要望について意見を交わしました。また、さいたま市教育委員会と 3D 画像解剖学体験の新事業について意見を交わしました。

公益活動

例年通り、各支部では各市町村で行われる「健康祭り」へ積極的な参加を行っており、併設された被ばく相談などでは県民から高い評価を得ております。

県立高校での「放射線特別授業」は、継続事業となっております。県立高校の授業の一環として教壇に立ち、文部科学省のカリキュラムに沿って診療放射線技師会が授業を担務しているというのは、非常に意味のあることです。また委員会を立ち上げ、この事業に関わる会員の皆さまの研鑽の場となると確信しております。

さらには、学術大会市民公開講座として、小中学生を対象とした 3D 画像解剖学体験を開催しました。実際のワークステーションに触れていただき、3D 画像の作成を体験してもらおうという企画です。将来の職業をこれから決める小中学生を対象とし、医療だけでなく、画像処理の仕事を知っていただく機会になったと思います。

名誉会員の承認

本会へ多大な貢献があった会員として濱守 誠氏を名誉会員に推薦させていただきました。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

学術活動

各モダリティで認定講習会を開催し、基礎からハイレベルまで対応した、きめ細かな内容となっています。これまでの事業は継続し発展していきます。

会員の育成

埼玉では、以前から講師育成に取り組んでまいりました。埼玉の会員が他学会、他県技師会などで多くの人材が活躍しております。近年では、国際学会へ発表する診療放射線技師が増えてきており、今後は技師会としてバックアップを行い、人材の育成に取り組んでまいります。

役員の育成

技師会で学び育った人材が各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師会の役目でもあります。昨年は役員研修会で「気づき」と題して、物事を多面からとらえる発想について学びました。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシューズセミナーでは県内外から多数の参加者があり、会員入会促進事業として毎年継続していきたいと考えています。

今年度の役員研修会は、田中会長に進行をお願いしていくつかのテーマを元に役員の皆さまと意見交換を行いました。常務理事のみならず、支部理事の皆さまも日ごろ疑問に思うことなど、忌憚ない意見交換ができました。

永年勤続表彰事業は、日本診療放射線技師会より委託されている 30 年、50 年の対象者を抽出し返信いただいた会員の方々を日本診療放射線技師会に推薦致しました。表彰は北海道の函館で開催された学術大会にて行われました。埼玉県診療放射線技師会の 20 年、40 年永年勤続表彰は、対象者となる会員の方々を表彰委員会に推薦致しました。こちらの表彰は当会定期総会にて行われました。

恒例となりました新年当初の新春の集いは、会員・賛助会員・新入会員が一堂に会し、例年同様和やかに開催されました。

いずれの事業におきましても会の事業としては継続の必要性があると考えております。

2) 学術

学術活動において、会員が参加したいイベントが、身近に開催していることが大切と考えています。また最新なことのみではなく、診療放射線技師として基本的な内容を掘り下げていくことも本会の役割と思っています。本会においては、10 年以上前から読影に関してもセミナーを通じて

教育のカリキュラムに取り込んでまいりました。平成 22 年 4 月付、厚生労働省医政局通知にもあったように、診療放射線技師の読影の補助ということが社会的に重要視されるようになったことは、本会としても教育指針に関して、方向は整合性が取れていると考えています。本年度学術事業の方向性に関しては、昨年と同様に考え進めてまいりました。近年、外部環境は各種認定制度や専門技師制度が確立されつつあり、周囲の状況を踏まえ、各セミナーおよび講習会を開催してまいりました。本年認定講習会は、胸部認定講習会・上部消化管検査認定講習会・CT 認定講習会を開催しました。胸部認定講習会においては、診療放射線技師の読影やデジタル画像における撮影線量の最適化の講義を充実させました。上部消化管認定講習会・CT 認定講習会においては、それぞれの認定機構や地域研究会との整合性を図り開催しました。また内容に関しても充実し、実践的な教育をしてまいりました。その他、Freed セミナー、MRI 基礎講習会、DR 計測セミナー、乳腺画像セミナー、救急撮影ケーススタディーを開催し、参加者が得られました。

3) 編集・情報

埼玉放射線 Vol.65No.2・3・4、Vol.66.No.1 の計 4 号を発刊しました。編集・情報活動は、本会活動の中でも重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、平成 26 年から発行回数が増え 4 回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Web サイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針の下、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や、放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これら Web サイトの他、定期的に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Web サイトやメルマガは即時性の高い情報提供手段と考えています。

2016 年 4 月より企画班を設けました。主な役割は会誌の学術関係の企画です。今年は学術大会の企画なども行いました。今後は、会員のために充実した魅力ある技師会・会誌になるよう務めていきたいと考えます。

4) 公益

- 平成 29 年度本会公益活動として
- ・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布
- ・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定
- ・ホームページからの被ばく相談（実績 5 件）
- ・がん患者支援チャリティ・イベントとして RFLJ 川越へ参加
- ・放射線特別授業（埼玉県内の高校へ放射線関連の授業を行う）を 2 校 3 回実施

- ・放射線特別授業准講師養成講習会（実績 1 回）を行ってきました。

公益活動は「不特定かつ多数のものの利益」と考えられがちですが、内閣府の公益認定等委員会では、公益活動は対象が特定または少数であることが問題なのではなく、その活動が「求められているか」と受益の機会が「開かれているか」という 2 点をポイントとしています。この 2 点から平成 29 年度公益活動を振り返り、地域住民ひいては県民とわれわれ診療放射線技師をつなぐ懸け橋としてだけでなく、医療に携わる者としての意識向上とチーム医療推進のために医療関係職種との交流を持った活動を展開していく所存であります。

2. 事業遂行評価

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会 ○
- イ. 胸部認定講習会 ○
- ウ. 上部消化管検査認定講習会 ○
- エ. フレッシュアップセミナー（SART セミナー） ○
- オ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー ○
（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成）
- カ. CT 認定講習会 ○
- キ. MRI 基礎講習会 ○
- ク. 乳腺セミナー ○
- ケ. DR 計測セミナー ○
- コ. 救急撮影ケーススタディー ○
（日本救急撮影技師認定機構との共催）
- サ. 読影力向上のための講習会 ○
（支部開催セミナー）
- シ. 業務拡大に伴う統一講習会 ○

(2) 会員講師の育成と体制づくり ○

(3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進

- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力 ○
- イ. 埼玉県医師会主催事業への支援 ○
- ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力 ○
- エ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画 ×
- オ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画 ○
- カ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進） ○

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携 ○
- (2) 入会促進事業の強化 ○

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊 ○
- (2) 市民公開講座の開催 ○
- (3) 地域自治体主催事業への参加 ○
- (4) 医療画像展の開催と支援 ○
- (5) 県民向けホームページの充実 ○

- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
- (7) 公立学校における放射線教育の担務 ○
- (8) 技師会事務所近隣住民に対する公益事業 ×
- (9) 3D 画像解剖学体験 ○

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実 ○
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実 ○
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報 ○
 - イ. 学術データベースの充実 ○
- (3) メールマガジンの有効利用 ○

5 その他

- (1) 他職種（医師など）の職能団体との連携 ○
- (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案 ○
- (3) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力 ○

平成 29 年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 平成 29 年度役員は次のとおり。

役 職 名	氏 名	担 当	
会 長	田中 宏		
副 会 長	堀江 好一		
	富田 博信		
監 事	橋本 里見		
	鈴木 正人		
常 務 理 事	結城 朋子	総 務	
	城處 洋輔	総 務	
	潮田 陽一	財 務	
	今出 克利	学 術	
	八木沢英樹	編 集・情 報	
	佐々木 健	公 益	
理 事	双木 邦博	総 務・第一支部	
	大西 圭一	総 務・第二支部	
	山岸 正和	総 務・第三支部	
	齋藤 幸夫	総 務・第四支部	
	矢崎 一郎	総 務・第五支部	
	山口 明	総 務・第六支部	
		寺澤 和晶	学 術
		山田 智子	学 術
		中根 淳	学 術
		清水 邦昭	編 集・情 報
		芦葉 弘志	公 益

(2) 会議開催状況

ア. 総会

第 6 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を平成 29 年 6 月 18 日（日）、埼玉会館 7 階会議室において会員 50 人出席、有効委任状提出 618 人、合計 668 人にて開催しました。総会では平成 28 年度事業報告案、平成 28 年度決算報告案、平成 28 年度監査報告、および名誉会員の承認などについて審議し決議しました。

イ. 理事会は下記の通り 8 回開催し、重要案件について審議し決議しました。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 05. 11	技師会事務所
2	29. 06. 01	同
3	29. 06. 18	同
4	29. 07. 06	同
5	29. 09. 07	同
6	29. 11. 02	同
7	30. 01. 11	同
8	30. 03. 01	同

ウ. 常務理事会は下記の通り 4 回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理しました。

常務理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 04. 06	技師会事務所
2	29. 10. 05	同
3	29. 12. 07	同
4	30. 02. 01	同

エ. その他

役員研修会、連絡会議ならびに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理しました。

役員研修会

	年 月 日	開 催 場 所
1	30. 02. 09	With You さいたま埼玉県男女共同参画推進センター

連絡会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 04. 27	技師会事務所
2	29. 06. 29	同
3	29. 08. 31	同
4	29. 10. 26	同
5	30. 02. 22	同

予算会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	30. 02. 22	技師会事務所

北関東地域会長会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 06. 24	ホテルメルパルク長野
2	29. 12. 02	大宮ソニックシティ

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は次のとおり。

委 員 会 名	開 催 年 月 日
編 集 情 報 委 員 会	29. 04. 04
	29. 06. 07
	29. 06. 18
	29. 09. 05
	29. 09. 13
	29. 11. 09
	30. 02. 08
	30. 03. 08
企 画 班 委 員 会	29. 05. 17
	29. 11. 15
	30. 03. 16
学 術 委 員 会	29. 04. 24
	29. 06. 28
	29. 10. 04
	29. 12. 04
	30. 02. 19
	30. 03. 28
	30. 03. 28
公 益 委 員 会	29. 07. 18
	30. 01. 23
放 射 線 特 別 授 業 運 営 委 員 会	公益委員会と合同

表彰委員会

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 06. 28	技師会事務所
2	30. 01. 29	技師会事務所

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役 職 名	氏 名	
委 員 長	藤間 英雄	
委 員	小島 精一	渡辺 弘
同	鈴木 正人	田中 宏
同	堀江 好一	富田 博信
同	結城 朋子	城處 洋輔

イ. 医療画像展実行委員会（秩父会場）

役 職 名	氏 名	
実 行 委 員 長	横田 文克	
副実行委員長	齋藤 幸夫	
実 行 委 員	清水 浩和	萩原 貴之
同	新井 偉生	大野 渉
同	高井 太市	豊田 薫
同	勅使河原真由美	
同	三上 紀之	

ウ. 医療画像展実行委員会（浦和区会場）

役 職 名	氏 名	
実 行 委 員 長	双木 邦博	
実 行 委 員	野々浦成美	金子 瑤平
同	大小原 梢	室井 大志
同	西田 衣理	戸澤 僚太
同	鈴木 優太	八木沢英樹
同	安本 佳章	坪 あずさ
同	野崎秋香里	鎌田 靖男

エ. 医療画像展実行委員会（川越会場）

役 職 名	氏 名	
実 行 委 員 長	山岸 正和	
実 行 委 員	佐藤 正彦	轟 圭介
同	森下 勝	中田 智仁
同	橋本利恵子	市川 隆史
同	中村 美紀	新井 舞
同	野中 春菜	

オ. 医療画像展実行委員会（越谷市会場）

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	岩井 悠二 眞壁 耕平
同	矢部 智 村本 圭祐
同	金子 初穂 中嶋 幸孝
同	長坂 純 栗田 幸喜

コ. 企画班（編集・情報委員会）

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	大西 圭一 河原 剛
同	舘林 正樹 眞壁 耕平
同	渡辺 嵩広

カ. 医療画像展実行委員会（行田会場）

役職名	氏名
実行委員長	齋藤 幸夫
副実行委員長	清水 浩和
実行委員	新井 偉生 横田 文克
同	高井 太市 大野 渉
同	柏瀬 義倫 萩原 貴之
同	長谷川英治 浅見 純一

ク. 学術委員会

役職名	氏名
委員長	今出 克利
副委員長	寺澤 和晶 山田 智子
同	中根 淳
委員	栗田 幸喜 大森 正司
同	城處 洋輔 大根田 純
同	土田 拓治 近藤 敦之
同	滝口 泰徳 伊藤 寿哉
同	亀山 枝里 富田 博信
同	佐々木 健 佐藤 浩彰

キ. 医療画像展実行委員会（伊奈町会場）

役職名	氏名
実行委員長	山口 明
副実行委員長	茂木 雅和
実行委員	牧 隆史 中村 聖
同	茂木健太郎 大久保麻優
同	畠山 祥一 芦葉 弘志
同	仲西 一真 飯島 竜
同	安川 紘平 猪瀬 康弘
同	矢野 健太 小野寺将真

ク. 公益委員会

役職名	氏名
委員長	佐々木 健
副委員長	芦葉 弘志
委員	志藤 正和 矢島 慧介
同	内海 将人 眞壁 耕平
同	豊留 章裕 紀陸 剛志
同	石田 仁子 坂本 里紗
同	大河原侑司

ク. 医療画像展実行委員会（春日部会場）

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	岩井 悠二 眞壁 耕平
同	矢部 智 石原 優希
同	金子 初穂 中嶋 幸孝
同	長坂 純 栗田 幸喜

ス. 総務・財務委員会

役職名	氏名
委員長	結城 朋子
副委員長	城處 洋輔 潮田 陽一
委員	堀江 好一 富田 博信
同	双木 邦博 大西 圭一
同	山岸 正明 齋藤 幸夫
同	矢崎 一郎 山口 明
同	田中 達也 矢部 智
同	佐々木 剛

ケ. 編集・情報委員会

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	肥沼 武司 潮田 陽一
同	宮崎 雄二 豊留 章裕
同	吉田 敦 大友 哲也
同	渡部 伸樹 堀越 隆之

セ. 総会運営委員会

役職名	氏名
委員長	萩原 隆之
委員	栗原 真 遠藤 真理
同	新堀 隆男 長坂 純
同	倉内 克憲

ソ. 総会実行委員会

役職名	氏名
委員長	田中 宏
副委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	結城 朋子 城處 洋輔
同	潮田 陽一 今出 克利
同	八木沢英樹 佐々木 健

タ. 第32回埼玉県診療放射線技師学術大会実行委員会

役職名	氏名
大会長	田中 宏
実行委員長	今出 克利
副実行委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	結城 朋子 芦葉 弘志
同	城處 洋輔 栗田 幸喜
同	田中 達也 矢部 智
同	肥沼 武司 清水 邦昭
同	宮崎 雄二 渡邊 城大
同	渡部 伸樹 山岸 正和
同	土田 拓治 佐々木 健
同	中根 淳 矢崎 一郎
同	双木 邦博 齋藤 幸夫
同	佐々木 剛 近藤 敦之
同	矢島 慧介 寺澤 和晶
同	亀山 枝里 大西 圭一
同	山口 明 滝口 泰徳
同	伊藤 寿哉 眞壁 耕平
同	尾形 智幸 山田 智子
同	志藤 正和 潮田 陽一
同	八木沢英樹 内海 将人
同	佐藤 浩彰 大森 正司
同	堀越 隆之 大友 哲也
同	豊留 章裕 紀陸 剛志
同	大河原侑司 坂本 里紗
同	石田 仁子 館沼理保奈

(5) 表彰

- ア. 叙勲瑞宝双光章受賞（敬称略）
石川 昇
- イ. 保健衛生知事表彰（敬称略）
吉村 保幸
- ウ. 公衆衛生功労知事表彰（敬称略）
宮澤 浩治、萩元 孝
- エ. 公衆衛生事業功労者（財）日本公衆衛生協会会長表彰（敬称略）
諸澄 邦彦、新井 均
- オ. (公社)日本診療放射線技師会表彰
 - 1) 功労表彰（敬称略）
田中 宏
 - 2) 永年50年勤続者表彰（敬称略）
新井 俊吉
 - 3) 永年30年勤続者表彰（10人、敬称略）
松田 恵雄、小林 悟史、村田 保、清水 雅明
鈴木 俊昭、内田 恒、西井 律夫、吉田 克己
菊地 栄、吉田 真一
- カ. (公社)埼玉県診療放射線技師会表彰
 - 1) 永年40年勤続者表彰（3人、敬称略）
新井 均、清水 文孝、小柳 洋二
 - 2) 永年20年勤続者表彰（12人、敬称略）
市川 隆史、松本 茂、湯浅 知儀、田口 博敏
鈴木 幸司、野崎 晃彦、吉川 昌宏、轟 圭介
八木沢英樹、清水 邦昭、平松 俊造、脇谷 正行

(6) 物故者（3人、敬称略）

齋藤 修一、服部 浩、阿部 靖

(7) 会員の動向（平成29年3月31日現在）

項目	会員数
平成28年度末 会員数	1,210人
平成29年度 新入会者数	86人
同 再入会者数	6人
同 転入者数	10人
同 転出者数	10人
同 退会者数	54人
平成29年度末 会員数	1,248人

(8) 平成29年度賛助会員21社（順不同）

- シーメンスヘルスケア株式会社
- GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- 東芝メディカルシステムズ株式会社
- 株式会社三田屋製作所
- 株式会社日立製作所
- 株式会社メディカル・サービス T&K
- コニカミノルタジャパン株式会社
- 第一三共株式会社
- カイゲンファーマ株式会社
- 富士フィルムメディカル株式会社

日本メジフィジックス株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
バイエル薬品株式会社
富士フイルム RI ファーマ株式会社
日本放射線防禦株式会社
株式会社ドクターネット
ケアストリームヘルス株式会社
株式会社サイカンシステム
ホスピタルサプライジャパン株式会社
株式会社東日本メディカル
島津メディカルシステムズ株式会社

本間雅人（熊谷生協病院）
野口洋一（上尾中央総合病院）

- (7) 平成 29 年度上部消化管検査認定試験
開催日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）
場 所：技師会センター 2 階会議室
参加者：6 人
指導員：該当者なし
準指導員：高瀬 正人（埼玉医科大学総合医療センター）
山口 恵利（西大宮病院）
竹内 直美（財団法人啓明会中島病院）
浅野 友彦（大宮双愛病院）

2. 学術教育活動報告

(1) 第 16 回胸部認定講習会

講 師：佐々木健、清水達也、土田拓治、滝口泰徳、
染野智弘、柴俊幸

開催日時：平成 29 年 12 月 3 日（日）

場 所：上尾中央総合病院

参加者：21 人

(2) 第 17 回上部消化管検査認定講習会

講 師：志田智樹、清水達也、工藤安幸、飯山雅巳、
今出克利、大森正司、水谷勝

開催日時：平成 30 年 1 月 28 日（日）

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：21 人

(3) 第 9 回 CT 認定講習会～入門編～

講 師：富田博信、中根淳、城處洋輔

開催日時：平成 29 年 8 月 30 日（水）

場 所：浦和コミュニティセンター 第 13 集会室

参加者：29 人

(4) 第 9 回取得者向け CT 認定講習会

講 師：富田博信、中根淳、城處洋輔

開催日時：平成 29 年 8 月 30 日（水）

場 所：浦和コミュニティセンター IT 教室

参加者：5 人

(5) 第 9 回 CT 認定講習会

講 師：富田博信、八木沢英樹、染野智弘、中根淳、
志藤正和、城處洋輔、柴俊幸、寺澤和晶

開催日時：平成 30 年 1 月 21 日（日）

場 所：済生会川口総合病院

参加者：38 人

(6) 平成 29 年度胸部認定試験

開催日時：平成 30 年 1 月 27 日（土）

場 所：技師会センター 2 階会議室

参加者：20 人

指導員：該当者なし

準指導員：岡藤由香（上尾中央総合病院）

西田衣里（済生会川口総合病院）

阿部 聡（岡病院）

戸澤僚太（済生会川口総合病院）

茂木大哉（上尾中央総合病院）

(8) 平成 29 年度 CT 認定試験

開催日時：平成 30 年 2 月 16 日（金）

場 所：浦和コミュニティセンター IT 研修室

参加者：14 人

指導員：該当者なし

準指導員：和田 樹昂（上尾中央総合病院）

小幡 忠司（柏厚生総合病院）

森田 祐介（熱海所記念病院）

(9) MRI 基礎講習会（JART 基礎技術講習）

講 師：浜野洋平、渡邊城大、佐藤 広崇、渡部進一
池田欣正、宿谷俊郎

開催日時：平成 29 年 11 月 12 日（日）

場 所：済生会川口総合病院

参加者：63 人

(10) 第 6 回 Freed セミナー

講 師：佐々木健

開催日時：平成 29 年 12 月 2 日（土）

場 所：上尾中央総合病院

参加者：27 人

(11) DR 計測セミナー

講 師：堀切直也、土田拓治、滝口泰徳、森一也、

開催日時：平成 30 年 2 月 4 日（日）

場 所：済生会川口総合病院

参加者：9 人

(12) 乳腺セミナー

講 師：土田拓治、高橋美香、岡田智子、長島萌子
尾形智幸、亀山枝里、赤坂未波、田中宏、

開催日時：平成 30 年 1 月 14 日（日）

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：37 人

(13) 救急撮影ケーススタディー

講 師：伊藤寿哉、河田諄人、吉澤俊祐

開催日時：平成 30 年 3 月 17 日（土）

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：16 人

3. 編集・情報・企画班 活動報告

(1) 編集活動報告

平成 29 年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第 65 巻 248 号から第 66 巻 251 号まで、計 4 回発刊致しま

した。第65巻248号では、誌上講座：安全なMRI検査のために～環境づくり～「～新人技師自動育成計画～」「プロトコルを考える～基礎からの腰椎MRI～」。

連載企画：「院内勉強会活動報告～救急医療画像カンファレンスの開催～」。

249号では、誌上講座：2016年度支部合同勉強会 in kumagaya 「～頭頸部外傷性疾患～」 「外傷（胸部～骨盤腔）」 「内因性大血管疾患のCT画像から見て取れるもの」 「～みのがすと一大事！腹部疾患～」 「～腹部領域～」。

学術大会テクニカルディスカッション抄録：「画像誘導放射線治療（IGRT）の基礎」「リニアックのIGRT」「TomoTherapyのIGRT」。

250号では、誌上講座：平成28年度SART・TART地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー2017「機能解剖を考える上肢撮影～手関節～」 「誰でも簡単スカイラインビューの実践～再撮影防止に向けて～」 「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント～画像から見た撮影ポイントと画像から診た読影ポイント～」 「臨床に適した画像処理選択の基本～四肢撮影を中心に～」。

連載企画：「放射線検査に対して院内の取り組み～放射線・MRI安全利用について～」 「Selenia Dimensionsの使用経験～トモシンセシスの有用性～」。

第66巻251号では、誌上講座：平成28年度SART・TART地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー2017「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」「外傷診療における救急撮影の基礎」「みんなで創ろう救急撮影法」。

連載企画：「済生会栗橋病院における勉強会の取り組み」「MRIの性能評価～T1値・T2値の測定～」 「第32回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集」。

また前年度に続き、協賛企業の方々に「技術解説」をご執筆いただき、多くの方から内容について好評をいただきました。

(2) 情報活動報告

ア. 「会員向けHP」

- 1) 学術案内 (115件)
- 2) 巻頭言 (4件) 250号まで
- 3) 会誌 (5件) 243～247号まで
- 4) お知らせ (29件)
- 5) 学術データベース (0件)
- 6) 第32回 埼玉県診療放射線技師学術大会開催案内

イ. 「一般向けHP」

- 1) 「会誌・バックナンバー」 243～247号まで
- 2) リレーフォーライフジャパン開催案内 (1件)

ウ. 「メールマガジン配信」

- 1) 7件 no.82からno.88まで
- 2) 登録8件

(3) 企画班活動報告

ア. 会誌企画

- 1) 会誌2017年5月248号
誌上講座：安全なMRI検査のために～環境づくり～
「～新人技師自動育成計画～」 「プロトコルを考える～基礎からの腰椎MRI～」
- 2) 会誌2017年7月249号

誌上講座：2016年度支部合同勉強会 in kumagaya 「～頭頸部外傷性疾患～」 「外傷（胸部～骨盤腔）」 「内因性大血管疾患のCT画像から見て取れるもの」 「～みのがすと一大事！腹部疾患～」 「～腹部領域～」

学術大会テクニカルディスカッション抄録：「画像誘導放射線治療（IGRT）の基礎」「リニアックのIGRT」「TomoTherapyのIGRT」

3) 会誌2017年10月250号

誌上講座：平成28年度SART・TART地区合同勉強会

骨軟部撮影セミナー2017「機能解剖を考える上肢撮影」「誰でも簡単スカイラインビューの実践」「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」「臨床に適した画像処理選択の基本」

連載企画：「Selenia Dimensionsの使用経験～トモシンセシスの有用性～」

4) 会誌2018年1月251号

誌上講座：平成28年度SART・TART地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー2017「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」「外傷診療における救急撮影の基礎」「みんなで創ろう救急撮影法」

4. 新春の集い

開催日時：平成30年1月12日（金） 19：00～21：00

会場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリーア」

参加者：会員39人、賛助会員33人、新入会員21人、合計93人

5. 役員・委員研修会

開催日時：平成30年2月9日（金） 18：45～20：15

場所：With You さいたま埼玉県男女共同参画推進センター 視聴覚セミナー室

参加者：20人

6. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

7. 公益活動

(1) 医療画像展

ア. 秩父市保健センターまつり

開催日時：平成29年6月4日（日）

場所：秩父市保健センター

被ばく相談：1件

イ. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017川越

開催日時：平成29年9月16日（土）～17日（日）

場所：川越市水上公園

ウ. 越谷市民祭り

開催日時：平成29年10月8日（日）

場所：越谷市役所庁舎内

エ. 彩の国いきいきフェスティバル

- 開催日時：平成 29 年 10 月 22 日（日）
場 所：埼玉県民活動総合センター
- オ. 深谷市福祉健康まつり
開催日時：平成 29 年 10 月 29 日（日）
場 所：深谷市総合体育館
- カ. 川越市健康まつり
開催日時：平成 29 年 10 月 29 日（日）
場 所：ウエスタ川越
- キ. 浦和区健康まつり 2017
開催日時：平成 29 年 11 月 5 日（日）
場 所：浦和コミュニティセンター
- ク. 行田市健康フォーラム 2017
開催日時：平成 29 年 12 月 3 日（日）
場 所：行田市「みらい」ホール
- ケ. ふれあいキューブフェスティバル
開催日時：平成 29 年 12 月 9 日（土）～10 日（日）
場 所：東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」
- (2) 被ばく相談
ア. 各支部医療画像展、リレー・フォー・ライフ川越にて開催
イ. ホームページにて 5 件
- (3) 放射線特別授業
ア. 寄居城北高等学校
開催日時：平成 29 年 6 月 19 日
イ. 松山高等学校
開催日時：平成 29 年 11 月 29 日
ウ. 准講師養成講習会
開催日時：平成 29 年 10 月 23 日（月）
19：00～21：00
会 場：埼玉県診療放射線技師会事務所
参 加 者：7 人

8. 支部報告

第一支部

支部理事	双木 邦博	
監 事	宮澤 浩治	
役 員	八木沢英樹	三橋 則行
	佐藤 吉海	土田 拓治
	森 一也	西田 衣里
	千代岡直家	石井 聖人
	鎌田 靖男	田村 智將
	大塚 忠義	川島 慶太
	酒井 利幸	北原 弘治

- (1) 救急セミナー（第一支部開催）
開催日時：平成 29 年 9 月 29 日（金）19：00～
場 所：浦和コミュニティセンター 13 集会室
参加人数：14 人
内 容：BLS 講習
- (2) 浦和区健康まつり 2017
開催日時：平成 29 年 11 月 5 日（日）10：00～15：00

- 場 所：浦和コミュニティセンター
参加事業：超音波式骨密度測定
医療画像展
放射線検査の啓発・説明
実行委員：13 人
測定人数：402 人
- (3) 支部役員会
開催日時：平成 29 年 11 月 7 日（火）19：00～
場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター
参加人数：9 人
- (4) 平成 29 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷。
開催日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）13：00～18：00
場 所：森林公園四季の湯温泉 ホテル・ヘリテイジ
参加人数：142 人
- (5) 第 2 回地区勉強会
開催日時：平成 30 年 1 月 26 日（金）19：00～
場 所：浦和コミュニティセンター 15 集会室
参加人数：32 人
内 容：
「アントンセン I 法の撮影方法変更とその結果」
東川口病院 後藤 敬明
「トモシンセシスについて 装置概要と症例」
東川口病院 鎌田 靖男
「我々診療放射線技師に技師連盟は必要か？」
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 副会長
日本診療放射線技師連盟 理事
富田 博信
- (6) 第 3 回地区勉強会&会計報告
開催日時：平成 30 年 3 月 13 日（火）19：00～
場 所：浦和コミュニティセンター 13 集会室
参加人数：29 人
内 容：
「Azurion バイプレーン装置の頭部領域における有用性」
IGT モダリティスペシャリスト 作田 啓太
「Philips MR 最新鋭アプリケーション-頭部領域を中心に-」
MR モダリティスペシャリスト 石田 真美子
「脳血管内治療用デバイスの情報」
日本ストライカー 盛 寛昌
「川口市立医療センターの脳卒中の検査」
川口市立医療センター 千代岡直家
- 第二支部
会 長（支部理事） 大西 圭一
会 計 栗原 真
小田島明子
監 事 仲埜 智文
役 員 瀧澤 誠 近藤 忠晴
山下 隆行 矢幅 俊一
小沢 利行 篠原 貴紀
邨井 優大

協力員 武田 義昭

(1) 第1回勉強会

開催日時：平成29年4月27日(木) 18:30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参加人数：34人
内 容：

- ア. 製品紹介
「フィリップス MRI の最新情報」
フィリップスエレクトロニクスジャパン 井上 泰吉
- イ. 一般研究発表
座長 防衛医科大学校病院 近藤 忠晴
 済生会川口総合病院 森 一也
「散乱線補正処理を用いた画像の物理評価と視覚評価」
埼玉医科大学病院 堀切 直也
「フィリップス 3.0T MRI の使用経験」
フィリップスエレクトロニクスジャパン 井上 泰吉
- ウ. 「Q & A でステップアップ～あなたの疑問はみんなの疑問?～」
座長 上尾中央総合病院 内田 瑛基
講師 所沢ハートセンター 柴 俊幸

(2) 第2回勉強会

開催日時：平成29年5月25日(木) 18:30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参加人数：35人
内 容：

- ア. 製品紹介
「ITEM の SIREMENS CT 最新情報」
シーメンスヘルスケア株式会社 松浦 孝俊
- イ. 一般研究発表
「当院における医療安全の取り組み～ヒヤリハットについて～」
丸山記念総合病院 松田 繁尚
「当院における医療安全の取り組み～疑義照会について～」
丸山記念総合病院 野口 祐輔
「最新アプリケーション情報」
シーメンスヘルスケア株式会社 松浦 孝俊
- ウ. 「いまさらきけない薬剤師による3つの話
～造影剤アナフィラキシーショック・ジェネリック医薬品・乳癌治療薬について～」
座長 防衛医科大学校病院 近藤 忠晴
講師 防衛医科大学校病院 薬剤部 相澤 雄介

(3) 第3回勉強会

開催日時：平成29年6月22日(木) 18:30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参加人数：58人
内 容：

- ア. 製品紹介
「AMULET Innovality」
富士フィルムメディカル株式会社 大島 裕二
- イ. 一般研究発表

座長 埼玉医科大学病院 堀切 直也
 原田病院 瀧澤 誠

- 「造影 CT 検査時の血管外漏出への対策」
三郷中央総合病院 寺島 宰
- 「スピンラベリング法を用いた非造影 MRA による腎動脈描出における撮影条件の最適化」
さいたま市立病院 佐藤 吉海
- 「新画像処理技術の紹介 ダイナミック処理」
富士フィルムメディカル株式会社 大島 裕二

ウ. 「胸部一般撮影について」

- 座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
- 1) 「撮影技術について」
上尾中央総合病院 滝口 泰徳
- 2) 「撮影線量適正化について」
済生会川口総合病院 森 一也
- 3) 「読影について」

熊谷総合病院 清水 理乃

(4) 循環器 CT セミナー 2017 (第2支部・バイエル薬品共催)

開催日時：平成29年8月26日(土)
場 所：浦和コソココミュニティプラザ
参加人数：219人
内 容：

- ア. 基礎講演「患者ファーストのための循環器救急の ABC」
座長 彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和
講師 三井記念病院 皆川 利浩
- イ. ランチョンセミナー「心臓 CT 最新技術報告」
座長 小川赤十字病院 高井 太市
講師
フィリップスエレクトロニクスジャパン 守谷 芽実
 シーメンス・ジャパン 松浦 孝俊
 東芝メディカルシステムズ 穴見 和寛
 GEヘルスケア・ジャパン 紫藤 尚利

ウ. セッション I

- 座長 石心会川崎幸病院 石田 和史
- 「明日から使える CTA テクニック～基本の基本～」
越谷市立病院 関根 貢
- 「身につく分かりやすい心電図～基本から救急まで～」
埼玉医科大学病院 戸矢 雅人
- 「冠動脈を診るために逐次近似再構成をどう活かすか～被ばくと分解能から考える FIRST の実力～」
AIC 八重洲クリニックつくば画像診断センター 吉田 論史

エ. セッション II

- 「Revolution CT による循環器診療」
座長 東京女子医科大学附属成人医学センター 飯村 浩
講師 江戸川病院 佐藤 英幸

オ. 技術講演

「循環器疾患における治療支援画像について」

座長 AIC 八重洲クリニック 館林 正樹
 済生会川口総合病院 荻野 奈規
 講師 華岡青洲記念心臓血管クリニック 山口 隆義
 カ. 特別講演

「急性冠動脈症候群と冠動脈 CT」

座長 江戸川病院 佐藤 英幸
 講師 藤田保健衛生大学 元山 貞子

(5) 第4回勉強会

開催日時：平成 29 年 9 月 28 日 (木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：26 人
 内 容：

ア. 製品紹介

「インプラントによる金属アーチファクト低減技術」
 GE ヘルスケア MR 営業推進部 近江 公司

イ. 「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」

1) 一般撮影

「膝関節立位荷重撮影について～X線所見の取り方から撮影条件の最適化まで～」

座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄
 講師 上尾中央総合病院 渋江美香

2) CT

「診療に役立つ膝関節 CT のススメ～撮影技術と再構成画像の提供～」

座長 越谷市立病院 村本 圭祐
 講師 上尾中央総合病院 井田 篤

3) MRI

「病変把握がポイント！手関節 MRI」

座長 トワーム小江戸病院 菅野 勝
 演者 埼玉医科大学病院 堀切 直也

(6) 第5回勉強会

開催日時：平成 29 年 10 月 26 日 (木) 19:00～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：26 人
 内 容：

ア. 一般研究発表

座長 川越胃腸病院 吉村 公一
 埼玉石心会病院 庄谷 宗嗣
 済生会川口総合病院 眞壁 耕平

「コロンフォートにおける前処置の検討」

三郷中央総合病院 市村 孝幸

「PCI 支援ソフトウェアを用いた被ばく低減の検証」

済生会川口総合病院 岡田 翔太

「治療計画 CT における physiodynamics を用いた 4DCT の被ばく低減の基礎的検討」

さいたま赤十字病院 池野 裕太

イ. 特別講演

「CT 検査における医療安全～造影剤の適正使用について～」

座長 埼玉石心会病院 邨井 優大

講師 第一三共株式会社 造影剤担当 手塚 一明

(7) 平成 29 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷 (第 1・2・3・4・5・6 支部合同勉強会)

開催日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土) 13:00～18:00
 場 所：森林公園四季の湯温泉ホテルヘリテージ
 参加人数：142 人

内 容：

ア. 「救急・時間外 CT の基本症例～技師から医師へのアプローチ～」

オブザーバー 小川赤十字病院 田中 達也
 上尾中央総合病院 金野 元樹
 AIC 八重洲クリニック 館林 正樹
 済生会川口総合病院 土田 拓治

コメンテーター

彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和
 座長 済生会川口総合病院 鈴木 友里
 イムス三芳総合病院 上野 浩輝
 埼玉医科大学総合医療センター 細井 慎介
 熊谷総合病院 吉田 敦
 獨協医科大学埼玉医療センター 天早 峻
 指扇病院 石川 直哉

1) 頭頸部外傷性疾患 (第一支部)

済生会川口総合病院 戸澤 僚太

2) 頭頸部内因性疾患 (第二支部)

イムス三芳総合病院 高田 博邦

3) 胸腹部外傷性疾患 (第三支部)

埼玉医科大学国際医療センター 小濱 大

4) 乳腺疾患 (第四支部)

熊谷総合病院 亀山 枝里

5) 腹部内因性疾患 (第五支部)

越谷市立病院 村本 圭祐

6) 肝疾患 (第六支部)

彩の国東大宮メディカルセンター 小野寺 将真

イ. 技師講演

「被ばく線量気にしていますか？～線量管理してますか～」

座長 上尾中央総合病院 吉澤 俊祐

1) 「被ばく低減施設認定～認定前と認定後の職員の意識～」

小川赤十字病院 高井 太市
 三郷中央総合病院 長坂 純

2) 「線量管理ツールの一例 (CT 編) と実践～ドーズウォッチの使用経験～」

上尾中央総合病院 内田 瑛基

3) 「DRL 調査のアンケート結果報告と今後」

済生会栗橋病院 内海 将人

ウ. 特別講演

「若いうちに身につけておきたいデザイン思考」

座長 上尾中央総合病院 仲西 一真
 済生会川口総合病院 森 一也

講師 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

(8) 第6回勉強会

開催日時：平成29年11月30日(木) 19:00～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：18人
 内 容：

ア. 教育講演

「明日から実践しよう～当院における医療安全への取り組み～」

座長 埼玉県済生会川口総合病院 眞壁 耕平
 上尾中央総合病院 高橋 康昭

1) 「放射線治療」

埼玉医科大学病院 小堺 裕章

2) 「消化管検査」

行田中央総合病院 浅見 純一

イ. 特別講演

座長 三郷中央総合病院 長坂 純
 講師 済生会栗橋病院 内海 将人

(9) 骨軟部撮影セミナー2018 (SART・TART 支部合同勉強会)

開催日時：平成30年2月17日(土)
 場 所：済生会川口総合病院 東館講堂
 参加人数：100人
 内 容：

ア. 一般演題

座長 船橋市立医療センター 石塚 瞬一
 堀ノ内病院 小池 正行

「新しい画像処理パラメータの画質評価」

済生会川口総合病院 内藤 完大

「当院における最大後屈撮影」

さいたま市立病院 金子 瑠平

「撮影室での安全な移乗～脊椎損傷者のトランスファー～」

国立障害者リハビリテーションセンター 肥沼 武司

「整形外科領域におけるEI値による至適撮影条件の管理法」

済生会川口総合病院 岡田 翔太

「重力ストレス撮影による足関節回外外旋骨折の評価」

上尾中央総合病院 茂木 大哉

「当院における全脊椎撮影」

獨協医科大学埼玉医療センター 宇津木 克弥

イ. メーカーセッション

座長 さいたま赤十字病院 大河原佑司

1) 富士フィルムメディカル株式会社 岡 律朗

2) コニカミノルタジャパン 窪谷 大樹

3) キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
 伊藤 琢也

ウ. MRIセッション

座長 東京警察病院 古河 勇樹

「脊椎MRIの基礎」

東京メディカルクリニック 荒木 智一

「日常検査から考える脊椎MRI-更なるスキルアップのために-」

済生会川口総合病院 丸 武史

エ. 小児撮影セッション

座長 さいたま赤十字病院 渡部 伸樹

「小児外傷撮影と固定方法」

埼玉県立小児医療センター 持田 朋之

「当院における小児全身骨撮影項目の検討-子ども虐待対応・医学診断ガイドをふまえて-」

埼玉医科大学病院 新井 舞

オ. DRセッション

座長 獨協医科大学埼玉医療センター

高橋 利聡

「DRLを測定してみよう～整形領域～」

さいたま市立病院 福田 栞

「散乱線補正処理技術の活用法」

埼玉医科大学病院 堀切 直也

カ. 教育講演

座長 越谷市立病院 村本 圭祐

上尾中央総合病院 仲西 一真

「良肢位を考慮した肩関節撮影」

春日部市立医療センター 工藤 年男

キ. 特別講演

「脊椎専門医からみた画像検査の役割」

座長 済生会川口総合病院 土田 拓治

講師 済生会川口総合病院 坂井 顕一郎 先生

第三支部

会 長 (支部理事) 山岸 正和
 副会長 森下 勝
 会 計 中田 智仁
 役 員 佐藤 正彦 轟 圭介
 橋本利恵子 市川 隆史
 監 事 今井 昇

(1) 第1回 支部役員会

開催日時：平成29年4月17日(月) 18:30～19:00
 場 所：埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室

参加人数：8人

内 容：今年度事業計画について

(2) 第1回 勉強会

開催日時：平成29年6月23日(金)
 19:00～20:30

場所：ウェスタ川越 会議室1

参加人数：48人

内 容：

ア. 技師講演

「MRIの正常 or 異常所見」

埼玉医科大学国際医療センター 岡部 一弥

「脳血管内治療に必要な基礎」

埼玉医科大学国際医療センター 堰 裕一

- イ.メーカー講演
「新しいCT用インジェクター“CT motion”のご紹介」
株式会社インテグラル 宮本 賢吾
- (3) 第2回 支部役員会
開催日時：平成29年6月23日(金) 20:40～21:40
場 所：ウエスタ川越 活動室1
参加人数：7人
内 容：納涼会、川越健康まつり、納涼会、ホームページ作成など
- (4) 第31回 川越市健康まつり 第1回実行委員会
開催日時：平成29年7月10日(月) 14:30～15:30
場 所：川越市総合保健センター3階研修室
参加人数：20人
内 容：開催場所、タイムスケジュールなど
- (5) 第三地区 納涼会
開催日時：平成29年7月22日(土) 19:30～21:30
場 所：エビス本川越
参加人数：35人
内 容：会員の親睦を深める
- (6) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017川越リーダー会議
開催日時：平成29年8月19日(土) 18:00～20:00
場 所：小江戸蔵里ギャラリー
参加人数：5人(公益、支部)
内 容：リレー・フォー・ライフ チーム説明会
- (7) 第31回 川越市健康まつり 第2回実行委員会
開催日時：平成29年8月24日(木) 13:15～14:30
場 所：川越市保健所2階大会議室
参加人数：22人
内 容：開催場所、タイムスケジュールなど
- (8) 第3回 支部役員会
開催日時：平成29年9月5日(火) 19:00～20:30
場 所：埼玉医科大学国際医療センター核医学検査室
参加人数：6人
内 容：リレー・フォー・ライフ担当、ボウリング大会、支部合同勉強会、川越市健康まつりなど
- (9) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017川越
開催日時：平成29年9月16日(土) 13:00～17日(日) 13:00
場 所：川越市水上公園
参加人数：32人(第三地区会員)
内 容：公益事業協力
- (10) 第31回 川越市健康まつり 第3回実行委員会
開催日時：平成29年9月26日(火) 13:15～15:00
場 所：川越市総合保健センター3階研修室
参加人数：20人
内 容：開催内容説明、タイムスケジュールなど
- (11) 第三地区ボウリング大会
開催日時：平成29年10月13日(金) 19:00～20:30
場 所：川越ボウリングセンター
参加人数：28人
内 容：会員の親睦を深める
- (12) 第4回 支部役員会
開催日時：平成29年10月13日(金) 20:30～21:00
場 所：川越ボウリングセンター内 会議室
参加人数：7人
内 容：ボウリング大会反省会、支部合同勉強会 川越市健康まつりについて
- (13) 第31回 川越市健康まつり
開催日時：平成29年10月29日(日) 10:00～15:00
場 所：ウエスタ川越 多目的ホール
参加人数：10人(地区会員含む)
来場者約：約287人(医療画像展)
内 容：医療画像展の開催
- (14) 第3回埼玉CTコロノグラフィミーティング
開催日時：平成29年11月2日(木) 19:00～21:15
場 所：ウエスタ川越
- (15) 支部合同勉強会催
開催日時：平成29年11月18日(土) 13:00～
場 所：ホテルヘリテイジ四季の湯温泉
参加人数：142人
内 容：支部発表(症例検討)、技師講演(被ばく線量管理)、特別講演、懇親会
- (16) 第31回 川越市健康まつり 事業報告会
開催日時：平成29年12月20日(水) 13:15～14:30
場 所：川越市保健所 2階大会議室
参加人数：18人
内 容：第31回川越市健康まつり事業報告 実行委員会設置要綱改訂について
- (17) 平成30年新春の集い
開催日時：平成30年1月12日(金)
場 所：大宮サンパレス グランツ
- (18) 第5回 第三地区役員会
開催日時：平成30年1月18日(木) 19:00～20:30
場 所：埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室
参加人数：7人
内 容：新年会、勉強会、地区定期総会など
- (19) 第三地区新年会
開催日時：平成30年1月27日(土)
場 所：川越市 エルミタージュ
参加人数：39名
内 容：会員の親睦を深める
- (20) 第6回 支部役員会
開催日時：平成30年3月7日(水) 19:00～20:00
場 所：埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室
参加人数：8人
内 容：平成30年度事業計画、地区総会について
- (21) 平成29年度 第三支部・地区定期総会
開催日時：平成30年3月16日(金) 19:00～19:30

場 所：ウエスタ川越 第1会議室
 参加人数：29人（委任状提出156人：議長一任156人）
 内 容：定期総会審議事項
 審議-1：平成29年度事業報告__審議結果：承認
 審議-2：平成29年度決算報告__審議結果：承認
 審議-3：平成30年度事業計画案__審議結果：承認
 審議-4：平成30年度予算案について__審議結果：承認

(22) 第3回 支部勉強会
 開催日時：平成30年3月16日（金）19：30～21：00
 場 所：ウエスタ川越 第1会議室
 参加人数：29人
 内 容：
 ア.メーカー講演
 「コニカミノルタ画像処理エンジンREALISMの紹介」
 コニカミノルタジャパン株式会社 村岡 丈到
 イ.技師講演
 「散乱線補正処理技術の活用法」
 埼玉医科大学病院 堀切 直也

第四支部

会 長（支部理事） 齋藤 幸夫
 副会長 清水 浩和
 会 計 大野 渉
 役 員 萩原 貴之 新井 偉生
 横田 文克 高井 太市
 柏瀬 義倫
 監 事 山田 伸司 玉川 敏

(1) 第1回 支部役員会、引き継ぎ会
 開催日時：平成29年4月28日（金）19：00～20：00
 場 所：熊谷総合病院
 参加人数：10人

(2) 第1回 支部勉強会
 開催日時：平成29年5月25日（木）18：30～21：00
 場 所：さくらめいと 第1会議室
 参加人数：50人
 内 容：
 「ITEM2017 報告」
 （CT・MRIを中心とした最新情報提供とVNDMのご紹介）

東芝メディカルシステムズ（株）
 関東支社営業推進部 CT担当 穴見 和寛
 MRI営業部 MRI担当 後藤 和馬
 関東支社 営業推進部 MedicalInformatics
 担当 清水 鉄平

「私が受けた新人教育～急性虫垂炎～」
 深谷赤十字病院 放射線科部 小島 萌
 「参加型遠隔読影運用+α」
 小川赤十字病院 放射線科部 村田 雅弘
 「CTCの使用経験」
 秩父病院 放射線科部 近藤 和彦

(3) 第2回 支部役員会

開催日時：平成29年5月25日（木）21：00～21：30
 場 所：さくらめいと 第1会議室
 参加人数：7人

(4) 清水文孝氏厚生労働大臣表彰祝賀会
 開催日時：平成29年6月2日（金）18：30～
 場 所：埼玉グランドホテル深谷「ダイヤモンド」
 参加人数：187人

(5) 医療画像展（秩父市保健センターまつり）
 開催日時：平成29年6月4日（日）10：00～14：00
 場 所：秩父市保健センター
 内 容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボール釣
 りなど

実行委員：13人
 骨密度測定、パネル展示、モニター展示：300人
 スーパーボール釣り：150人
 被ばく相談：1人

(6) 平成29年度 第四支部 納涼会
 開催日時：平成29年7月28日（金）19：00～
 場 所：旬彩ダイニング 浪漫 熊谷市宮前町2-95
 参加人数：61人

(7) 第2回 支部勉強会
 開催日時：平成29年9月14日（木）18：30～20：30
 場 所：さくらめいと 第1会議室
 参加人数：61人
 講義内容：

椎体領域MRIについて
 座長 小川赤十字病院 山田 伸司
 「症例検討」
 転移性脊椎腫瘍
 深谷赤十字病院 富田 欣治
 圧迫骨折
 羽生総合病院 鯨井 昇
 椎間板ヘルニア
 小川赤十字病院 高井 太市
 椎体の基礎～骨化症について～
 熊谷総合病院 田中 智大

(8) 第3回 支部役員会
 開催日時：平成29年9月14日（木）20：30～21：00
 場 所：さくらめいと 第1会議室
 参加人数：7人

(9) 石川昇氏瑞宝双光章受章祝賀会
 開催日時：平成29年9月16日（土）18：00～
 場 所：熊谷市銀座1-64
 マロウドイン熊谷「飛天」
 参加人数：139人

(10) 医療画像展（深谷市福祉健康まつり）
 開催日時：平成29年10月29日（日）10：00～15：00
 場 所：深谷ビクタートル・深谷市総合体育館
 内 容：台風のため中止

(11) 支部合同勉強会 in 熊谷
 開催日時：平成29年11月18日（土）～19日（日）

場 所：森林公園 四季の湯温泉ホテル・ヘリテージ
 参加人数：142人
 講演内容：
 開会挨拶 第二支部理事 大西 圭一

ア. 支部合同症例検討会
 コメンテーター 彩の国東大宮 M.C 茂木 雅和
 支部座長
 第一支部 済生会川口総合病院 鈴木 友理
 第二支部 イムス三芳総合病院 上野 浩輝
 第三支部 埼玉医科大学総合医療センター
 細井 慎介

第四支部 熊谷総合病院 吉田 敦
 第五支部 獨協医科大学越谷病院 天早 峻
 第六支部 指扇病院 石川 直哉

「読影力アップでスキルアップ」
 第一支部 埼玉県済生会川口総合病院
 戸澤 僚太
 第二支部 イムス三芳総合病院 高田 博邦
 第三支部 埼玉医科大学総合医療センター
 小濱 大
 第四支部 熊谷総合病院 亀山 枝里
 第五支部 越谷市立病院 村本 圭祐
 第六支部 彩の国東大宮メディカルセンター
 小野寺将真

イ. 技師講演
 座長 上尾中央総合病院 吉澤 俊祐
 「被ばく線量気にしていますか？」
 ～線量管理してますか～」

被ばく低減施設認定
 ～認定前と認定後の職員の意識～
 小川赤十字病院 高井 太市
 三郷中央総合病院 長坂 純
 線量管理ツールの一例 (CT 編) と実践
 ～ドーズウォッチの使用経験～
 上尾中央総合病院 内田 瑛基

埼玉版 DRL のアンケート調査と今後
 済生会栗橋病院 内海 将人

ウ. 特別講演
 座長 済生会川口総合病院 森 一也
 上尾中央総合病院 仲西 一真
 「若いうちに身につけておきたいデザイン思考」
 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳
 閉会挨拶 第六支部理事 山口 明
 合同勉強会懇親会 司会進行 根岸 亮平

(12) 平成 29 年度 第四支部 忘年会
 開催日時：平成 29 年 12 月 1 日 (金) 19:00～
 場 所：マロウドイン熊谷
 参加人数：86人

(13) 医療画像展 (行田市健康フォーラム 2017)
 開催日時：平成 29 年 12 月 3 日 (日) 10:00～16:00
 場 所：行田市「みらい」ホール

内 容：骨密度測定、パネル展示、被ばく相談
 実行委員：10人
 骨密度測定、パネル展示：100人
 被ばく相談：0人

(14) 第 3 回 支部勉強会
 開催日時：平成 30 年 1 月 25 日 (木) 18:30～21:00
 場 所：さくらめいと 第 1 会議室
 参加人数：53人
 内 容：

座長 羽生総合病院 大野 渉
 Revolution CT における Snap shot Freeze と
 Smart Phase の有用性
 熊谷総合病院 小貝 将之
 Revolution HD 使用経験
 深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
 Small Giants Of An Offensive CT Room
 ～攻めの CT 室～
 小川赤十字病院 田中 達也

(15) 第 4 回 支部役員会
 開催日時：平成 30 年 1 月 25 日 (木) 21:00～21:30
 場 所：さくらめいと 第 1 会議室
 参加人数：8人

(16) 萩元孝氏公衆衛生功労知事表彰祝賀会
 開催日時：平成 30 年 2 月 10 日 (土) 18:00～
 場 所：熊谷市銀座 1-64
 マロウドイン熊谷「飛天」
 参加人数：66人

(17) 平成 29 年度 SART 支部合同勉強会
 骨軟部撮影セミナー 2018
 ～更なるスキルアップを目指して～
 開催日時：平成 30 年 2 月 17 日 (土) 9:50～18:30
 場 所：埼玉県川口市西川口 5-11-5
 済生会川口総合病院 講堂 (B1)
 参加人数：100人

(18) 平成 29 年度 第四支部 監査会
 開催日時：平成 30 年 2 月 23 日 (金) 19:00～
 場 所：熊谷総合病院
 参加人数：10人

(19) 第 4 回支部勉強会・平成 29 年度第四支部総会
 開催日時：平成 30 年 3 月 15 日 (木) 19:00～20:30
 場 所：さくらめいと 第 1 会議室
 参加人数：34人
 講演内容：技師連盟の現状報告
 深谷赤十字病院 角田 喜彦
 定期総会

第五支部
 支部理事 矢崎 一郎
 支部役員 岩井 悠二 眞壁 耕平
 鈴木 孝 石原 優希
 矢部 智 村本 圭祐

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 金子 初穂 | 中嶋 幸孝 | 超音波事業本部 | 西山 永峰 |
| 矢作 悠馬 | 寺島 宰 | | |
| 町永 努 | 加藤 広一 | | |
| 長坂 純 | 中村 正之 | | |
- (1) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 4 月 27 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
整形領域における CT 画像診断
～ 3 次元画像処理を有効に使おう～
越谷市立病院 放射線科 村本 圭祐
基礎から学ぶ大動脈解離
越谷市立病院 放射線科 関根 貢
心電図の基礎
越谷市立病院 放射線科 矢部 智
- (2) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 5 月 25 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
急性膵炎における CT の役割
獨協医科大学越谷病院 放射線部 宇津木克弥
MRI による腹部領域の画像診断～膵臓～
獨協医科大学越谷病院 放射線部 押部 勇貴
- (3) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 6 月 15 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
Injector の安全性と情報管理
根本杏林堂 伊藤 健太
造影 CT 検査時の血管外漏洩時の対応
三郷中央総合病院 放射線技術科 木村 茉緒
造影 CT 検査時の血管外漏出への対策
三郷中央総合病院 放射線技術科 槇 風花
- (4) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 7 月 27 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
施設紹介
春日部市立医療センター 放射線科 金子 初穂
FDG-PET/CT 検査について
春日部市立医療センター 放射線科 生駒 光輝
全身リストモードを用いた画質安定化の検討 (PET)
春日部市立医療センター 放射線科 中西 充
- (5) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 9 月 28 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：シーメンスヘルスケア株式会社
シーメンス最新動向 マンモグラフィー及び乳腺エコー
マンモグラフィー
X-P 事業部 山田 恭子
乳腺エコー
- (6) 越谷市民祭り
開催日時：平成 29 年 10 月 8 日 (日)
場 所：越谷市役所庁舎内
- (7) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 10 月 26 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
MRI：最新技術の紹介 画質向上&短時間撮像
MR 製品担当 近江 公司
CT：Revolution Up Date
CT 製品担当 紫藤 尚利
- (8) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 11 月 30 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
最新 CT 情報のご紹介
東芝メディカルシステムズ (株) 関東支社
営業推進部 CT 担当 穴見 和寛
脳卒中における当院の治療方法と院内体制
草加市立病院 医療技術部 放射線科 町永 努
3D FSE を用いた頸動脈プラーク撮像での脂肪抑制法の検討
草加市立病院 医療技術部 放射線科 加藤 広一
- (9) ふれあいキューブフェスティバル
開催日時：平成 29 年 12 月 9 日 (土) ～ 12 月 10 日 (日)
場 所：春日部市ふれあいキューブ
- (10) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 12 月 14 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
当院における放射線治療について
新久喜総合病院 医療技術部 放射線科 茅野 将吾
image J を用いた IGRT 中心軸測定の QA について
新久喜総合病院 医療技術部 放射線科 石原 優希
- (12) 支部情報交換会
開催日時：平成 30 年 1 月 25 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：読影力向上を目指して
頭部領域：救急撮影の基礎～見逃したくない頭部疾患～
越谷市立病院 放射線科 西村 美咲
乳腺領域：乳腺疾患読影の基礎～腫瘍性病変について～
越谷市立病院 放射線科 丸山 理子
消化器領域：胃がんについて
越谷市立病院 放射線科 日高 真道
- (13) 支部情報交換会
開催日時：平成 30 年 3 月 23 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
ハイブリット手術室 Allura Clarity の運用について

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線部
小長根 麻紀

当院におけるハイブリット手術室 CT

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線部 齋藤 凌

第六支部

会 長 (支部理事) 山口 明
副会長 茂木 雅和
監 事 尾形 智幸 羽田野和仁
学 術 木村 浩明 仲西 一真
安川 紘平 春日 沙織
広 報 倉内 克憲
編 集 菅野みかり
総 務 藤巻 武義 鈴木 雄貴
会 計 徳田 光希 田中 里奈

(1) 支部役員会

開催日時：平成 29 年 6 月 9 日 (金)
場 所：埼玉県立小児医療センター
参加人数：12 人

(2) 平成 29 年度 第六支部第一回定期講習会

開催日時：平成 29 年 5 月 18 日 (木) 19:00～
場 所：さいたま赤十字病院
内 容：
ア. 「DRL を知り撮影線量最適化を図ろう！」
講 師：丸山記念病院 芦葉 弘志
イ. 「施設見学」
講 師：さいたま赤十字病院放射線科部スタッフ
参加人数：46 人

(3) 第六支部第一回技術交流会

開催日時：平成 29 年 6 月 29 日 (木) 19:00～
場 所：地域医療教育センター
内 容：
「心臓 CT について」
講 師：八重洲クリニック 館林 正樹
講 師：久我山病院 柴 俊幸
参加人数：56 人

(4) 第六支部納涼会

開催日時：平成 29 年 7 月 13 日 (木)
場 所：RESORT ダイニング AZZURRO
参加人数：33 人

(5) 支部役員会

開催日時：平成 29 年 7 月 13 日 (木)
場 所：さいたま赤十字病院
参加人数：11 人

(6) 平成 29 年度 第六支部第二回定期講習会

開催日時：平成 29 年 10 月 19 日 (木) 19:00～
場 所：地域医療教育センター
参加人数：50 人
内 容：
ア. 「救急撮影～知っておきたい急性期疾患～」
講 師：伊奈病院 沖杉 遼平

講 師：大宮中央総合病院 鈴木 雄貴
講 師：上尾中央総合病院 飯泉 隼
講 師：埼玉県立小児医療センター 持田 朋之

(7) 彩の国いきいきフェスティバル

開催日時：平成 29 年 10 月 22 日 (日)
場 所：埼玉県県民活動総合センター
内 容：
「放射線展」

被ばく相談 3 人 骨密度測定 150 人
実行委員：14 人

(8) 支部合同勉強会 (熊谷大会)

開催日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)
場 所：ホテルハリテイズ熊谷
参加人数：142 人

(9) 忘年会

開催日時：平成 29 年 11 月 30 日 (木) 19:00～
場 所：CONA 大宮店
参加人数：40 人

(10) 支部役員会

開催日時：平成 30 年 1 月 18 日 (木)
場 所：埼玉県立小児医療センター
参加人数：8 人

(11) 支部合同勉強会 (骨軟部撮影セミナー)

開催日時：平成 30 年 2 月 17 日 (土) 9:30～
場 所：済生会川口総合病院
参加人数：100 人

(12) 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会
及び平成 29 年度 第六支部第 3 回定期講習会

開催日時：平成 30 年 3 月 8 日 (木) 19:00～
場 所：地域医療教育センター
参加人数：42 人
内 容：
「発表スライドの作り方」
講 師：上尾中央総合病院 佐々木 健
講 師：済生会川口総合病院 森 一也

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会活動報告

ア. 画像の向こうの患者を診よう
1) 第 60 回 症例検討会
開催日時：平成 29 年 4 月 18 日 (火)
参加人数：19 人
2) 第 61 回 症例検討会
開催日時：平成 29 年 5 月 16 日 (火)
参加人数：30 人
3) 第 62 回 症例検討会
開催日時：平成 29 年 6 月 13 日 (火)
参加人数：30 人
4) 第 63 回 症例検討会
開催日時：平成 29 年 7 月 25 日 (火)
参加人数：26 人

- 5) 第64回 症例検討会
開催日時：平成29年9月12日（火）
参加人数：12人
- 6) 第65回 症例検討会
開催日時：平成29年10月17日（火）
参加人数：21人
- 7) 第66回 症例検討会
開催日時：平成29年11月28日（火）
参加人数：36人
- 8) 第67回 症例検討会
開催日時：平成30年3月6日（火）
参加人数：25人
- イ. 乳腺画像セミナー
開催日時：平成30年1月14日（日）
場 所：さいたま赤十字病院 2階 多目的ホール
参加人数：37人
- (2) 埼玉消化管撮影研究会活動報告
 - ア. 第51回 埼玉消化管撮影研究会
開催日時：平成29年7月28日（金）
場 所：さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール
参加人数：50人
講 師：田原正則、堀越隆之、工藤泰
 - イ. 第52回 埼玉消化管撮影研究会
開催日時：平成29年11月22日（水）
場 所：さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール
参加人数：32人
講 師：志田智樹、池田圭介
 - ウ. 第53回 埼玉消化管撮影研究会
開催日時：平成30年1月28日（日）
場 所：さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール
参加人数：41人
講 師：水谷勝、今出克利、大森正司

平成 29 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. 石川昇氏を当会名誉会員として承認した。（議案書番号：理-1）（承認）
2. 平成 28 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会永年勤続表彰対象者について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-2）（承認）
3. 胸部認定講習会開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-3）（承認）
4. 救急ケーススタディー開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-4）（承認）
5. 平成 29 年度 Freed セミナー開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-5）（承認）
6. 第 4 回 DR 計測セミナー開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-6）（承認）
7. 第 9 回 CT 認定講習会入門編・取得者向け講習会開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-7）（承認）
8. 第 9 回 CT 認定講習会開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（祈願書番号：理-8）（承認）
9. 平成 29 年度第 17 回上部消化管検査認定講習会開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-9）（承認）
10. 新入会会員の承認について、審議し承認した。（議案書番号：理-10）（承認）
11. 浦和区健康まつりへの参画に際し、骨密度測定装置、のぼりの貸し出しおよび予算案について資料を基に審議し参画について承認した。（議案書番号：理-11）（承認）
12. 川越健康まつりへの参画に際し、予算の資料を基に審議し参画について承認した。（議案書番号：理-12）（承認）
13. 深谷市福祉健康まつりへの参画に際し、骨密度測定装置、のぼりの貸し出しおよび予算案について資料を基に審議し参画を承認した。（議案書番号：理-13）（承認）
14. 越谷市民祭りへの参画に際し、のぼりの貸し出しおよび予算案の資料を基に審議し参画を承認した。（議案書番号：理-14）（承認）
15. 新入会会員（5 月末日現在）の承認について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-15）（承認）
16. 平成 28 年度事業報告及び監査報告について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-16）（承認）
17. 平成 28 年度公益社団法人埼玉県診療放射線技師会決算報告について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-17）（承認）
18. 平成 29、30 年度 会長、副会長、常務理事の選任について審議し承認した。（議案書番号：理-18）（承認）
19. リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 川越の参加における予算案および展示パネルなどの貸し出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-19）（承認）
20. 平成 29 年度救急セミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-20）（承認）
21. ぽぽら春日部 6 周年記念イベント参画に際し、医用画像展の開催および展示パネルの貸し出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-21）（承認）
22. 第 32 回埼玉県診療放射線技師学術大会開催テーマについて審議し承認した。（議案書番号：理-22）（承認）
23. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-23）（承認）
24. 彩の国いきいきフェスティバル参画に際し予算およびのぼり貸し出し、骨密度装置レンタル使用について審議し承認した。（議案書番号：理-24）（承認）
25. 行田市市民フォーラム 2017 に参画し医療画像展の開催に際し、骨密度測定装置および展示パネルなどの貸し出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-25）（承認）

26. 放射線特別授業への准講師養成講習会開催について審議し承認した。(議案書番号：理-26) (承認)
27. 新入会の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-27) (承認)
28. 平成30年度表彰推薦者について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-28) (承認)
29. 乳腺セミナー開催について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-29) (承認)
30. 平成29年度役員研修会について、開催について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-30) (承認)
31. 新入会員(10月末日現在)の承認について、審議し承認した。(議案書番号：理-31) (承認)
32. 「柔道整復師法の一部を改正する法律案」に対する判定決議について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-32) (承認)
33. 賛助会員特典変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-33) (承認)
34. 講師謝礼に関する規定変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-34) (承認)
35. 旅費および日当等支払規程変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-35) (承認)
36. ホームページ新着情報の掲載順番の変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-36) (承認)
37. フレッシュアップセミナー(第20回SARTセミナー)開催について審議し承認した。(議案書番号：理-37) (承認)
38. 新入会会員の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-38) (承認)
39. 第21回秩父市保健センター祭りへの参画に際し医療画像展開催および骨密度測定装置、展示パネルの貸し出しについて審議し承認した。(議案書番号：理-39) (承認)
40. 平成30年度事業計画案について審議し承認した。(議案書番号：理-40) (承認)
41. 埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会(CT編)開催について審議し承認した。(議案書番号：理-41) (承認)
42. 埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会(乳腺領域)開催について審議し承認した。(議案書番号：理-42) (承認)
43. ホームページ新着情報改修について審議し承認した。(議案書番号：理-43) (承認)
44. ホームページ上での各セミナー登録システム構築について審議し承認した。(議案書番号：理-44) (承認)
45. 会誌原稿料変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-45) (承認)
46. 新入会会員の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-46) (承認)
47. 保有財産の用途について審議し承認した。(議案書番号：理-47) (承認)
48. 平成30年度当初予算について審議し承認した。(議案書番号：理-48) (承認)

平成 30 年度事業計画 10 年先の AI を見越して

10 年ほど前、EXPO などで披露されていた夢の技術が、今、次々と実用化されている。受付などで会話ができるロボットは、ホテルの受付などにレンタルされ、市民にとっても一般的になった。2 足歩行はおろか、走ることも難なく実現し、今後、介護の業界などで、人手が少ない現場で期待されている。また自動車業界では、自動運転技術はほぼ実用化され、交通事故減少にも期待されている。スマートスピーカーは、ほんの 10 年前まで夢の機能であったが、いとも簡単に一般家庭へ利用されるようになった。技術の進歩はもちろんであるが、これらの夢の技術が予想以上に早いスピードで、私たちの生活に普及していることに驚いている。医療技術も同様で、薬事の不要な受け付けや患者案内業務、巡回警備は、近い将来 AI が活躍するであろう。また読影の分野でも開発は進み、実用化が期待されている。

埼玉では、平成 11 年より機器管理・検査法・読影・臨床・病理といった、読影を含め基礎から臨床まで網羅した講習会を開催してきた。学術大会では読影コンテストを開催し、臨床画像の保有数は、おそらく全国でもトップクラスであると

誇っている。全国都道府県では、読影の補助の推進から読影のセミナーを活発に開催している。しかし、診療放射線技師の仕事は読影だけではない。もちろん読影の能力は必要であるが、画像診療全体を管理する上で必要な能力である。画像診療では、装置が変われば画像が変わり、保守管理の方法が変われば画像が変わる。また検査方法や手技が変わっても画像は変わる。将来、読影の AI が普及したとき、これら画像の管理を行い一定の画像を AI に提供すること、そして画像に変化が生じた際、AI から出された回答が正しいか判断する能力が求められる。

さらに、3D 画像の作成技術も重要な仕事である。作成した画像を AI が判定するのであれば、画像作成は術者によってどうにでも作成できる。臨床を知り、術式を知り、治療方針を知らなければ正確な判定材料は作成できない。

AI が日常医療技術に取り入れられたとき、私たちは AI に読み込ませる適確な画像を作成すること、AI が判定した結果を含めて画像および情報の全体を管理することが求められる。

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会に代わる講習会企画
 - イ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会
 - ウ. 胸部撮影認定講習会
 - エ. 上部消化管検査認定講習会
 - オ. フレッシュアップセミナー(SARTセミナー)
 - カ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー(医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
 - キ. CT 認定講習会
 - ク. MRI 基礎講習会
 - ケ. 乳腺セミナー
 - コ. DR 計測セミナー
 - サ. 救急撮影ケーススタディー(日本救急撮影技師認定機構との共催)
 - シ. 読影力向上のための講習会(支部開催セミナー)
 - ス. 業務拡大に伴う統一講習会
- ### (2) 会員講師の育成と体制づくり
- ### (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力
 - ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援
 - エ. 埼玉臨床画像研究会への協力
 - オ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画

- カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画
- キ. 各認定機構との合同企画(埼玉開催の推進)

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携
- (2) 入会促進事業の強化

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催
- (3) 地域自治体主催事業への参画
- (4) 医療画像展の開催と支援
- (5) 県民向けホームページの充実
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応
- (7) 公立学校における放射線教育の担務

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
 - イ. 学術データベースの充実
- (3) メールマガジンの有効利用

5 その他

- (1) 医師等他職種の職能団体との連携
- (2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款

平成 24 年 4 月 1 日制定

平成 27 年 5 月 30 日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この法人は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目 的)

第 3 条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 県民への放射線医療に関する知識の普及啓発事業
 - (2) 診療放射線学及び診療放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会などの開催
 - (3) 放射線管理と医療被曝の適正化に関する事業
 - (4) 診療放射線学に関する調査、研究、情報提供及び指導
 - (5) 前各号に掲げる事業に関する図書、印刷物等の刊行
 - (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業は、埼玉県内にて行うものとする。

第 3 章 会 員

(種 別)

第 5 条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の事業に賛同して入会した個人
 - (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た個人
 - (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の事業に賛同して、理事会の承認を得た個人又は団体
- 2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第 6 条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第 7 条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった次年度から毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。ただし、自己の療養又は親族の介護、育児その他やむを得ない事情により、診療放射線技師又は診療エックス線技師として現に業務に従事していない期間が継続して 1 年以上経過している正会員については、総会において別に定める基準に従って経費を支払う義務を免除することができる。

- 2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡、又は解散したとき。

第4章 総会**(構成)**

第11条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬などの額に関する事項
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 総会の議長は、当該総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 総会の決議は、正会員及び名誉会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、正会員及び名誉会員の半数以上であって、正会員及び名誉会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

第19条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 15名以上20名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。

3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。会長の選定及び解職をする場合において、理事会は、総会にこれを付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。

(理事の職務及び権限)

第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 会長、副会長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める役員報酬などの支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(相談役)

第26条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置く。

2 相談役は、次の職務を行う。

(1) 会長の相談に応じること。

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。

3 相談役を選任及び解任は、理事会において決議する。

4 前条の規定は、相談役の報酬等について準用する。

第6章 理事会

(構成)

第27条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(常務理事会)

第29条 この法人に常務理事会を置く。

- 2 常務理事会は、会長、副会長及び常務理事をもって構成する。
- 3 常務理事会は、次の職務を行う。
 - (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
 - (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善についての意見を理事会に提出すること。

(招集)

- 第30条 理事会及び常務理事会は、会長が招集する。
- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会及び常務理事会を招集する。

(決議)

- 第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

- 第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計

(事業年度)

第33条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第34条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

- 第35条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員及び名誉会員の名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬などの支給の基準を記載した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第36条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に

に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第38条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第10章 支部

(支部)

第42条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は第34条の事業計画書に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は第20条第1項の規定により、総会で理事を選任するにあたり、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の会長は小川 清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律の施行に伴う関係法律の整備などに関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第34条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程

会費規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第7条の規定に基づき、会費の納入に関し、必要な細則を定めるものとする。

第2条 会費は次のとおりとする。

正会員	年額 9,000円
賛助会員（個人）	年額 9,000円
賛助会員（法人）	年額 25,000円

第3条 前条の会費は、毎事業年度における合計額の30%以上を当該事業年度の公益目的事業に使用する。

第4条 会員は、毎事業年度、9月30日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

第5条 定款第7条第1項ただし書きの規定により、会費の免除の取扱いを受けようとする者は、所定の申請書を添えて、毎年度、本会に申請するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

この規程は、平成28年6月18日から施行する。

役員等の報酬並びに費用に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第25条に基づき、役員等の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員 理事及び監事をいう。
- (2) 役員等 役員及び会長から指名を受けた会員をいう。
- (3) 報酬等 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号に規定する報酬

等であって、次条及び第4条に規定するものをいう。

- (4) 費用 職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤手当、旅費（宿泊費を含む。）及び手数料等の経費をいう。

(報酬の額及び支給の方法)

第3条

理事の報酬は、理事会及び常務理事会の出席1回につき2,000円を上限とし、理事会で決定する。

2 監事の報酬は、年額111,370円を上限として、監事が協議して定める額とする。

3 前2項の規定にかかわらず、当該役員が報酬を辞退した場合は支給しない。

4 報酬は、四半期ごとに現金で支給する。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(講師及び原稿執筆謝金)

第4条 役員等が会長よりセミナー、研修会若しくはシンポジウムなどの会合における講師を委嘱されたとき又は原稿執筆を委嘱されたときは、別に定める「役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程」に基づき講師謝金又は執筆謝金を支給する。

(費 用)

第5条 本会は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

2 前項の費用は、現金で支払うものとする。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支払うものとする。

(公 表)

第6条 この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項の規定により報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改正)

第7条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程 (本会主催の講師謝金)

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の役員等が、本会主催の講演会、セミナー又はこれに類する会合（以下「講演会等」という。）の講師を務めたときは、その謝金として、1回につきその時間が30分以内のときは5,568円、1時間以内のときは11,137円を、1時間を超えるときは22,274円を支払うものとする。

(原稿執筆謝金)

第2条 役員等が、本会の発行する定期行物又は書籍の原稿を執筆したときは、1000字まで3,000円、それ以後1000字毎に1,000円を限度として執筆謝金を支払うことができる。

(支払い方法)

第3条 前2条の謝金は、当該講演又は入稿の後速やかに現金で支払うものとする。ただし、当該役員等から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(会員以外の者への謝金)

第4条 会員以外の者が本会の発行する定期行物若しくは書籍の原稿を執筆したときは、第2条に定める金額に100分の50を乗じた額を加算して支給する。

(改正)

第5条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第6条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

講師謝礼に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）が主催する診療放射線技師会または診療エックス線技師会を主な対象者とした、職業倫理高揚及び診療放射線学の向上に関する研修会、研究会、講習会等（以下、「研修会等」という。）の講師への謝礼について必要な事項を定めることを目的とする。

(謝礼の支払い)

第2条 謝礼は、研修会等1回ごとに、講師1人につき55,685円を上限として支払うものとする。

(旅費)

第3条 講師には、その自宅又は勤務地から研修会等の会場まで公共交通機関を使用した場合における交通費相当額を支給する。ただし、研修会等の会場の近辺に公共交通機関が存在しない等交通不便地の場合は、講師の自宅又は勤務地から当該会場に最も近い鉄道の駅までの交通費相当額に、当該駅から会場まで距離1kmごとに300円を乗じて得た額を加算して支給する。

(支給の方法)

第4条 謝礼及び旅費の支給日は研修会等の終了後とし、支給方法は所得税その他法令の規定に基づき控除すべき金額を控除し、その残額を現金又は当該講師の指定する銀行口座に振り込む方法により支給する。

(適用除外)

第5条 この規程は、本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合には適用しない。

2 本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合の謝礼

及び旅費に相当する金員の支給は、役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程に基づき支給するものとする。

(改正)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月8日から施行する。

旅費および日当等支払規程

(趣旨)

第1条 この規程は、委員会（編集委員会、学術委員会その他理事会の議決に基づき設置した委員会その他の組織をいう。以下同じ。）の会務（当該委員会の会議及び当該委員会の所掌する事務に関する活動であって、会長の許可を得たものをいう。以下同じ。）のために出張する当該委員会の構成員に支給する旅費及び日当について定めるものとする。

(旅費)

第2条 旅費は当該旅行のための移動方法の別にかかわらず、旅行開始場所から会務実施場所までの往復の旅程について、公共交通機関を用いて旅行した場合に生じる額を支給する。ただし、当該旅行の区間に公共交通機関による移動が不能な区間が含まれるときは、当該移動が不能な区間の旅費は、距離1kmごとに300円を乗じて得た額を支給するものとする。

第3条 会務に従事した場合は、当該委員会の構成員に日当を支給する。

2 前項の日当は、会務1日につき1,000円とする。ただし、理事会の議決を経て定めたものについては上限を3,000円として支給する。

第4条 旅費及び日当のほか、会務に関する学術大会、講習会等の開催及びその準備に係る役務費、消耗品費その他の経費であって委員会の構成員が立て替えたものは別に弁償する。

第5条 経費は、その都度現金により支払う。ただし、

当該委員会の構成員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

会員の登録等に関する規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第5条第1項、第6条及び第8条に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその諾否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、速やかに入会年月日を本人に通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条(1)の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、速やかに届け出るものとする。

第8条 会員は次の特典を享受することができる。

(1) 本会が保有する会議室を優先して利用することができる。

(2) 本会が刊行する会誌を無料で配布を受けることができる。

(3) メーリングリストに登載し、メール等による情報提供を受けることができる。

(4) 本会が主催、共催する研修会、セミナー等に割

引料金を参加することができる。

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付し、退会届を本会に届け出るものとする。

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成24年12月5日から施行する。

役員選出規程

第1章 総 則

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員の選出は、定款第21条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員のなかから選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- (1) 選挙の公示
- (2) 役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示
- (3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認
- (4) 総会において選挙結果の報告
- (5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員の選挙

第6条 理事、監事に立候補しようとする個人、又は推薦しようとする支部は、所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切りは、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の無記名投票により行うものとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

(1) 理 事

(2) 監 事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 異議申し立て

第13条 選挙に関する異議は、選挙終了後14日以内に選挙管理委員会に文章をもって申し立てることができる。

第6章 立候補ならびに当選の取消

第14条 役員立候補者が、選挙公報など選挙に関する事項について、重大な虚偽の申告を行ったことが明らかになった場合は、選挙管理委員会の決議により立候補または当選を取り消すことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

総会運営規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員のなかから6名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付議に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

- (1) 議長団の選出の方法
- (2) 議事日程及び進行
- (3) 総会出席会員の資格審査
- (4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

表彰規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦依頼に関する諸条件について定める。

(条件)

第2条 表彰の対象となる者は、次の各号に該当することを条件とする。

- (1) 本会に15年以上在籍し、かつ会費を完納している者
- (2) その他、会長が適当であると認めた者

(種類)

第3条 表彰に関する分類は次のとおりとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者、または本会役員の在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術奨励賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案を行った者
- (3) 学術新人賞 研究発表を積極的に行った概ね30歳未満の正会員
- (4) 叙勲、関係団体表彰候補
- (5) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (6) 特別賞 他の模範となる善行があった者

(推薦)

第4条 受賞者の推薦は正会員又は名誉会員が行う。

(選考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常務理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。なお、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事項についても理事会において決定する。

(内容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

(実施)

第8条 表彰の実施は総会時に行うものとする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

表彰規程細則

(表彰の実施)

第1条 表彰に関わる旅費、交通費は旅費規程の対象外とする。

2 表彰者ならびに表彰の概要を本会会誌に掲載し広報する。

(予算)

第2条 表彰に関する予算は当該年度の予算から充当する。

(表彰枠)

第3条 表彰の種類に関わる表彰枠は次のとおりとする。

- (1) 学術奨励賞 若干名
- (2) 学術新人賞 若干名

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

互助規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の相互扶助を図るために定めたものである。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- (1) 会員に対する死亡弔慰金の給付

第3条 死亡弔慰金の金額は20,000円とする。

第4条 正会員の死亡退会の連絡を受けた場合、内容審査のうえ速やかに関係理事を通じて該会員の遺族に給付金を支給するものとする。

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

委員会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の運営に必要な委員会の設置基準を定め、本規定をもって定款第4条に基づく事業を、会長の指示に基づき能率的に遂行するための組織を整えることを目的とする。

(委員会の種別)

第2条 この規程に基づく委員会は、常設委員会及び特別委員会とする。

2 常設委員会は、本会の管理業務又は定例の事業を担当するものとし、次の各号のとおりとする。

- (1) 総務・財務委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 編集・情報委員会
- (4) 公益委員会

3 特別委員会は、本会の運営上臨時に派生する問題、又は特別の事業の必要に応じ、会長が理事会の議決を経て、これを設けるものとする。

(構成及び選任)

第3条 前条の各委員会は、委員長、副委員長及び、若干名の委員により構成される。

2 前条第2項各号に規定する常設委員会における委員長への就任は、会長の指名により、常務理事が、これを分掌する。

3 前条第3項に規定する特別委員会の委員長は、会長の指名に基づき、全理事のなかからこれを選任し理事会にて承認する。

4 各委員会の副委員長は、当該委員長の指名に基づき、全理事のなかから選出し、理事会において承認の上、会長がこれを委嘱する。

5 各委員会の委員は、正会員又は名誉会員から当該委員長が推挙し、会長が委嘱する。

(職 務)

第4条 委員長は、当該委員会を代表し、その事務を総理する。

2 各委員は、当該委員長の求めにより、随時招集される所属委員会に出席し、付議事項の審議を行う他、委員長を補佐し、本会の事業計画の実行、又は問題の解決に努めなければならない。

3 委員長に不測の事態が起きた場合は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 各委員会は、当該委員長が随時招集する。

2 各委員長は、委員会が開催される毎に、以下の内容について、簡潔明瞭な報告書（議事録）を作成し、これを会長及び、総務担当の常務理事（常務理事）に提出しなければならない。

- (1) 付議された事項
- (2) その審議内容
- (3) 審議結果

(理事会への報告)

第6条 各委員長及び、各委員長により分担指名された副委員長は、担当する管理業務又は事業の企画及び実施状況を理事会に報告しなければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、状況により必要な事案が発生した場合は、会長が理事会に諮り定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成26年9月4日から施行する。

研究会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線

技師会（以下「本会」という。）定款第4条に基づき本会に研究会を設置する場合の手続きを定め、学術研究活動の促進を目的とする。

（定義）

第2条 この規程でいう研究会とは、前条に掲げた目的を達成するための学術研究を目的とする組織をいう。

（設置申請）

第3条 この規程に従い研究会の設立をしようとする正会員又は名誉会員は、研究会設置申請書（様式一研1）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

（承認基準）

第4条 前条により研究会の設立承認をする場合、次の基準を満たしていなければならない。

- （1）学問領域としての専門性と主体性、かつ社会性が認められること
- （2）当該研究会の活動により県民が利益を得られること
- （3）本会が認可する研究会の幹事及び主たる構成員は本会会員であること

（解散及び廃止）

第5条 研究会は、研究会解散届（様式一研2）を会長に提出し、自主的に解散することができる。

2 理事会は前項のほか、前条の基準を満たさないと判断した場合、研究会を廃止することができる。

（名 称）

第6条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

（活 動）

第7条 研究会は、目的を達成するために自主的に活動するものとし、概ね次の活動を行う。

- （1）研究会を開催する
- （2）研究成果を学術大会等に発表する

（報 告）

第8条 研究会は、毎年の活動状況を総会に報告する。

（助 成）

第9条 本会は、認可した研究会の発展向上を図る目的で、研究会からの申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。

2 助成の規模及び方法は別途理事会で定める。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

技師会センター運営規程

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）技師会センターは埼玉県診療放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行う。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

（会議室の利用）

第5条 次に掲げる各号に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。

- （1）理事が主催する全ての会議、委員会、講習会等
- （2）本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等
- （3）その他、会長が特に認めた会議、講習会等

（使用手続）

第6条 前条のうち（1）に該当する場合を除き使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

（使用の優先）

第7条 使用は本会事業に関するものを優先し、第5条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第8条 使用料及び使用時間は、第5条の(1)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

- | | |
|-----------------|--------|
| (1) 09:00～12:00 | 2,000円 |
| (2) 13:00～17:00 | 2,000円 |
| (3) 18:00～21:00 | 2,000円 |
| (4) 09:00～17:00 | 4,000円 |
| (5) 13:00～21:00 | 4,000円 |
| (6) 09:00～21:00 | 5,000円 |

第10条 使用責任者は重大なる過失による使用中の火災設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

理事の職務権限規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(以下「本会」という。)定款第21条に基づき、本会の理事の職務権限を定め、公益社団法人としての業務の適法、かつ効率的な執行を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、理事とは、理事並びに代表理事たる会長並びに、業務執行理事たる副会長及び常務理事をいう。

(法令等の遵守)

第3条 理事は、法令、定款及びこの法人が定める規範、規程等を順守し、誠実に職務を遂行し、協力して、定款に定める本会の目的の遂行に寄与しなければならない。

(理 事)

第4条 理事は、理事会を組織し、法令及び定款の定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画する。

(会 長)

第5条 会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 代表理事として本会を代表し、その業務を執行する。
- (2) 理事会を招集し、議長としてこれを主宰する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(副会長)

第6条 副会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。
- (2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(常務理事)

第7条 常務理事の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 理事会が決める担当業務を分掌し、執行する。
- (2) 副会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(細 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

この規程は、平成24年12月5日から施行する。

互助給付金申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇支部理事
印

会員 氏に下記事項発生のため互助規程により見舞金を給付されるよう申請いたします。

記

勤務場所
氏名
当該事項
発生年月日
金額
理事の意見

会費免除申請書

申請日 平成 年 月 日

※会費規程第5条により、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会費免除の申請をいたします

申請者会員番号	
申請者名	印
連絡先	〒
	電話
申請代理者氏名	印
<small>事情により本人が申請できない場合、ご署名下さい。</small>	
会費免除申請理由	続柄
	(1) 自己の療養 (2) 介護 (3) 育児 (4) その他 ()
休業期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日まで ※ご職場に申請されている休業期間をお書き下さい。
休業証明書の確認	有 ・ 無

※免除の対象となるのは、毎年度の会費を納入期限までに納めている会員に限ります。また、申請時に当年度の会費が納入されている必要があります。
※本申請には休業期間を証明する書類が必要となります。

事務処理欄

受付欄	
会費確認	

様式－研1

研究会設置申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の設置を申請します。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 研究会構成員－別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 5 研究分野、内容 (具体的に)
- 6 研究会履歴
- 7 助成申請の有無

様式－研2

研究会廃止届

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

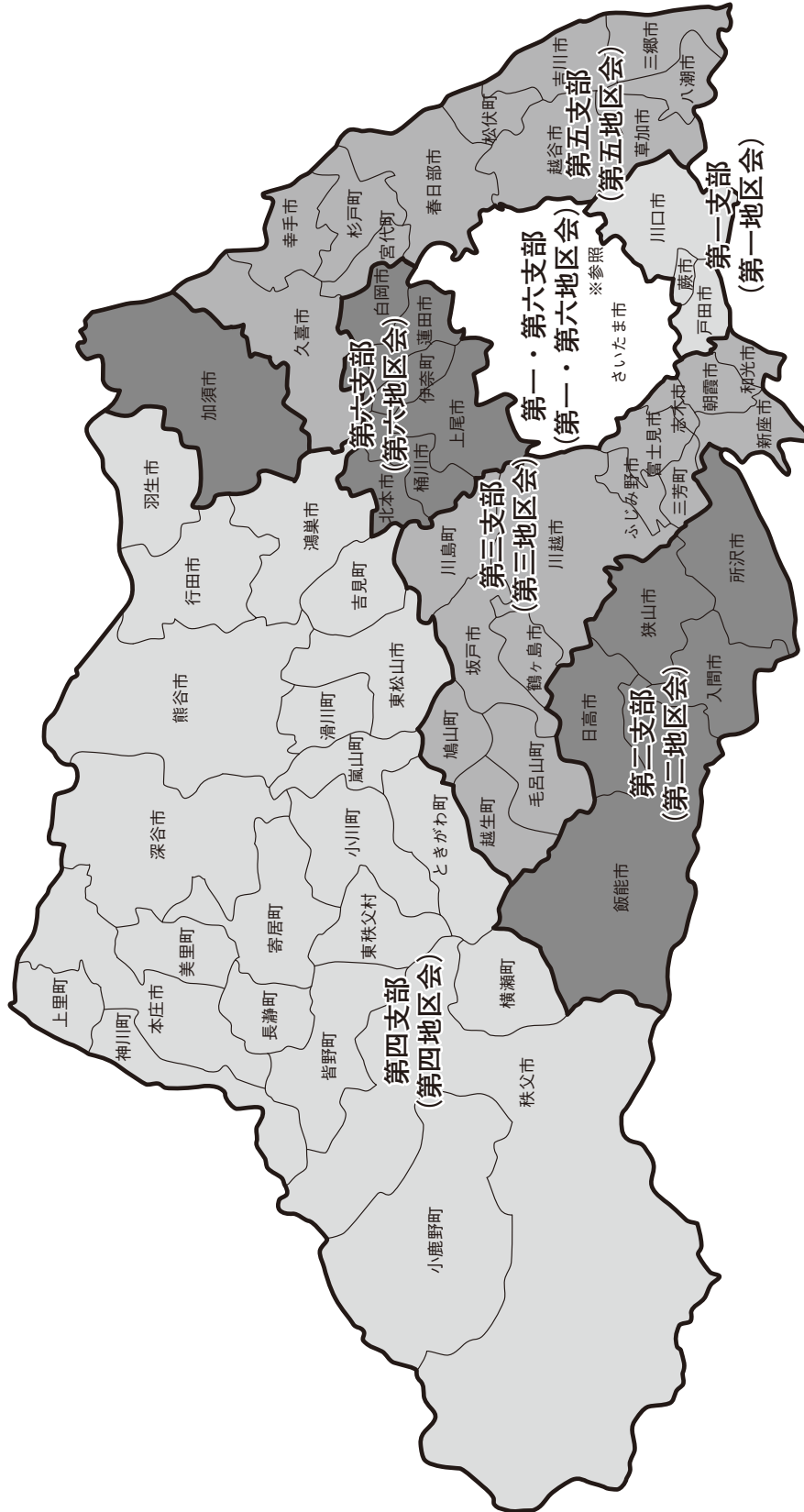
〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の廃止を届けます。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 廃止の理由
- 5 廃止の年月日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 (平成30年4月1日現在)



※第一支部 桜区・浦和区・南区・緑区
 第六支部 上記以外のさいたま市内区

巻頭言
 会告
 お知らせ
 連載企画
 誌上講座
 総会資料
 本会の動き
 各支部情報
 各支部掲示板
 求人
 議事録
 会員の動向
 役員名簿
 申込書
 年間問

平成30年度当初予算

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科目	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	小計	取1				
I一般正味財産増減の部										
1.経常増減の部										
(1)経常収益										
受取会費	0	0	0	3,451,500	3,451,500		0	8,053,500	11,505,000	
正会員受取会費				3,294,000	3,294,000		0	7,686,000	10,980,000	@9000×1220
賛助会員受取会費				157,500	157,500		0	367,500	525,000	@25000×21
事業収益	690,000	0	800,000	0	1,490,000	410,000	0	1,900,000	1,900,000	
講習会受講料等収益	690,000	0			690,000		0		690,000	147セミナー参加料
学術大会参加登録費収益	0				0		0		0	@2000×0
会誌広告収益		0	800,000		800,000		0		800,000	@100000×2 @60000×10
福利事業収益										
貸付収益		0				410,000			410,000	倉庫2戸賃貸料
受取借入金	0	0							0	
雑収益	50,000	0	30,000	0	80,000	0	0	173,300	253,300	
受取利息								100	100	預金利息
雑収益	50,000	0	30,000		80,000		0	173,200	253,200	日放委託料 学術大会機器展示料 20,000円×0.2
経常収益計	740,000	0	830,000	3,451,500	5,021,500	410,000	0	8,226,800	13,658,300	
(2)経常費用										
事業費										
給与手当	210,032	157,901	157,901	0	525,834		0		525,834	事務局給与按分
福利厚生費	308,920	75,000	0		383,920		0		383,920	医師研修費・講習会 員昼食代
会議費	128,000	44,000	115,000		287,000		0		287,000	委員会会議費等
旅費交通費	268,000	296,000	102,000		666,000		0		666,000	委員会交通費・日当
通信運搬費	89,522	29,390	681,510		800,422		0		800,422	電話・ネッパ・郵送費等
減価償却費	505,067	168,356	168,356		841,779	26,012			867,791	
消耗什器備品費					0				0	
消耗品費	84,074	223,991	27,605		335,670		0		335,670	
修繕費	10,000	10,000	10,000		30,000		0		30,000	
印刷製本費			2,040,984		2,040,984		0		2,040,984	学術大会マニュアル 会誌印刷代等
光熱水料費	46,800	15,600	15,600		78,000		0		78,000	電気・ガス・水道
賃借料	201,820	51,325	87,600		340,745		0		340,745	会費費引一次料等
保険料	59,797	19,933	19,933		99,663		0		99,663	
諸謝金	1,592,663	94,514	146,000		1,833,177		0		1,833,177	講師料・原簿料等
租税公課	24,270	8,090	8,090		40,450	20,000			60,450	
支払手数料	3,240	3,240	8,208		14,688	8,000			22,688	
渉外費	5,000	5,000	5,000		15,000		0		15,000	
委託費			351,216		351,216	25,000			376,216	HP管理費
雑費	10,000	10,000	10,000		30,000		0		30,000	

平成 30 年公益社団法人埼玉県診療放射線技師会新春の集い開催報告

総務担当常務理事 城處 洋輔

平成 30 年 1 月 12 日（金）、恒例となった「平成 30 年新春の集い」が、大宮サンパレス・グランツにて開催されました。毎年この時期、新年のあいさつや顔合わせ、また情報交換の場として多くの会員、賛助会員の皆さまにご参加いただいております。今回の出席者は 93 人、このうち埼玉県診療放射線技師会の新しい会員となった 21 人の方々にもご出席いただきました。

田中会長より新年のあいさつをいただき、しばらくご歓談した後に平成 29 年の表彰者が紹介され、代表して（財）日本公衆衛生協会会長表彰を受賞された宮澤浩治氏にお言葉を頂戴しました。

雰囲気慣れてきたころ、今回は趣向を変えて特別ゲストをお呼びし、新入会員の紹介が行われました。新入会員の方々からは、自己紹介を兼ねて将来の豊富など、一人一人お話しいただきました。また日ごろお世話になっております賛助会員の皆さまにも短い時間ではありますが、一緒にお言葉を頂戴しました。

終始和やかな雰囲気のなかあっという間の 2 時間でした。

最後にお忙しい中、ご参加いただきました会員、賛助会員の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、皆さまのご協力を賜り、執行部一同、当会の運営に努力してまいります。

今後ともよろしくお願い致します。



会場風景



新入会員紹介

平成 29 年度第 16 回胸部認定試験開催報告

学術委員 滝口 泰徳

平成 30 年 1 月 27 日（土）に、第 16 回胸部認定試験が開催された。

認定試験の受験者数は 20 人であった。今年度より開催場所を埼玉県診療放射線技師会センターへ移し、読影試験の方式を従来のフィルムから、高精細モニタを用いた読影試験へと変更した。高精細モニタを受験者 1 人に対して、1 台用意して 20 症例を読影していただいた。読影方式の変更は、フィルムレス化が急速に進み、ほとんどの施設でモニタ診断されている現状を踏まえて、数年前より検討していたが、今回、高精細モニタを準備することができたので、早速、今年度より変更することになった。従来のフィルム方式の「正面から見るができない」、「近くで見るができない」などの問題点は改善されたが、今回の高精細モニタ方式では、「拡大表示や濃度変更をしたい」、「制限時間内に自由に読影したい」「モニタの輝度・色度が異なっていた」など、受験者からの意見があり、今後の課題とさせていただきたい。

最後に認定試験を行うにあたり、問題作成にご協力いただいた講師の先生方、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げる。

【胸部認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：岡藤 由香（上尾中央総合病院）
 西田 衣里（済生会川口総合病院）
 阿部 聡（岡病院）
 戸澤 僚太（済生会川口総合病院）
 茂木 大哉（上尾中央総合病院）
 本間 雅人（熊谷生協病院）
 野口 洋一（上尾中央総合病院）

認定試験を合格した方々には、各施設において、撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただきたいと思います。



平成 29 年度第 9 回 CT 認定試験 開催報告

学術理事 寺澤 和晶

平成 30 年 2 月 16 日（金）に、第 9 回 CT 認定試験が浦和コミュニティーセンターの IT 研修室で開催され、他県からの参加者も含め 14 人が受験された。例年では各自ノート PC を持参していたが、読影試験における Viewer ソフトのトラブルや読影環境の違いを改善するため、今年度は備え付けの PC を利用して開催した。読影試験においては上記問題は改善されたが、物理特性試験では自身の PC におけるエクセルや解析シートを使用できなかったことで、解析に時間を要してしまうデメリットも見受けられた。また、平日開催ということで、遠方から受験される方には業務調整などが必要となることも含め、次年度の課題として改善していきたい。当日のプログラムを以下に記す。

記

日 時：平成 30 年 2 月 16 日（金）
会 場：浦和コミュニティーセンター 10 階 IT 研修室

プログラム：18：15～18：30 受付
 18：30～19：30 筆記試験
 19：30～20：30 読影試験
 20：30～21：00 物理特性試験



読影試験

平成 29 年度第 17 回上部消化管検査認定試験 開催報告

常務理事 今出 克利

平成 30 年 2 月 18 日（日）に、第 17 回上部消化管検査認定試験が開催された。

認定試験の受験者人数は 6 人であった。今年度より、開催場所を埼玉県診療放射線技師会センターへ移動し、読影試験をシャーカステン+フィルム方式から、高精細モニタを用いた方式に変更した。試験項目は、筆記試験、読影試験、画像評価の 3 項目となり、画像評価については、普通胃と横胃の評価を行った。

急速なデジタル化の波が押し寄せ、読影試験の在り方について数年前より協議していたが、今年度より、モニタ診断に切り替えることになった。DICOM ビューアソフトのアポロビューライトを使用し、画像の拡大や縮小、濃度の調整など行うことが可能となり、受験生からも非常に好評であった。

上部消化管検査認定試験では、再試験を受けられる方が多く、前回の試験より良い成績となる場合が見受けられる。中には画像評価であまり良くなかった受験生が、次年度には飛躍的に画像が良くなった場合もあり、そんな時は、講習会を開催していて非常にうれしく感じる。胃がん X 線検診を取り巻く環境は厳しく、減少傾向にあり、われわれ、診療放射線技師がしっかりと精度管理することが大切である。今後も開催・企画しますので、ぜひ、ご参加いただければ幸いです。

【上部消化管検査認定者】

A 認定：該当者なし

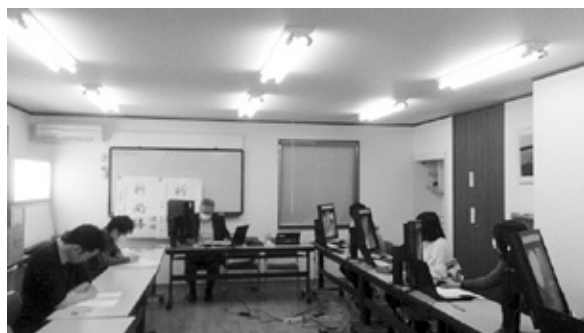
B 認定：高瀬 正人（埼玉医科大学総合医療センター）

山口 恵利（西大宮病院）

竹内 直美（財団法人啓明会中島病院）

浅野 友彦（大宮双愛病院）

認定試験を合格者した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただきたいと思います。



第 32 回埼玉県診療放射線技師学術大会開催報告

大会長 田中 宏
実行委員長 今出 克利

平成 30 年 3 月 4 日（日）に、第 32 回埼玉県診療放射線技師学術大会が大宮ソニックシティで第 1 会場を国際会議室、第 2、3 会場は市民ホールを使用して開催された。参加人数は、257 人（会員（埼玉）179 人、会員（県外）10 人、非会員 15 人、学生 9 人、賛助会員 42 人）であった。

大会テーマは『業務拡大から 7 年、そしてこれから～』とした。平成 22 年付の厚生労働省通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」には、診療放射線技師を積極的に活用する業務として「画像診断等における読影の補助を行うこと」「放射線検査等に関する説明・相談を行うこと」が明記され、また平成 27 年には、診療放射線技師法の一部改定が行われ、CT・MRI 検査等の造影剤注入後の抜針・止血や、下部消化管検査の実施、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのカテーテル挿入の業務内容の拡大が行われた。そのため、法改正に伴う統一講習会が開催されているが、埼玉県を受講率は関東近県と比較しても低率であり、本学術大会を通じて受講率向上につながれば幸いです。

大会内容は、一般演題 29 演題・学生演題 6 演題、シンポジウム「業務拡大から 7 年、そしてこれから」、学術特別企画「国際学会で見た最新の放射線技術と気になるトピックス」、学術委員企画「業務拡大で求められる救急医療の知識」を行った。その他、リーディングコーナー、機器展示の参加企業は 21 社であった。市民公開講座は、「3D 画像による人体解剖学体験」と題して、メーカーにご協力頂きワークショップを用いて、小中学生向けに 3D 画像作成や人体解剖学を学習するイベントを行った。特別講演は、公益社団法人日本診療放射線技師会の熊代正行副会長に「業務拡大の現状と課題、そしてこれから」をご講演いただき、またランチョンセミナーには、公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」の代表である大住力氏をお招きして、「あなたの役割は何ですか？ ディズニーと難病を患う家族が教えてくれたこと」をご講演いただいた。

平成 30 年度の埼玉県診療放射線技師学術大会は、第 35 回日本診療放射線技師学術大会を平成 31 年 9 月に大宮ソニックシティで開催するため延期となります。ぜひ、今から演題発表の準備をしていただき、全国大会にエントリーしてみたいかでしょうか。

【リーディングコーナー 成績優秀者】

胸部部門：白石 広子（熊谷総合病院）

MMG 部門：折原あゆみ（イーストメディカルクリニック）

MDL 部門：山村 慎二（西大宮病院）

CT 部門：茂木 雅和（彩の国大宮メディカルセンター）

MRI 部門：丸 武史（済生会川口総合病院）

【最優秀演題賞 一般演題部門】

5. ノイズ低減処理における有用性の基礎的検討

済生会川口総合病院 ○井上友貴、土田拓治、森一也、戸澤僚太、
内藤完大、富田博信

【優秀演題賞 一般演題部門】

28. 64列 MDCT 高速撮影における撮影条件の組み合わせが画質に与える影響

埼玉医科大学総合医療センター ○千葉佑香里、白石健吾、河田諠人、松澤浩紀、
栗原良樹、中根 淳

12. 画像任意回転機能の臨床使用への検討

上尾中央総合病院 ○樋口誠一、堀夢子、飯泉隼、内田瑛基、藤巻武義、滝口泰徳

【優秀演題賞 学生演題部門】

32. 低 MU ビーム照射と出力変動について

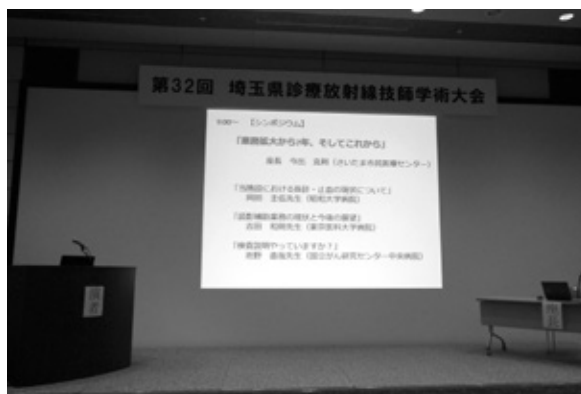
日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 ○白鳥洋子、佐藤洋、桑山潤



会場



受付





田中会長



堀江副会長



富田副会長



国際会議室



市民公開講座



市民公開講座



リーディングコーナー



日本診療放射線技師会 熊代副会長



演題優秀賞受賞者



実行委員

平成 29 年度埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会報告

埼玉県診療放射線技師会副会長 富田 博信

平成 30 年 3 月 21 日（水）13 時～18 時（懇親会 18 時～）、大宮サンパレスで平成 29 年度埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会を開催した。当日はあいにくの天気であったが、県内外より 63 人（会員 56 人、非会員 7 人）の参加があり盛会に終了した。今回の講演会テーマは「手術画像支援を、撮影技術、造影技術、および被ばく線量評価を踏まえ日々の業務に活かす！」という明日から役立つような、内容で企画、プログラムした。

セッションⅠでは、法改正と認定制度の概説、業務拡大に伴う統一講習会と生涯学習の概略、セッションⅡでは造影の基礎と 3D 画像作成のための元画像の重要性について本会理事の、富田、城處、寺澤、中根より講義した。セッションⅢでは、教育講演として、「臨床に役立つ CT 検査被ばくの知識」と題し、千葉海浜病院 高木卓氏よりご講演をいただいた。最後のセッションⅣでは、特別講演に「手術支援を考慮した頭部領域の撮影と画像処理」として、基礎的な手術支援画像の知識から、高度な処理法など多岐にわたり、札幌医科大学病院 平野透氏よりご講演いただいた。内容は 1 日を通して非常に濃い内容であり、ご参加の皆さまには、ご満足いただけたのではないかと思います。今回の企画は、会員への還元および非会員の入会促進も想定し、参加費無料で設定した。今後も県内診療放射線技師にとって、有益な学術講演会を、企画してまいります。



千葉海浜病院 高木卓氏



札幌医科大学病院 平野透氏



質疑風景

平成 29 年度受賞者

受賞おめでとうございます。(敬称略)

平成 29 年春 叙勲瑞宝双光章受賞

石川 昇

保健衛生知事表彰

吉村 保幸

公衆衛生功労知事表彰

宮澤 浩治

萩元 孝

公衆衛生事業功労者（財）日本公衆衛生協会会長表彰

諸澄 邦彦

新井 均

ご寄付お礼

ありがとうございました。

山田整形外科胃腸科肛門科 元放射線科 技師長

社団法人埼玉県放射線技師会 元常任理事

石川 昇名誉会員より10万円のご寄付を頂きました。

厚くお礼を申し上げます。

各支部勉強会情報

第三支部勉強会

【今後の予定】

1. 第4回埼玉県大腸CT研究会 in KAWAGOE

開催日時：平成30年5月12日（土）14：00～16：50

開催会場：ウエスタ川越

内 容：テーマ「CTCをやってみよう」

大腸CTを中心に、消化管画像検査に携わる医療従事者を対象にレベルアップを目的とした研究会

2. 平成30年度 第1回勉強会

開催日時：平成30年6月22日（金）19：30～

開催場所：ウエスタ川越 会議室1

内 容：詳細が決まり次第、第三支部ホームページにアップします

第三支部の活動詳細は、ホームページ <http://saitama3shibu.jimdo.com/> をご覧ください。

第六支部 H30年度 第1回定期講習会のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今回の講習会テーマは『これからの診療放射線技師の役割』と題して、医療従事者としての対応や技術習得の必要性など、今後の業務の糧となる内容となっております。

お忙しいと存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。
敬具

日時：2018年5月17日(木) 18：55～21：00(予定)

場所：埼玉県立小児医療センター8F

地域医療研修センター研修室（南玄関入口）

参加費：500円

駐車場：なし（公共の交通機関をご利用ください）

【プログラム】

1. 開会の辞 18：55～ 茂木 雅和

2. 技術講演 19：00～

テーマ『胸部領域の基礎』

①【気胸について学ぶ】

上尾中央総合病院 飯泉 隼 様

②【CRとFPDの比較・使用経験】

伊奈病院 沖杉 遼平 様

3. 特別講演 20：00～

【出会いは人生を変える】

埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏 様

4. 閉会の辞 20：50～ 山口 明

第一支部

第一支部報告

(1) 報告

ア. 第2回地区勉強会

(ア) 日 時：平成30年1月26日(金) 19:00～

(イ) 参加者：32人

(ウ) 内 容：

『アントンセンI法の撮影方法変更とその結果』

東川口病院 後藤 敬明

『トモシンセシスについて 装置概要と症例』

東川口病院 鎌田 靖男

『我々診療放射線技師に技師連盟は必要か?』

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 副会長

日本診療放射線技師連盟 理事

富田 博信

イ. 第3回地区勉強会&会計報告

(ア) 日 時：平成30年3月13日(火) 19:00～

(イ) 場 所：浦和コミュニティセンター 13集会室

(ウ) 参加者：29人

(エ) 内 容：

司会 川口市立医療センター 石井 聖人

「Azurion バイプレーン装置の頭部領域における有用性」

IGT モダリティスペシャリスト 作田 啓太

「Philips MR 最新鋭アプリケーション-頭部領域を中心に-」

MR モダリティスペシャリスト 石田真美子

「脳血管内治療用デバイスの情報」

日本ストライカー 盛 寛昌

「川口市立医療センターの脳卒中の検査」

川口市立医療センター 千代岡直家



川口市立医療センター 千代岡直家



川口市立医療センター 石井聖人

第二支部

平成 29 年度 第 6 回第二支部勉強会 座長集約

上尾中央総合病院 高橋 康昭

平成 27 年 5 月に起きた群馬県の転落事故を受け、日本消化器がん検診学会から「胃 X 線検査の安全性確保の周知徹底について」という通達があった。これ以降、胃 X 線検査の安全管理の意識が各施設でより高まったともいえる。

今回のテーマは『明日から実践しよう～当院における医療安全への取り組み～』で、行田中央総合病院の浅見純一さまに多施設で行われている胃透視の安全管理について講演いただいた。上記で述べた通達内容の「胃 X 線検査安全対策の再徹底に関するお願い」に沿った取り組みであった。

逆傾斜時の取り組み方法として、検査を行う前の注意点を説明。過度な逆傾斜を避けるために圧迫布団の使用。落下防止のための手すりや肩当て使用の説明、逆傾斜前後で患者の状態を直接確認するなど。下部前壁撮影だけでもさまざまな安全確認を行うことが分かり、特に安全確認を行わなくてはならない撮影であることが改めてわかった。下部前壁撮影は逆傾斜を必要とする撮影であり、患者の安全を第一に考えるのであれば一つも欠かせないものだといえる。

またバリウム誤嚥に関しては、誤嚥しやすい顎の高さやコップの形状を実際にバリウムを服用して確かめる姿勢に、とても感銘を受けた。誤嚥時の対処法であるハフティングとスクイーピングに関しては、リハビリテーション科に講師を依頼し講習会を行うため、より実践的で技術を身に付けられ、当院でも実践していきたい内容であった。

それ以外に、検査室の構造やレイアウトの注意点、迷走神経反射発生時の対処方法など幅広くご説明いただき、とても理解しやすい内容であった。また胃 X 線検査勉強会といえば症例検討ということで 1 症例だけ検討を行い、受講者が満足する内容であった。

最後に、ご講演をいただきました浅見さまと、座長の機会を与えていただきました埼玉県診療放射線技師会第二支部理事の大西さま、役員の皆さまに深謝致します。

平成 29 年度 第 6 回第二支部勉強会 特別講演 座長集約

三郷中央総合病院 長坂 純

平成 29 年度第 6 回第二支部勉強会の特別講演は埼玉県済生会栗橋病院の内海将人さまによる「DRL を知り線量最適化を図ろう！」の講演であった。本講演は、今年度の埼玉県診療放射線技師会公益委員会の事業の一つで、各支部ごとに DRL に関する勉強会が行われており、第二支部での講演が最後であった。

ALARA の原則を基に放射線防護の最適化を行うことは、われわれ診療放射線技師の責務であるが、DRL は診断領域の放射線防護において、最適化のための有効なツールであるとされている。DRL の基本的事項として、線量限度や線量拘束値ではないこと、適切な医療と不適切な医療との線引きをするものではないこと、DRL の値の再評価は定期的に行われること（例：年に 1 回）などが挙げられる。特に強調して話されていたことは、高い線量を用いている施設がそれを自覚し、最適化のプロセスを推進するためのツールだということであった。ただし、DRL より低い場合であっても常に最適化を意識することも重要である。

線量の評価法には測定法と算定法があるが、施設の事情に合わせて合理的に求める必要がある。線量計を有する施設は実測値を DRL と比較することになり、線量計を有しない施設は装置表示値やツールを用いた算出値を比較することになる。具体的な DRL との比較方法について、X 線単純撮影では、標準体型患者撮影時の各部位における入射表面線量を比較する。X 線 CT では標準体型患者撮影時の各部位における CTDIvol と DLP を比較する。このとき、AEC を使用している場合 10 人以上の平均を用いることが望ましいとのことであった。

DRL の目的、概要と説明から始まり、被ばくに関連する単位・用語の解説があった。この場での解説は割愛するが、DRLs、AD、DRR、入射表面線量、CTDIvol、DLP などであった。また先に話されたツールによる線量の算出方法として、NDD 法を発展させた「EPD」とモンテカルロ法を用いた「PCXMC」の二つのソフトウェアを示しながら、実際の算出方法を教えていただいた。X 線単純撮影におけるガイドンスレベルとの比較の例をいくつか示す（単位：mGy）。頭部正面：DRL 3.0、NDD 1,222、実測値 0,957、胸部正面：DRL 0.3、NDD 0,087、実測値 0,075、腰椎側面：DRL 11.0、NDD 2,646、実測値 2,130。

現在、公益委員会では、埼玉県における X 線単純撮影と CT の撮影線量調査アンケートを行っている。撮影線量の最適化に向けて施設ごとの線量を集計して提案やアドバイスなどを施設に対して行うということである。

今回の講演は医療被ばくを最適化するツールとしての DRL を詳しくお話いただき、また測定方法から運用までとても分かりやすい内容であった。多くの施設にとって自施設の線量を見直すよききっかけになるのではないかと思う。しっかりと管理・最適化された上で日々の業務を行っていくことの大切さを改めて感じた。

第三支部

第三支部だより



第三支部理事 山岸 正和

【報告事項】

1. 第5回役員会

日 時：平成30年1月18日（木）19：00～20：30

会 場：埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室

参加者：7人

内 容：新年会、第3回勉強会・総会について

2. 第三支部新年会

日 時：平成30年1月27日（土）

会 場：川越エルミタージュ

参加者：39人



3. 第6回役員会

日 時：平成30年3月7日（水）19：00～20：30
 会 場：埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室
 参加者：7人
 内 容：第3回勉強会・総会、平成30年度役員について

4. 平成29年度総会

日 時：平成30年3月16日（金）19：00～
 会 場：ウエスタ川越 会議室1
 総会参加：29人、委任状提出：156人にて総会成立
 内 容：平成29年度事業報告、決算報告
 平成30年度事業計画、予算案など

5. 第3回勉強会

日 時：平成30年3月16日（金） 19：30～20：30
 会 場：ウエスタ川越 会議室1
 参加人数：29人
 内 容：【メーカー講演】
 コニカミノルタ画像処理エンジン「REALISM」の紹介
 コニカミノルタジャパン株式会社 営業統括部営業推進部 X線営業部 村岡 丈到 氏
 【技師講演】
 散乱線補正処理技術の活用法
 埼玉医科大学病院 中央放射線部 堀切 直也 氏

第三支部の活動詳細は、ホームページ <http://saitama3shibu.jimdo.com/> をご覧ください。

第四支部

支部合同勉強会開催報告

第四支部 齋藤 幸夫・萩原 貴之

齋藤：はぎちゃん、原稿は？

萩原：すみません。もう少し待ってください

そんな訳で遅くなりましたが、昨年度の合同勉強会レポートです。

平成 29 年 11 月 18 日（土）ホテルヘリテイジ四季の湯温泉で、「平成 29 年度支部合同勉強会 in くまがや」が開催されました。内容は以下の通りでした。

支部合同症例検討会

「読影力アップでスキルアップ」

- | | | | |
|--------------------------------|------|-----------------|--------|
| ・小児疾患～頭部外傷～ | 第一支部 | 済生会川口総合病院 | 戸澤 僚太 |
| ・破裂動脈瘤における Coiling 術 | 第二支部 | イムス三芳総合病院 | 高田 博邦 |
| ・「読影力アップでスキルアップ」外傷初期診療～ IVR まで | 第三支部 | 埼玉医科大学総合医療センター | 小濱 大 |
| ・あなたは気づきますか？～乳がんのサイン～ | 第四支部 | 熊谷総合病院 | 亀山 枝里 |
| ・急性腹症 ～虫垂炎をマスターしてスキルアップ～ | 第五支部 | 越谷市立病院 | 村本 圭祐 |
| ・肝細胞癌 肝切除における手術支援画像を作ってみよう | 第六支部 | 彩の国東大宮メディカルセンター | 小野寺 将真 |

講演

- | | | |
|-------------------------------------|----------|-------|
| 「被ばく低減施設認定～認定前と認定後の職員の意識～」 | 三郷中央総合病院 | 長坂 純 |
| 「医療被ばく低減施設 認定前と認定後の職員の意識変化」 | 小川赤十字病院 | 高井 太市 |
| 「線量管理ツールの一例（CT 編）と実践～ドーズウォッチの使用経験～」 | 上尾中央総合病院 | 内田 瑛基 |
| 「埼玉版 DRL のアンケート調査と今後」 | 済生会栗橋病院 | 内海 将人 |

特別講演

- | | | |
|------------------------|----------------|------|
| 「若いうちに身につけておきたいデザイン思考」 | 埼玉医科大学総合医療センター | 中根 淳 |
|------------------------|----------------|------|

会場では白熱した質疑応答となり、活気ある勉強会となりました。その後の懇親会でも支部や世代を越えた交流がみられ、有意義な時間となりました。今後も会員の皆さまが参加しやすく、興味ある内容を提供できるよう努めてまいります。最後に実行委員の方々、ご協力いただいたメーカーの方々、大変お疲れ様でした。



支部合同勉強会実行委員の皆さま



演者の皆さま



懇親会風景

行田健康フォーラム 参加報告

第四支部 齋藤 幸夫・萩原 貴之

平成 29 年 12 月 3 日（日）、行田市教育文化センター「みらい」で、『健康フォーラム 2017』が行われました。当日は天気にも恵まれ、大勢の方々と賑わいを見せました。

ステージ上では、スペシャルトーク「命の授業」と題して、ゴルゴ松本氏の特別講演が行われました。テレビで見るイメージの通り、愉快的トークやパフォーマンスで会場は笑いの渦に包まれました。また「言葉」の大切さについて熱く語っていただきました。

第四支部会としては『あなたのための医療画像展』として「パネル展示」「骨密度測定」「被ばく相談」を企画しました。

特に、骨密度測定では、多くの方々に質問をいただき関心の高さが伺えました。

行田市の健康まつりに参加させていただくのは今回で 2 回目となります。前回よりもさらに多くの方々に参加していただくことができました。これからもこのような活動を通じてわれわれ診療放射線技師の職種・役割を知っていただき、多くの方々の健康維持のお手伝いできればと思います。

最後に、実行委員の方々、大変お疲れさまでした。



行田健康フォーラム 2017 実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	清水 浩和	熊谷総合病院
大野 渉	羽生総合病院	長谷川英治	羽生総合病院
新井 偉生	東松山市民病院	横田 文克	秩父市立病院
高井 太一	小川赤十字病院	柏瀬 義倫	深谷赤十字病院
浅見 純一	行田中央総合病院	萩原 貴之	行田中央総合病院

萩元孝氏 埼玉県公衆衛生知事表彰を祝う会 報告

第四支部 萩原 貴之

平成 30 年 2 月 10 日（土）熊谷市のマロウドイン熊谷で、萩元孝氏の埼玉県公衆衛生知事表彰祝う会が行われ、萩元氏と関わりの深い多くの方々が出席されました。多くの方々のご祝辞、萩元氏ご本人のあいさつ、花束贈呈などが行われました。ご祝辞のスピーチでは、数々のエピソードが飛び出し大いに盛り上がりました。萩元氏の人柄が表れた賑やかで笑顔の溢れた祝賀会となりました。

萩元氏の表彰は同支部会員の喜びでもあります。このたびは誠におめでとうございます。



表彰状と萩元氏



萩元氏と東松山市民病院放射線科の皆さま



乾杯



花束贈呈

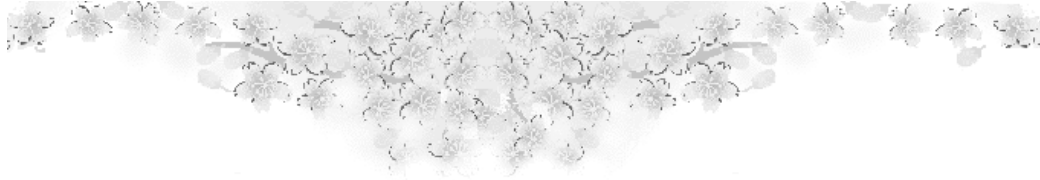


スピーチで盛り上がり



笑顔が溢れています

第五支部



第五支部

情報交換会

場所 春日部市民活動センター〔ふれあいキューブ〕

5月24日 19:00～(予定)

6月28日 19:00～(予定)

詳しくは、SARTのHPなどでご案内致します。

(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

テーマなど皆さんのご意見をお待ちしています。

ご参加ご協力をお願い致します。



五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)



今年度もよろしくお願ひいたします。

(新しいイベントもご用意する予定でいます。ご期待ください)

情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください

地区の活動にご協力いただける方からのご連絡お待ちしております。

下記でもご案内をしております。

<http://sart-daigoshibu.jimdo.com/>



平成 29 年度

埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会報告

去る 3 月 8 日（木）に、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会が無事終了致しました。お忙しい中、多くの出席者および委任状提出いただきありがとうございました。

平成 30 年度も、会員の皆さまにご協力いただき、新しい役員体制となり、会員の皆さまにはご協力とともにご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

平成 29 年度 埼玉県診療放射線技師会第六支部 総会議事録

1. 日時 平成 30 年 3 月 8 日（木）
19 時 00 分～19 時 30 分

2. 場所 地域医療教育センター

3. 会員数 283 人

4. 出席者 38 人
委任状提出者 163 人
合計 201 人

5. 開会

6. 会長挨拶

7. 議長選出・書記任命

議長に上尾中央総合病院 藤巻武義氏、書記に彩の国東大宮メディカルセンター 石坂紗也加氏、上尾中央総合病院 中山勝雅氏が選出された。

8. 議事事項

- ・ 平成 29 年度事業報告
- ・ 平成 29 年度決算報告
- ・ 監査報告
 - 事業監査報告
 - 会計監査報告
- ・ 平成 30 年度事業計画案
- ・ 平成 30 年度予算案
- ・ その他

9. 議事の経過

総会出席者数の審査の結果、本総会は成立したことが、報告された。

平成 29 年度事業報告を山口会長が報告。

平成 29 年度決算報告を徳田会計が報告。

監査報告は羽田野和仁氏、尾形智幸氏により、事業の適正が報告された。また収支共に会務・事業に対し健全に行われていると認める旨を報告された。

議長は議事について順次に賛否を諮り、賛成多数により全議事について承認された。

平成 30 年度事業案を山口会長が説明。

平成 30 年度予算案を徳田会計が説明。

議長は議事について順次に賛否を諮り、賛成多数により全議事について承認された。

10. 閉会

以上の通り議事が進行されたことを報告致します。

平成 30 年 3 月 8 日（木）

第六支部理事 山口 明

平成 29 年度

第六支部 第 3 回定期講習会開催報告

上尾中央総合病院 仲西一真

平成 30 年 3 月 8 日（木）に、地域医療教育センターで今年度最後となる第六支部定期講習会が開催された。今回の講習会のテーマは「発表スライドの作り方」として、済生会川口総合病院の森一也さまと、上尾中央総合病院の佐々木健さまにご講演いただいた。

講演の内容は、森さまからは学術発表について、佐々木さまからは講演について、基本的なスライド構成の説明から、演者ご自身がスライドを作成する際に注意している点や、上手に情報を伝えるためのコツなど、普段、なかなか聞くことのできない貴重なものであった。

講習会の参加者は 41 人で、雨天にもかかわらず多くの参加があった。参加者の中には、先日行われた埼玉県診療放射線技師学術大会で発表された方も多く、質疑応答では、学術大会に向けてのスライドを作成した際に、構成について悩んだ点についてなど、多くの質問が上がり、非常に有意義な講習会であったと感じられた。

第六支部 役員退任挨拶

・さいたま赤十字病院 徳田 光希

3 年間第六支部の会計を務めさせていただきました。任期中は定期講習会や支部合同勉強会、いきいきフェスティバルなどでたくさんの方々と接する機会がありました。また支部合同勉強会・関東甲信越診療放射線技師学術大会の実行委員を務め、とても貴重な経験をさせていただきました。至らないことばかりでご迷惑をお掛けしましたが、フォローしていただいた役員の方々には大変お世話になりました。これからは、第六支部の発展に一会員として貢献していきたいと思っております。ありがとうございました。

・埼玉県立小児医療センター 春日 沙織

埼玉県立小児医療センターの春日です。3 月をもちまして、第六支部役員を退任させていただくこととなりました。2 年間、学術担当として講習会の企画・運営等を行い、日常の業務だけでは学ぶことのできない多くの経験をさせていただきました。また役員活動を通じて他施設の方々との交流もでき、とても有意義な時間であったと感じています。会長をはじめ、役員の皆様には大変お世話になりました。今後も一会員として、第六支部の活動に積極的に参加し、第六支部を盛り上げていければと思います。2 年間ありがとうございました。

・上尾中央総合病院 藤巻 武義

4年間にわたり、第六支部役員を務めさせて頂いた上尾中央総合病院の藤巻です。山口会長をはじめ、他役員の協力もあり学術・広報・総務とさまざまなことを経験させていただきました。診療放射線技師として、また社会人として成長させて頂いたことに感謝致します。

これからは、会員として第六支部に引き続き携わっていきたいと思います。

求人コーナー

本会は、求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

施設名 医療法人社団 嬉泉会 春日部嬉泉病院

住所	埼玉県春日部市中央 1-53-16
担当者氏名	人事科 射手矢 三男
TEL	048-736-0111
FAX	048-734-1700
E-Mail アドレス	iteya@kasukabe-kisen.jp
募集対象者	診療放射線技師
雇用形態	正職員
業務内容	一般撮影（胸部、腹部等）CT（64列）・造影、骨塩定量等、オンコール体制
待遇	235,000円（専門学校新卒）経験などにより考慮 その他通勤手当、時間外勤務手当など、昇給年1回（評価制度による） 賞与年2回（4.0ヶ月／年間、昨年実績による）、退職金制度あり（勤続3年以上）
勤務時間	日勤 8時30分～17時30分（休憩60分）※夜勤なし
休日	年間休日113日、日曜日、年末年始（12月31日～1月3日） 月8日～10日の休日（シフト勤務）、特別休暇（年1回8連休あり）
募集人員	若干名
宿舍の有無	無
社会保険など	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
応募方法	履歴書（写真貼付）、職務経歴書、診療放射線技師免許証（写）を上記 人事科 射手矢 宛 郵送
その他	東武スカイツリーライン、アーバンパークライン 春日部西口から徒歩約5分

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

掲載要項

発行部数：約1250部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・5・7・10月中旬

原稿締切日：発行月の1カ月前の1日

申込方法：求人広告掲載申し込み用紙でFAX、または同項目を記載し電子メールで申し込み。法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

求人広告掲載申し込み FAX 用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mail アドレス	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX 送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
FAX 番号 048-664-2733
電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

平成 29 年度 第 2 回常務理事会議事録（抄）

日 時：平成 29 年 10 月 5 日（木）
18：45～21：00
場 所：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
事務所
出 席 者：会 長：田中 宏
常務理事：堀江 好一、富田 博信、
八木沢 英樹、結城 朋子、
城 處 洋輔、今出 克利、
潮田 陽一、佐々木 健

第 1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、田中会長を議長に選出し、平成 29 年度第 2 回常務理事会を開催した。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長（田中）

- (1) 埼玉県医師会主催「平成 29 年度埼玉県各がん検診セミナー」の後援依頼を受けた。
 - ア. 日時：平成 29 年 12 月 16 日（土）他
 - イ. 場所：県民健康センター
- (2) 全国会長会議に出席した。
 - ア. 日時：平成 29 年 9 月 23 日（土）
 - イ. 場所：函館市民会館
- (3) 災害支援診療放射線技師研修会開催について以下の日程で開催予定。各都道府県より 1 人派遣。
 - ア. 日時：平成 29 年 12 月 23 日、24 日
 - イ. 場所：日本診療放射線技師会事務所講義室
- (4) 日本診療放射線技師学術大会（函館）に参加した。
 - ア. 日時：平成 29 年 9 月 22 日、23 日、24 日
 - イ. 場所：函館市民会館、函館アリーナ

2. 編集情報（八木沢）

- (1) 会誌 250 号発行予定
 - ア. 日時：平成 29 年 10 月 25 日（水）
- (2) 執筆者増減のため会誌部数を調整。1370 部から 1420 部へ変更予定。
- (3) 会誌 251 号の内容について。
 - ア. 表紙デザインの変更
 - イ. 連載企画
 - ウ. 誌上講座
 - エ. 本会の動き
- (4) Web サイトについて以下の作業を行った。
 - ア. 掲載および更新（会員用）
 - (ア)（公社）日本診療放射線技師会永年勤続表彰候補者推薦について
 - (イ) 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内
 - (ウ) 埼玉放射線バックナンバー 245 号
 - (エ) 平成 29 年度第 16 回胸部認定講習会のお知らせとフォーム作成
 - (オ) 第五支部親睦ゴルフコンペ案内状
 - (カ) 第五支部情報交換会のお知らせ
 - (キ) 業務拡大に伴う統一講習会開催のお知らせ
 - (ク) 平成 29 年度 第 17 回 上部消化管検査認定講習会のお知らせおフォーム作成
 - (ケ) 委嘱状等ひな型のダウンロードページ作成
 - (コ) 乳腺セミナー開催のお知らせとフォーム作成
 - (サ) 第 4 回 DR 計測セミナーのお知らせ掲載とフォーム作成
 - (シ) 第 32 回埼玉県診療放射線技師学術大会のお知らせ掲載と演題募集フォーム作成
 - (ス) 平 29 年度 放射線管理講習会
 - (セ) 平成 29 年度 放射線特別授業准講師養成講習会
 - (ソ) 第六支部第 2 回定期講習会のお知らせ
 - (タ) 第 33 回 埼玉臨床画像研究会
 - イ. 掲載および更新（一般用）
 - (ア) 会誌埼玉放射線バックナンバー 245 号
 - (イ) 川越市健康まつりのお知らせ

- (5) メールマガジン No86 配信
- (6) 臨時編集情報委員会を開催した。
- ア. 平成 29 年 9 月 13 日 (水) 19:00 から
- イ. 場所: 技師会事務所 2 階会議室
- ウ. 内容: 埼玉学術大会演題登録について
- エ. 参加者: 6 人
3. 学術 (今出)
- (1) 第 33 回日本診療放射線技師学術大会の視察を行った。
- ア. 日時: 平成 29 年 9 月 22 日、23 日、24 日
- イ. 場所: 函館市民会館および函館アリーナ
- ウ. 視察報告: 別途資料参考
- (2) 救急 (BLS) セミナーを開催した。
- ア. 日時: 平成 29 年 9 月 28 日 (金) 19:00 から
- イ. 場所: 浦和コミュニティーセンター 13 会議室
- ウ. 参加人数: 14 人
- (3) 第 3 回学術委員会を開催した。
- ア. 日時: 平成 29 年 10 月 4 日 (水) 19:00 から
- イ. 場所: 技師会事務所 2 階会議室
4. 公益 (佐々木)
- (1) 埼玉 DRL 調査について
- ア. アンケートをホームページよりダウンロードが可能となった。
- イ. 支部勉強会を開催した。
- (ア) 日時: 平成 29 年 11 月 30 日 (木)
- (イ) 場所: 第二支部
- (2) 放射線特別授業について監事を通じ、会長と県教育委員会へ授業開催に関する説明とお願いをした。
- (3) 放射線特別授業准講師養成講習会を予定。
- ア. 日時: 平成 29 年 10 月 23 日 (月) 19:00 から

- イ. 場所: 技師会事務所 2 階会議室
- (4) リレーフォーライフ川越に参加した。
- ア. 日時: 平成 29 年 9 月 16 日、17 日
- イ. 内容: パネル展示、被ばく相談窓口開設
- (5) 一般からの被ばく相談を受けた。
- ア. 平成 20 年 10 月 1 件

5. 財務 (潮田)
- (1) 顧問税理士の月次巡回監査を行った。
- ア. 日時: 平成 29 年 9 月 29 日 (金)

第 3. 審議・承認事項

なし

次回、平成 29 年度第 3 回常務理事会予定 平成 29 年 12 月 7 日 (木)

配布資料 (メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 編集情報資料
- (3) 学術資料
- (4) 公益資料
- (5) 財務資料
- (6) 議事録

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

平成 29 年 10 月 5 日

議事録署名人 田中 宏 (押印略)

堀江 好一 (押印略)

平成 29 年度 第 3 回常務理事会議事録 (抄)

日 時：平成 29 年 12 月 7 日 (木)
 18：45～21：00
 場 所：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 事務所
 出 席 者：会 長：田中 宏
 常務理事：八木沢 英樹、結城 朋子、
 城處 洋輔、今出 克利、
 潮田 陽一、佐々木 健
 欠 席 者：堀江 好一、富田 博信 (委任状提出)

第 1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
 議事録署名人 田中 宏、八木沢英樹
 議事録作成人 結城 朋子
 と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、田中会長を議長に選出し、平成 29 年度第 3 回常務理事会を開催した。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長 (田中)

- (1) 公益社団法人埼玉県臨床工学技士会主催「第 17 回人工呼吸器セミナー」の後援依頼を受けた。
 ア. 日時：平成 29 年 12 月 2 日 (土) 他
 イ. 場所：県民健康センター
- (2) 第 2 回北関東拡大大会長会議に出席した。
 ア. 日時：平成 29 年 12 月 2 日 (土)
 イ. 場所：大宮ソニックシティ
 ウ. 内容
 (ア) 統一講習会について
 (イ) 次期北関東地域理事候補の選出について
 (ウ) 第 35 回日本診療放射線技師会 (2019 年) への協力について
- (3) 支部勉強会へ出席した。
 ア. 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)
 イ. 場所：ホテルヘリテイジ

2. 編集情報 (八木沢)

- (1) 会誌 251 号発行を以下の日時で予定している
 ア. 日時：平成 30 年 1 月 24 日 (水)
- (2) 執筆者増減のため会誌部数を調整。1370 部から 1420 部へ変更予定。
- (3) 会誌 252 号の内容について
 ア. 原稿締切：平成 30 年 4 月 15 日 (火) を予定
- (4) 各委員会開催予定を報告した。
 ア. 編集情報委員会
 (ア) 第 5 回 平成 30 年 2 月 8 日
 (イ) 第 6 回 平成 30 年 3 月 9 日
 イ. 企画班
 (ア) 第 4 回 平成 30 年 3 月 16 日
 ウ. 演題エントリーシステム委員会
 (ア) 第 2 回 平成 30 年 1 月 17 日
 (イ) 第 2 回 平成 30 年 2 月 7 日
- (5) Web サイトについて以下の作業を行った。
 ア. 掲載および更新 (会員用)
 (ア) 第 52 回 埼玉消化管撮影研究会
 (イ) 第四支部 忘年会のお知らせ
 (ウ) 第 39 回 ソニック CT カンファレンス
 (エ) 第五支部情報交換会のお知らせ
 (オ) 会誌埼玉放射線 バックナンバー 246 号内
 (カ) 平成 30 年『新春の集い』のご案内
 (キ) 第 40 回 SAITAMA MRI Conference のご案内
 (ク) 乳がん検診について
 (ケ) 胸部認定試験のご案内
 イ. 掲載および更新 (一般用)
 (ア) 会誌埼玉放射線バックナンバー 246 号
- (6) メールマガジン No87 配信 新規登録 2 件

3. 学術 (今出)

- (1) 第 4 回学術委員会を開催した。(詳細は別紙資料参照のこと)
 ア. 日時：平成 29 年 12 月 4 日 (月) 19：00 から
 イ. 場所：技師会事務所 2 階会議室
 ウ. 出席者：17 人
 エ. 内容

- (ア) 第32回 埼玉県診療放射線技師学術大会について
- (イ) 各講習会の進捗状況報告
- (ウ) その他

4. 公益 (佐々木)

- (1) 埼玉 DRL 調査について
 - ア. 現在、11 施設から回答あり。
 - イ. アンケートをホームページよりダウンロードが可能となった。
- (2) 放射線特別授業を開催した。
 - ア. 日時：平成 29 年 11 月 29 日 (月)
 - イ. 場所：松山高等学校
 - ウ. 講師：佐々木 健 (正講師)、坂本 里紗 (準講師)、紀陸 剛志 (見学)
- (3) 埼玉県診療放射線技師学術大会企画案について報告した。
 - ア. 3D 画像による人体解剖学体験
 - イ. 「診療放射線技師の検査説明」シンポジウム

5. 財務 (潮田)

- (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
 - ア. 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)

第3. 審議・承認事項

なし

次回、平成 29 年度第 4 回常務理事会予定 平成 30 年 2 月 1 日 (木)

配布資料 (メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 編集情報資料
- (3) 学術資料
- (4) 公益資料
- (5) 財務資料
- (6) 議事録

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

平成 29 年 12 月 7 日

議事録署名人 田中 宏 (押印略)

八木沢 英樹 (押印略)

平成 29 年度 第 4 回常務理事会議事録（抄）

- 日 時：平成 30 年 2 月 1 日（木）
18：45～21：00
- 場 所：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
事務所
- 出席者：会 長：田中 宏
常務理事：堀江 好一、富田 博信、
八木沢 英樹、結城 朋子、
城處 洋輔、今出 克利、
佐々木 健、潮田 陽一
- (1) (公社) 日本診療放射線技師会運営会議に参加予定。
ア. 日時：平成 30 年 2 月 17 日（土）
イ. 場所：日本診療放射線技師会 会議室
3. 総務（結城）
(1) 平成 29 年度永年勤続表彰対象者（20 年、40 年）に申請書類を送付した。
(2) 平成 30 年新春の集いを開催した。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 12 日（金）
イ. 場所：大宮サンパレス グランツ
ウ. 参加者：会員 39 人、賛助会員 33 人、新入会員 21 人
(3) 第 2 回表彰委員会に出席した。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 29 日（月）
イ. 場所：技師会事務所

第 1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につき、田中会長を議長に選出し、平成 29 年度第 4 回常務理事会を開催した。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長（田中）

- (1) (公社) 埼玉県看護協会の新年会に富田副会長へ参加をお願いした。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 13 日（土）
イ. 場所：プリランテ武蔵野
- (2) 公明党新年会に芦葉理事（公益）が参加した。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 22 日（月）
イ. 場所：浦和ロイヤルパインズホテル
- (3) さいたま市小中学校 160 校宛の市民公開講座案内の配布をさいたま市役所教育委員会へお願いした。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 22 日（月）
イ. 場所：さいたま市教育委員会（さいたま市役所 9F）
- (4) 第 35 回日本診療放射線技師会学術大会視察を行った。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 17 日（水）
イ. 場所：ホテルプリランテ、大宮ソニックシティ
- (5) 藤井たけし県議会議員と面談した。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 27 日（土）
イ. 場所：さいたま市大宮区吉敷町

2. 副会長（富田）

4. 総務（城處）

- (1) 統一講習会案内状を県内の医療施設へ発送した。

5. 編集情報（八木沢）

- (1) 会誌 252 号について以下の報告を行った。発行を以下の日時で予定している
ア. 原稿締切予定：平成 30 年 4 月 15 日（火）
イ. 内容
(ア) 第 7 回総会資料
(イ) 誌上講座
a. 整形外科領域の撮影技術向上を目指して
b. 骨軟部撮影セミナー 2017
- (2) 執筆増減のため会誌部数を調整。1370 部から 1420 部へ変更予定。
- (3) 会誌 252 号の内容について
ア. 原稿締切：平成 30 年 4 月 15 日（火）を予定
- (4) 各委員会開催予定を報告した。
ア. 編集情報委員会
(ア) 第 5 回 平成 30 年 2 月 8 日（木）
(イ) 第 6 回 平成 30 年 3 月 9 日（金）
(ウ) 平成 30 年度第 1 回 平成 30 年 6 月 5 日（火）
- イ. 企画班
(ア) 第 4 回 平成 30 年 3 月 16 日（金）
(イ) 平成 30 年度第 1 回 平成 30 年 5 月 10 日（木）

- (ウ) 第2回 平成30年8月9日(木)
 - (エ) 第3回 平成30年11月8日(木)
 - ウ. 演題エントリーシステム委員会
 - (ア) 第2回 平成30年1月17日
 - (イ) 第2回 平成30年2月7日
 - (5) Webサイトについて以下の作業を行った。
 - ア. 掲載および更新(会員用)
 - (ア) Smic (Saitama medical information conference)のお知らせ
 - (イ) 平成29年度埼玉県診療放射線技師会認定試験上部消化管検査認定試験開催お知らせ
 - (ウ) 第34回 埼玉臨床画像研究会
 - (エ) 第63回 埼玉CT Technology Seminar 開催のご案内
 - (オ) 埼玉県診療放射線技師会永年勤続表彰候補者推薦について
 - (カ) 学術大会ホームページに(開催概要・プログラム・一般演題・各種ポスター)を掲載した。
 - (キ) 第4回DR計測セミナー申込期間の延長のお知らせ
 - (6) メールマガジン 新規登録2件
 - (7) ホームページ新着情報について
 - ア. 新着情報掲載順序を変更
 - イ. 新着情報、イベント情報を2段組表示
 - (8) 会誌原稿料増額について報告した。
 - (9) ホームページから各セミナーの申し込みが可能となる登録システムを作成した。
6. 公益(佐々木)
- (1) 埼玉DRL調査について以下の報告を行った。
 - ア. 現在11施設よりアンケート回答あり。(目標60施設)
 - イ. アンケートをホームページよりダウンロード可能とした。
 - (2) 第2回公益委員会を開催した。
 - ア. 日時:平成30年1月23日(火)
 - イ. 場所:技師会事務所
 - ウ. 出席者:10人
 - (3) 埼玉県診療放射線技師会学術大会市民公開講座について以下の報告を行った。
 - ア. 平成30年1月22日(月)会長とともにさいたま市役所を訪問した。

- イ. ホームページより会員家族の事前申し込みを開始した。
- ウ. 50インチモニターをレンタルし当日使用予定。
- エ. アミン(株)へワークステーション貸出願いを郵送した。

4. 財務(潮田)

- (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
 - ア. 日時:平成30年1月31日(水)

第3. 審議・承認事項

1. 平成30年度事業計画案について資料をもとに審議し、承認した(議案書番号:常理-1)(承認)
2. 埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会(CT編)開催に際し、予算および資料をもとに審議し、承認した(議案書番号:常理-2)(承認)
3. 第35回日本診療放射線技師学術大会開催目的の積立金実施について資料をもとに審議し、承認した(議案書番号:常理-3)(承認)

次回、平成30年度第1回常務理事会予定 平成30年4月5日(木)

配布資料(メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 編集情報資料
- (3) 学術資料
- (4) 公益資料
- (5) 財務資料
- (6) 議事録

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

平成30年2月1日

議事録署名人 田中 宏 (押印略)
堀江 好一 (押印略)

平成 29 年度 第 6 回理事会議事録 (抄)

- 日 時：平成 29 年 11 月 2 日 (木)
18:45 から 20:00
- 場 所：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会事務所
- 出席者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一、富田 博信
常務理事：結城 朋子、城處 洋輔、
今出 克利、八木沢 英樹、
佐々木 健、潮田 陽一
理 事：寺澤 和晶、中根 淳、
山田 智子、清水 邦昭、
芦葉 弘志、双木 邦博、
大西 圭一、山岸 正和、
齋藤 幸夫、矢崎 一郎、
山口 明
監 事：橋本 里見
顧 問：小川 清
- 欠 席 者：鈴木 正人
- 第 1. 議事録作成、議事録署名人の選出について**
議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。
- 第 2. 報告及び確認事項**
1. 会長 (田中)
 - (1) 埼玉県医師会主催「平成 29 年度埼玉県各がん検診セミナー」の後援依頼について承認した。
ア. 日時：平成 29 年 12 月 16 日 (土) 他
イ. 場所：県民健康センター
 - (2) 全国会長会議に出席した (函館)
ア. 日時：平成 29 年 9 月 23 日 (土)
イ. 場所：函館市民会館
ウ. 内容
(ア) 柔道整復師法一部改正について
(イ) 執行理事による地域への出張内規について
(ウ) 61 歳以上の年会費について
(エ) 都道府県における養成校設立について
(オ) 永年勤続表彰について
(カ) 被曝低減施設への協力について
 2. 副会長 (堀江)
 - (1) ファーストサーバーのホスティングの変更を行った。
 3. 総務 (結城)
 - (1) 平成 30 年度日本診療放射線技師会永年勤続表彰者候補者選出を行い、11 月中旬に日放技へ推薦。
 - (2) 第 33 回日本診療放射線技師学術大会へ参加した。
ア. 平成 29 年 9 月 22 日～24 日
イ. 場所：函館市民会館ほか
 4. 総務 (城處)
 - (1) 技師会事務所における鍵の管理 (暗証番号) に
- (キ) アンケート調査への協力について
(ク) 統一講習会受講率について
- (3) 災害支援診療放射線技師研修会への参加者派遣について報告した。
ア. 日時：平成 29 年 12 月 23 日、24 日
イ. 場所：日本診療放射線技師会事務所講義室
ウ. 参加者：各都道府県より 1 名派遣予定
- (4) 日本診療放射線技師会学術大会 (函館) 参加した。(報告書別紙資料)
ア. 日時：平成 29 年 9 月 22 日、23 日、24 日
イ. 場所：函館市民会館、函館アリーナ
- (5) 2019 年全国大会懇親会会場について見積もりなどを算出しプリランテに決定した。
- (6) 2018 年日本診療放射線技師学術大会 (山口) へ PC 班として埼玉から 1 人派遣することとした。
- (7) 石心会狭山病院内覧会へ出席した。
ア. 日時：平成 29 年 10 月 15 日 (日)
イ. 場所：石心会狭山新病院
- (8) 公衆衛生功労知事表彰へ出席
ア. 日時：平成 29 年 10 月 19 日 (木)
イ. 埼玉会館小ホール
- (9) 平成 29 年度日臨技関東甲信・首都圏支部医学検査学会の懇親会へ参加した。
ア. 日時：平成 29 年 10 月 28 日 (土)
イ. 場所：ラフレさいたま

ついて報告した。(別紙資料参照)

5. 編集・情報 (八木沢)

- (1) 会誌1月251号の発行について報告した。
 - ア. 発送予定日:1月24日(水)
- (2) 会誌5月252号の原稿締切日について報告した。
 - ア. 原稿締め切り:平成30年4月10日(木)
- (3) 委員会開催予定について報告した。
 - ア. 編集・情報委員会
 - (ア) 第4回 日時:平成29年11月9日(木)
 - (イ) 第5回 日時:平成30年2月8日(木)
 - (ウ) 第6回 日時:平成30年3月8日(木)
 - イ. 企画班
 - (ア) 第3回 日時:平成29年11月15日(水)
 - (イ) 第4回 日時:平成30年3月15日(木)
- (4) 学術大会演題エントリーフォーム作成に当たり望月印刷へ見積もりなどを依頼した。

6. 編集・情報 (清水)

- (1) 会員用 Web サイトについて掲載および更新を行った。
 - ア. 第58回 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内
 - イ. 会誌埼玉放射線 バックナンバー 245号
 - ウ. 平成29年度 第16回胸部認定講習会のお知らせとフォーム作成
 - エ. 第五支部情報交換会のお知らせ
 - オ. 第五支部情報交換会のお知らせ
 - カ. 川越市健康まつりのお知らせ
 - キ. 平成29年度 第17回上部消化管検査認定講習会のお知らせおフォーム作成
 - ク. 委嘱状等ひな型のダウンロードページ作成
 - ケ. 乳腺セミナー開催のお知らせとフォーム作成
 - コ. 第4回 DR 計測セミナーのお知らせ掲載とフォーム作成
 - サ. 第32回 埼玉県診療放射線技師学術大会の知らせ掲載と演題募集フォーム作成
 - シ. 平29年度 放射線管理講習会
 - ス. 平成29年度 放射線特別授業准講師養成講習会
 - セ. 第六支部第2回定期講習会のお知らせ
 - ソ. 第33回 埼玉臨床画像研究会
 - タ. 平成29年度 支部合同勉強会 in くまがや

- チ. 第59回 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内
- ツ. 第五支部情報交換会
- テ. Smic (Saitama medical information conference) のご案内
- ト. 浦和区健康まつり 2017
- ナ. 第32回 埼玉県診療放射線技師学術大会機器展示募集案内
- ニ. 第60回 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内
- ヌ. (公社) 日本診療放射線技師会永年勤続表彰候補者推薦について
- (2) 一般用 Web サイトについて掲載および更新を行った。
 - ア. 会誌埼玉放射線 バックナンバー 245号
 - イ. 川越市健康まつりのお知らせ
 - ウ. 浦和区健康まつり 2017
- (3) メールマガジンについて以下の作業を行った。
 - ウ. メルマガ No86 の配信

7. 学術 (今出)

- (1) 第33回日本診療放射線技師学術大会の視察を行った。
 - ア. 日時:平成29年9月22日から24日(日)
 - イ. 場所:函館市民会館および函館アリーナ
 - ウ. 添付資料① 視察報告書
- (2) 救急(BLS)セミナーを開催した。
 - ア. 日時:平成29年9月28日(金) 19:00から
 - イ. 場所:浦和コミュニティセンター 13会議室
 - ウ. 添付資料② 開催報告
- (3) 第3回学術委員会を開催した。
 - ア. 日時:平成29年10月4日(水) 19:00から
 - イ. 場所:技師会事務所 2F 会議室
 - ウ. 添付資料③ 議事録

8. 公益 (佐々木)

- (1) 埼玉県内における DRL 調査について報告した。
 - ア. アンケートをホームページからダウンロード可能。
 - イ. 第二支部勉強会:平成29年11月30日
- (2) 放射線特別授業について報告した。
 - ア. 田中会長と県教育委員会へ放射線特別授業について説明とお願いをした。

- (ア) 日程 平成 29 年 9 月 5 日
- イ. 准講師養成講習会を開催した。
 - (ア) 日時：平成 29 年 10 月 23 日 (月)
19:00 から
 - (イ) 場所：技師会事務所 2F 会議室
 - (ウ) 受講者：7 人
- (3) リレーフォーライフ川越に参加した。
 - ア. 日時：平成 29 年 9 月 16 日
13:00 から 17 日 13:00
- (4) 被ばく相談について報告した。
 - ア. 平成 29 年 10 月：1 件

9. 公益 (芦葉)

- (1) 放射線特別授業 准講師養成講習会に参加した。
 - ア. 日時：平成 29 年 10 月 23 日 (月)
 - イ. 場所：技師会事務所
- (2) 松山高等学校で放射線特別授業の申し込みがあった。
 - ア. 日時：平成 29 年 11 月 29 日 (水)
11:50 から 12:40

10. 財務 (潮田)

- (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
 - ア. 日程：平成 29 年 10 月 26 日 (金)

11. 第一支部 (双木)

- (1) 救急セミナーを開催した。
 - ア. 日時：平成 29 年 9 月 29 日 (金)
19:00 から 21:00
 - イ. 場所：浦和コミュニティセンター 13 集会室
 - ウ. 内容：BLS 講習
 - エ. 参加人数：会員 12 人、非会員 2 人
- (2) 今後の開催予定を報告した。
 - ア. 浦和区健康まつり 2017
 - (ア) 日時：平成 29 年 11 月 5 日 (日)
10:00 から 15:00
 - (イ) 場所：浦和コミュニティセンター
 - イ. 支部合同勉強会
 - (ア) 日時：平成 29 年 11 月 18 日
 - (イ) 場所：四季の湯温泉ホテルヘリテージ

12. 第二支部 (大西)

- (1) 第 4 回勉強会を開催した。
 - ア. 日時：平成 29 年 9 月 28 日 (木)
18:30 ~ 20:30
 - イ. 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
 - ウ. 参加者：26 人
 - エ. 内容
 - (ア) 製品紹
 - a. 「インプラントによる金属アーチファクト低減技術」
GE ヘルスケア MR 営業推進部 近江 公司
 - (イ) 講演テーマ「整形領域の撮影技術向上を目指して」
 - a. 一般撮影「膝関節立位荷重撮影について～X線所見の取り方から撮影条件の最適化まで～」
 - (a) 座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄
 - (b) 講師 上尾中央総合病院 洪江 美美香
 - b. CT「診療に役立つ膝関節 CT のススメ～撮影技術と再構成画像の提供～」
 - (c) 座長 越谷市立病院 村本 圭祐
 - (d) 講師 上尾中央総合病院 井田 篤
 - c. MRI「病変把握がポイント！手関節 MRI」
 - (e) 座長 トワーム小江戸病院 菅野 勝
 - (f) 講師 埼玉医科大学病院 堀切 直也
- (2) 第 5 回勉強会を開催した
 - ア. 日時：平成 29 年 10 月 26 日 (木)
18:30 ~ 20:30
 - イ. 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
 - ウ. 参加者：29 人
 - エ. 内容
 - (ア) 一般研究発表
 - a. 座長 川越胃腸病院 吉村 公一
埼玉石心会病院 庄谷 宗嗣
済生会川口総合病院 眞壁 耕平
 - b. コロンフォートにおける善処地の検討
三郷中央総合病院 市村 孝幸
 - c. PCI 支援ソフトウェアを用いた被ばく低減の検証
済生会川口総合病院 岡田 翔太

- d. 治療計画 CT における physiodynamics を用いた 4DCT の被ばく低減の基礎的検討
さいたま赤十字病院 池野 裕太
GE ヘルスケア MR 営業推進部
近江 公司
- (イ) 講演テーマ「CT 検査における医療安全～造影剤の適正使用について～」
- a. 座長 埼玉石心会病院 邨井 優大
b. 講師 第一三共株式会社 造影剤担当
手塚 一明
- (3) 今後の予定について報告した。
- ア. 平成 29 年度支部合同勉強会 in 熊谷
(ア) 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)
(イ) 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
- イ. 平成 29 年度第 6 回勉強会
(ア) 日時：平成 29 年 11 月 30 日 (木)
18:30 から
(イ) 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
- ウ. 骨軟部撮影セミナー 2018
(ア) 日時：平成 30 年 2 月 17 日 (土)
(イ) 場所：済生会川口総合病院 東館講堂
13. 第三支部 (山岸)
- (1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 川越に参加した。
ア. 日時：平成 29 年 9 月 16 日(土)～9 月 17 日(日)
イ. 場所：川越水上公園芝生広場
ウ. 参加人数：32 人 (第三支部会員)
- (2) 第 31 回川越市健康まつり 第 3 回実行委員会に参加した。
ア. 日時：平成 29 年 9 月 26 日 (火) 13:15～
イ. 場所：川越市総合保健センター
ウ. 参加者：20 人
- (3) 第 3 地区ボウリング大会を開催した。
ア. 日時：平成 29 年 10 月 13 日 (金) 19:30～
イ. 会場：川越ボウリングセンター
ウ. 参加者：28 人
- (4) 第 4 回役員会を開催した。
ア. 日時：平成 29 年 10 月 13 日 (火)
21:00～21:40
イ. 会場：川越ボウリングセンター内 会議室
- ウ. 参加者：7 人
エ. 内容：ボウリング大会反省会、支部合同勉強会、川越市健康まつり
- (5) 第 31 回川越市健康まつりに参加した。
ア. 日時：平成 29 年 10 月 29 日 (日)
10:00～15:00
イ. 会場：ウエスタ川越 多目的ホール
ウ. 参加者：10 人 来場者：約 287 人 (医用画像展)
エ. 内容：医療画像展の開催
- (6) 第 3 回埼玉 CT コロノグラフィミーティング
ア. 日時：平成 29 年 11 月 2 日 (水)
19:00～21:15
イ. 場所：ウエスタ川越
- (7) 今後の予定を報告した。
ア. 支部合同勉強会
(ア) 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)
(イ) 場所：四季の湯温泉ホテルヘリテージ
14. 第四支部 (齋藤)
- (1) 第 4 支部 勉強会
ア. 日時：平成 29 年 9 月 14 日 (木) 18:30～
イ. 場所：さくらめいと 第 1 会議室
内容：椎体領域 MRI について「症例検討」
座長 小川赤十字病院 山田 伸司 氏
(ア) 転移性脊椎腫瘍 深谷赤十字病院 富田 欣治 氏
(イ) 圧迫骨折 羽生総合病院 鯨井 昇 氏
(ウ) 椎間板ヘルニア 小川赤十字病院 高井 太市 氏
(エ) 椎体の基礎～骨化症について～熊谷総合病院 田中 智大 氏
エ. 参加者：61 人
- (2) 第 4 支部 役員会
ア. 日時：平成 29 年 9 月 14 日 (木) 20:30～
イ. 場所：さくらめいと 第 1 会議室
ウ. 内容：深谷健康まつり、支部合同勉強会、忘年会など
エ. 参加者：7 人
- (3) 石川昇氏 瑞宝双光章受章祝賀会
ア. 日時：平成 29 年 9 月 16 日 (土) 18:00～

- イ. 場所：熊谷市銀座 1-64 マロウドイン熊谷「飛天」
- ウ. 参加者：139人
- (4) 平成29年度 第12回 医療画像展「深谷市福祉健康まつり」
- ア. 日時：平成29年10月29日(日)
10:00～15:00
- イ. 場所：深谷市総合体育館およびその周辺
- ウ. 内容：台風のため中止
- (5) 今後の予定を報告した。
- ア. 支部合同勉強会 in 熊谷
- (ア) 日時：平成29年11月18日(土)
12:30～
- (イ) 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
- イ. 第4支部忘年会
- (ア) 日時：平成29年12月1日(金)
19:00～
- (イ) 場所：マロウドイン熊谷
- ウ. 医療画像展「行田市健康フォーラム2017」
- (ア) 日時：平成29年12月3日
10:30～16:00
- (イ) 場所：行田市「みらい」ホール
- エ. 第4支部 勉強会
- (ア) 日時：平成30年1月25日(木)
18:30～21:00
- (イ) 場所：さくらめいと 第1会議室
- オ. 第4支部 役員会
- (ア) 日時：平成30年1月25日(木)
21:00～21:30
- (イ) 場所：さくらめいと 第1会議室
- カ. 平成29年度 第四支部 監査会
- (ア) 日時：平成30年2月23日(金)
18:30～
- (イ) 場所：熊谷総合病院
- キ. 第4回支部勉強会・平成29年度第四支部総会
- (ア) 日時：平成30年3月15日(木)
18:30～20:00
- (イ) 場所：さくらめいと 第1会議室
- (ウ) 講演内容：技師会連盟について(仮)
- 定期総会
15. 第五支部(矢崎)
- (1) 支部情報交換会を開催した。
- ア. 日時：平成29年9月28日(木)
- イ. 場所：春日部市市民活動センター 4F 会議室
- ウ. 内容：「シーメンス最新動向 マンモグラフィーおよび乳腺エコー」
- シーメンス ヘルスケア株式会社
マンモグラフィー
X-P 事業部 山田 恭子 氏
乳腺エコー 超音波事業本部
西山 永峰 氏
- (2) 支部情報交換会を開催した。
- ア. 日時：平成29年10月26日(木)
- イ. 場所：春日部市市民活動センター 4F 会議室
- ウ. 内容：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
- MRI：最新技術の紹介 画質向上&短時間撮像
MR 製品担当 近江 公司 氏
CT：Revolution Up Date CT 製品担当
紫藤 尚利 氏
- (3) 医療画像展に参加した。
- ア. 日時：平成29年10月8日(日)
- イ. 場所：越谷市祭り(越谷市庁舎内)
- ウ. 内容：
- (ア) JART,SART パネル展示
- (イ) 乳房触診モデル(協力 三郷中央病院)による体験
- (ウ) 放射線治療機 模型展示
- (エ) 放射線霧箱の展示
- (オ) 3D ワークステーション展示(協力 アミン株式会社)
- (4) 今後の予定を報告した。
- ア. 支部情報交換会
- (ア) 日時：平成29年11月30日(木)
- (イ) 場所：春日部市市民活動センター
- イ. 支部情報交換会
- (ア) 日時：平成29年12月21日(木)
- (イ) 場所：春日部市市民活動センター
- ウ. 医療画像展 ぽぽらフェスティバル内
- (ア) 日時：平成29年12月9日(土)、10日(日)
- (イ) 場所：東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」

平成 29 年度 第 7 回理事会議事録 (抄)

- 日 時：平成 30 年 1 月 11 日 (木)
18:45 から 20:00
- 場 所：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会事務所
- 出 席 者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一、富田 博信
常務理事：今出 克利、八木沢 英樹、
佐々木 健、潮田 陽一、
城 處 洋輔
理 事：寺澤 和晶、山田 智子、
清水 邦昭、芦葉 弘志、
双木 邦博、大西 圭一、
山岸 正和、齋藤 幸夫、
矢崎 一郎、山口 明
監 事：
顧 問：小川 清
- 欠 席 者：橋本 里見、鈴木 正人、結城 朋子、
中根 淳
- ウ. テーマ：いのち、暮らし、尊厳を守り支える
地域連携に関するもの
エ. 演者：浦和メディカルセンター 宮澤浩治
2. 副会長 (堀江)
報告事項無し。
3. 副会長 (富田)
報告事項無し。
4. 総務 (結城)
(1) 平成 29 年度永年勤続表彰者の選出を行い、対象者へ関係書類を発送した。
(2) 今後の予定を報告した。
ア. 平成 30 年新春の集い
(ア) 日時：平成 30 年 1 月 12 日 (金)
19:00 より
(イ) 場所：大宮サンパレス GLANZ
イ. 平成 29 年度役員研修会
(ア) 日時：平成 30 年 2 月 9 日 (金)
19:00 より
(イ) 場所：埼玉県男女共同参画推進センター
視聴覚セミナー室
5. 総務 (城 處)
(1) 会員の計報による慶弔金 (2 万円) を郵送した。
(株) 不二産業勤務 齋藤 修一 さま
6. 編集・情報 (八木沢)
(1) 会誌 1 月 251 号について報告した。
ア. 発送予定：1 月 24 日 (水)
(2) 会誌 5 月 252 号について報告した。
ア. 原稿締め切り予定：平成 30 年 4 月 15 日 (火)
イ. 内容
(ア) 第 7 回総会資料
(イ) 誌上講座
a. 整形外科領域の撮影技術向上を目指して
「Talbot-Lau 干渉計 X 線撮影装置による
臨床撮影」
埼玉医科大学病院 仁藤 真吾
b. 「精査施設における乳房トモシンセシス活
- 第 1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について**
議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
議事録作成人 城 處 洋輔
と定めた。
- 第 2. 報告及び確認事項**
1. 会長 (田中)
(1) 第 30 回日本消化器画像診断情報研究会千葉大会の名義後援を承認した。
ア. 日時：平成 30 年 2 月 24 日 (土)
イ. 場所：幕張国際研修センター
(2) 第 17 回臨床工学セミナーの名義後援を承認した。
ア. 日時：平成 30 年 3 月 4 日 (日)
イ. 場所：大宮ソニックシティ
(3) 一般社団法人日本公衆衛生協会会長表彰に、諸澄 邦彦、新井 均の 2 人が受賞した。
(4) 日本医療マネジメント学会第 7 回埼玉支部学術集会へポスター演題を出すことに決定した。
ア. 日時：平成 30 年 3 月 18 日
イ. 場所：公益社団法人埼玉県看護研修センター (西大宮)

- 用とみえてきた課題（仮）」
 埼玉医科大学総合医療センター 杉村 瞳
- c. 「MRI 性能評価」スライス厚の測定
 埼玉県済生会栗橋病院 渡邊 城大
- d. 骨軟部撮影セミナー 2017（4人）
 「THA 術前計画における股関節 30 度内旋位 PA 撮影の検討」
 さいたま赤十字病院 大河原 侑司
 「ACS 患者を対象としたアキレス腱の撮影意義と撮影方法について」
 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 「Dual Energy CT を用いた乾癆性関節炎の画像評価」
 東京慈恵会医科大学附属病院 宮崎 健吾
 「日々の撮影に活かしたい骨軟部診断の知識～読影医の視点から～」
 埼玉医科大学病院 竹澤 佳由 先生
- (3) ホームページ新着情報について報告した。
 ア. 「新着情報」掲載順序の変更について
 各記事は「投稿日 - 記事見出し - 開催日」の順で表示
 例) 2018-01-10 @@@@セミナー開催のお知らせ (2018-02-01)
 システム変更見積もり：43,200 円
- (4) 委員会の予定について報告した。
 ア. 編集・情報
 (ア) 日程
 a. 第 5 回 平成 30 年 2 月 8 日（木）
 b. 第 6 回 平成 30 年 3 月 9 日（金）
 c. 第 1 回 平成 30 年 6 月 5 日（火）
 (イ) 場所：技師会事務所 2F
 (ウ) 時間：19 時から
- イ. 企画班
 (ア) 日程
 a. 第 4 回 平成 30 年 3 月 16 日（金）
 b. 第 1 回 平成 30 年 5 月 10 日（木）
 c. 第 2 回 平成 30 年 8 月 9 日（木）
 d. 第 3 回 平成 30 年 11 月 8 日（木）
 (イ) 場所：技師会事務所 2F
 (ウ) 時間：19 時 30 分から
- ウ. 演題エントリーシステム委員会
 (ア) 日程
 a. 第 2 回 平成 30 年 1 月 17 日（水）
- b. 第 3 回 平成 30 年 2 月 7 日（水）
 (イ) 場所：技師会事務所 2F
 (ウ) 時間：19 時から
7. 編集・情報（清水）
 (1) 会員用 Web サイトについて掲載および更新を行った。
 ア. 第 52 回 埼玉消化管撮影研究会
 イ. 第四支部 忘年会のお知らせ
 ウ. 第 39 回 ソニック CT カンファレンス
 エ. 第五支部情報交換会のお知らせ
 オ. 会誌埼玉放射線 バックナンバー 246 号
 カ. 平成 30 年『新春の集い』のご案内
 キ. 第 40 回 SAITAMA MRI Conference のご案内
 ク. 乳がん検診について
 ケ. 胸部認定試験のご案内
 コ. 第五支部情報交換会のお知らせ
 サ. 第 4 回救急撮影ケーススタディ公開と入力フォームの作成
 シ. [循研] 循環器画像技術研究会
 ス. 冠動脈模型作成セミナー
 セ. 「3D 画像による人体解剖学体験」募集のホームページ入力フォーム作成
 ソ. 第四支部第 3 回勉強会のお知らせ
 タ. 第 62 回 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内
 チ. 平成 29 年度 SART 支部合同勉強会骨軟部撮影セミナー 2018
 ツ. 第五支部情報交換会のお知らせ
- (2) 一般用 Web サイトについて掲載および更新を行った。
 ア. 会誌埼玉放射線 バックナンバー 246 号
- (3) メールマガジンについて以下の作業を行った。
 ア. メルマガ No87 の配信
 イ. メルマガ登録 2 件
8. 学術（今出）
 (1) 第 4 回学術委員会を開催した。
 ア. 日時：平成 29 年 12 月 4 日（水）19:00～
 イ. 場所：技師会センター 2 階会議室
 ウ. 添付資料① 第 4 回 学術委員会議事録
- (2) 各種（認定）講習会の進捗状況を報告した。

- ア. MRI 検査講習会 (JART 主催の基礎技術講習会)
- (ア) 日時:平成 29 年 11 月 12 日 (日)
 - (イ) 場所:済生会川口総合病院
 - (ウ) 参加者:63 人
 - (エ) 添付資料②参照
- イ. Freed セミナー
- (ア) 日時:平成 29 年 12 月 2 日 (土)
 - (イ) 場所:上尾中央総合病院
 - (ウ) 参加者:27 人
 - (エ) 添付資料③参照
- ウ. 胸部認定講習会
- (ア) 日時:平成 29 年 12 月 3 日 (日)
 - (イ) 上尾中央総合病院
 - (ウ) 参加者:21 人
 - (エ) 添付資料④参照
9. 公益 (佐々木)
- (1) 埼玉県内における DRL 調査について報告した。
 - ア. 現在、11 施設から回答あり。(目標 60 施設)
 - イ. アンケートをホームページからダウンロード可能
 - (2) 放射線特別授業を開催した。
 - ア. 11 月 29 日に松山高等学校にて特別授業を行った
 - イ. 正講師:佐々木、准講師:坂本、見学者:紀陸
 - (3) 埼玉県診療放射線技師学術大会について報告した。
 - ア. 3D 画像による人体解剖学体験企画案提出
 - (ア) 1 月の理事会後に会員へ配信
 - (イ) (株) アミンさまへワークステーション貸出願を送る
 - (ウ) さいたま市教育委員会を通じ、市内小中学校 170 校に案内文とポスターを配布
 - イ. 「診療放射線技師の検査説明」シンポジウム企画案提出
 - (ア) 学術大会プログラム委員会にて業務拡大シンポジウムと類似すること、公益委員は人体解剖学体験企画に尽力することを理由に見送りとなった
10. 公益 (芦葉)
- (1) 松山高等学校で放射線特別授業を行った。
 - ア. 日時 平成 29 年 11 月 29 日水曜日 11:50 ~ 12:40
 - イ. 担当教諭 大澤 先生
 - ウ. 講師 上尾中央総合病院 佐々木 健
 - エ. 准講師 深谷赤十字病院 坂本 里紗
 - オ. 准講師候補 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
11. 財務 (潮田)
- (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
 - ア. 日程:平成 29 年 12 月 29 日 (金)
12. 第一支部 (双木)
- (1) 浦和区健康まつり 2017 に参加した。
 - ア. 日時:平成 29 年 11 月 5 日 (日) 10:00 ~ 15:00
 - イ. 場所:浦和コミュニティセンター
 - ウ. 参加者:17 人
 - エ. 測定人数:402 人
 - (2) 支部合同勉強会を開催した。
 - ア. 日時:平成 29 年 11 月 18 日 (土)
 - イ. 場所:四季の湯温泉ホテルヘリテイジ
 - (3) 地区役員会を開催した。
 - ア. 日時:平成 29 年 11 月 7 日 (火) 19:00 ~
 - イ. 場所:JCHO 埼玉メディカルセンター
 - ウ. 出席者:9 人
 - (4) 今後の予定を報告した。
 - ア. 第 2 回地区勉強会
 - (ア) 日時:平成 30 年 1 月 26 日 (金) 19:00 ~
 - (イ) 場所:浦和コミュニティセンター 15 集会室
 - イ. 第 3 回地区勉強会&会計報告
 - (ア) 日時:平成 30 年 3 月 13 日 (火) 19:00 ~
 - (イ) 場所:浦和コミュニティセンター 13 集会室
13. 第二支部 (大西)
- (1) 平成 29 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷を開催した。
 - ア. 日時:平成 29 年 11 月 18 日 (土) 13:00 ~ 18:00
 - イ. 場所:森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテイジ
 - ウ. 参加者:142 人
 - エ. 内容

(ア) 支部合同症例検討会「読影力アップでスキルアップ」

a. オブザーバー 小川赤十字病院

田中 達也

上尾中央総合病院 金野 元樹

AIC 八重洲クリニック 館林 正樹

埼玉県済生会川口総合病院 土田 拓治

b. コメンテーター

彩の国東大宮メディカル センター

茂木 雅和

c. 座長 埼玉県済生会川口総合病院

鈴木 友里

イムス三芳総合病院 上野 浩輝

埼玉医科大学総合医療センター 細井 慎介

熊谷総合病院 吉田 敦

獨協医科大学埼玉医療センター 天早 峻

指扇病院 石川 直哉

d. 頭頸部外傷性疾患 (第一支部)

埼玉県済生会川口総合病院 戸澤 僚太

e. 頭頸部内因性疾患 (第二支部)

イムス三芳総合病院 高田 博邦

f. 胸腹部外傷性疾患 (第三支部)

埼玉医科大学国際医療センター 小濱 大

g. 乳腺疾患 (第四支部)

熊谷総合病院 亀山 枝里

h. 腹部内因性疾患 (第五支部)

越谷市立病院 村本 圭祐

i. 肝疾患 (第六支部)

彩の国東大宮メディカル センター 小野寺将真

(イ) 技師講演「被ばく線量気にしていますか？
～線量管理してありますか～」

a. 座長 上尾中央総合病院 吉澤 俊祐

b. 「被ばく低減施設認定～認定前と認定後の
職員の意識～」

小川赤十字病院 高井 太市

三郷中央総合病院 長坂 純

c. 「線量管理ツールの一例 (CT 編) と実践
～ドーズウォッチの使用経験～」

上尾中央総合病院 内田 瑛基

d. 「DRL 調査のアンケート結果報告と今後」

埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人

(ウ) 特別講演

a. 座長 埼玉県済生会川口総合病院

森 一也

上尾中央総合病院 仲西 一真

b. 「若いうちに身につけておきたいデザイン
思考」

埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

(2) 第6回勉強会を開催した。

ア. 日時：平成29年11月30日 (木)

19:00～20:30

イ. 場所：国立障害者リハビリテーションセンター

ウ. 参加者：18人

エ. 内容

(ア) 教育講演「明日から実践しよう～当院にお
ける医療安全への取り組み～」

a. 座長 埼玉県済生会川口総合病院

眞壁 耕平

上尾中央総合病院 高橋 康昭

b. 「放射線治療」

埼玉医科大学病院 小堺 裕章

c. 「消化管検査」

行田中央総合病院 浅見 純一

(イ) 特別講演

a. 座長 三郷中央総合病院 長坂 純

b. 「DRL を知り撮影線量最適化を図ろう！」

埼玉県済生会栗橋病院

内海 将人

(3) 今後の予定を報告した。

ア. 骨軟部撮影セミナー2018

(ア) 日時：平成30年2月17日 (土) 10:00～

(イ) 場所：済生会川口総合病院 東館講堂

イ. 平成30年度第1回勉強会

(ア) 日時：平成30年4月26日 (木) 18:30～

(イ) 場所：国立障害者リハビリテーションセンター

ウ. 平成30年度第2回勉強会

(ア) 日時：平成30年5月24日 (木) 18:30～

(イ) 場所：国立障害者リハビリテーションセンター

エ. 平成30年度第3回勉強会

(ア) 日時：平成30年6月28日 (木) 18:30～

(イ) 場所：国立障害者リハビリテーションセンター

オ. 循環器CTセミナー2018

(ア) 日時：平成30年8月25日 (木) 10:30～

(イ) 場所：浦和コルソコミュニティプラザ

14. 第三支部 (山岸)

- (1) 支部合同勉強会を開催した。
- ア. 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)
- イ. 場所：四季の湯温泉ホテルヘリテイジ
- ウ. 内容：研究発表、講演、懇親会
- (2) 川越市健康まつり実行委員会 事業報告
- ア. 日時：平成 29 年 12 月 20 日 (水) 13:15 ~
- イ. 場所：川越市保健所 2 階大会議室
- ウ. 内容：第 31 回川越市健康まつり事業報告
実行委員会設置要綱改訂について
- (3) 今後の予定について報告した。
- ア. 第 3 地区役員会
- (ア) 日時：調整中
- (イ) 場所：埼玉医科大学国際医療センター 核
医学検査室
- (ウ) 内容：3 地区新年会について
第 3 回勉強会について
平成 29 年度総会について
- イ. 平成 30 年新春の集い
- (ア) 日時：平成 30 年 1 月 12 日 (金)
- (イ) 場所：ベルヴィ大宮サンパレス グランツ
ストーリーア
- ウ. 第三地区新年会
- (ア) 日時：平成 30 年 1 月 27 日 (土)
- (イ) 会場：エルミタージュ 川越市
- (ウ) 参加人数：40 人 (予定)
- (エ) 内容：会員の親睦を深める
- エ. 第 3 回勉強会総会
- (ア) 日時：平成 30 年 3 月 16 日 (金)
- (イ) 場所：ウエスタ川越
- (ウ) 内容：勉強会 (未定)、総会
15. 第四支部 (齋藤)
- (1) 支部合同勉強会 in 熊谷を開催した。
- ア. 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土) 12:30 ~
- イ. 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘ
リテイジ
〒360-0103 埼玉県熊谷市小江川 228
TEL: 048-536-1212
FAX: 048-536-5927
- ウ. 講演内容：
- (ア) 開会あいさつ 第二支部理事 大西 圭一
- (イ) 支部合同症例検討会『読影力アップでスキ
ルアップ』
- コメンテーター 彩の国東大宮 M.C
茂木 雅和
- 支部座長
- 第一支部 埼玉県済生会川口総合病院
鈴木 友理
- 第二支部 イムス三芳総合病院
上野 浩輝
- 第三支部 埼玉医科大学総合医療センター
細井 慎介
- 第四支部 熊谷総合病院
吉田 敦
- 第五支部 獨協医科大学越谷病院
天早 峻
- 第六支部 指扇病院
石川 直哉
- 講師
- 第一支部 埼玉県済生会川口総合病院
戸澤 僚太
- 第二支部 イムス三芳総合病院
高田 博邦
- 第三支部 埼玉医科大学総合医療センター
小濱 大
- 第四支部 熊谷総合病院
亀山 枝里
- 第五支部 越谷市立病院
村本 圭祐
- 第六支部 彩の国東大宮メディカルセンター
小野寺将真
- (ウ) 技師講演
- 座長 上尾中央総合病院 吉澤 俊祐
『被ばく線量気にしていますか? ~線量管理
してますか~』
- 壱. 被ばく低減施設認定~認定前と認定後の
職員の意識~
小川赤十字病院 高井 太市
三郷中央総合病院 長坂 純
- 弐. 線量管理ツールの一例 (CT 編) と実践
~ドーズウォッチの使用経験~
上尾中央総合病院 内田 瑛基
- 参. 埼玉版 DRL のアンケート調査と今後
埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人
- (エ) 特別講演

座長 埼玉県済生会川口総合病院

森 一也

上尾中央総合病院 仲西 一真

『若いうちに身につけておきたいデザイン
思考』

埼玉医科大学総合医療センター

中根 淳

(オ) 閉会挨拶 第六支部理事 山口 明

(カ) 合同勉強会懇親会

司会進行 根岸 亮平

(キ) 参加者：142人

(2) 第四支部忘年会を開催した。

ア. 日時：平成29年12月1日(金) 19:00～

イ. 場所：マロウドイン熊谷

ウ. 参加者：86人

(3) 医療画像展「行田市健康フォーラム2017」に
参加した。

ア. 日時：平成29年12月3日(日)

10:00～16:00

イ. 場所：行田市「みらい」ホール

ウ. 内容：パネル展示、骨密度測定、被ばく相談

エ. 来場者：

a. 骨密度測定、パネル展示：100人

b. 被ばく相談：0人

(4) 今後の予定を報告した。

ア. 第四支部 勉強会

(ア) 日時：平成30年1月25日(木)

18:30～21:00

(イ) 場所：さくらめいと 第1会議室

(ウ) 内容：CT

a. Ziostation2 最新技術紹介

アミン株式会社 手島 祥吾

座長 羽生総合病院 大野 渉

b. Revolution CT における Snap shot
Freeze と Smart Phase の有用性

熊谷総合病院 小貝 将之

c. Revolution HD 使用経験

深谷赤十字病院 齋藤 幸夫

d. Small Giants Of An Offensive CT Room
～攻めのCT室～

小川赤十字病院 田中 達也

イ. 第四支部 役員会

(ア) 日時：平成30年1月25日(木)

21:00～21:30

(イ) 場所：さくらめいと 第1会議室

ウ. 平成29年度 第四支部 監査会

(ア) 日時：平成30年2月23日(金) 18:30～

(イ) 場所：熊谷総合病院

エ. 第4回支部勉強会・平成29年度第四支部総会

(ア) 日時：平成30年3月15日(木)

18:30～20:00

(イ) 場所：さくらめいと 第1会議室

(ウ) 講演内容：技師会連盟について(仮)

定期総会

16. 第五支部(矢崎)

(1) 支部情報交換会を開催した。

ア. 日時：平成29年11月30日(木)

イ. 場所：春日部市民活動センター 4F

ウ. 内容：最新CT情報のご紹介

東芝メディカルシステムズ(株) 関東支社営
業推進部 CT担当

穴見 和寛

脳卒中における当院の治療方法と院内体制

草加市立病院医療技術部放射線科

町永 努

3DFSEを用いた頸動脈プラーク撮像での脂肪
抑制法の検討

草加市立病院医療技術部放射線科

加藤 広一

(2) 支部情報交換会を開催した。

ア. 日時：平成29年12月14日(木)

イ. 場所：春日部市民活動センター 4F

ウ. 内容：当院における放射線治療について

新久喜総合病院 医療技術部 放射線科

茅野 将吾

image Jを用いたIGRT中心軸測定のQAに
ついて

新久喜総合病院 医療技術部 放射線科

石原 優希

(3) 医療画像展に参加した。

ア. 日時：平成29年12月9, 10日(土、日)

イ. 場所：春日部市民活動センター(ふれあい
キューブ)

ウ. 内容：

(ア) JART,SART パネル展示

- (イ) 放射線治療機 模型展示
- (ウ) 放射線霧箱の展示
- (エ) 3D ワークステーション展示 (協力 アミン株式会社)
- エ. 実行委員：矢崎 一郎 春日部市医療センター
 真壁 耕平 済生会川口総合病院
 矢部 智 越谷市立病院
 金子 初穂 春日部市医療センター
 中嶋 幸孝 春日部市医療センター
 長坂 純 三郷中央総合病院
 栗田 幸喜 済生会栗橋病院
 石原 優希 新久喜総合病院

17. 第六支部 (山口)

- (1) 平成 29 年度 支部合同勉強会 in くまがやを開催した。
 - ア. 日時 平成 29 年 11 月 18 日 (土)
 - イ. 場所 ホテルヘリテイジ 四季の湯温泉
 - (ア) 支部合同症例検討会『読影力アップでスキルアップ』
 - (イ) 技師講演『被ばく線量気にしていますか? ~線量管理してますか~』
 - (ウ) 特別講演『若いうちに身につけておきたいデザイン思考』
 - (エ) 参加人数 142 人
- (2) 忘年会を開催した。
 - ア. 日時 平成 29 年 11 月 30 日 (木)
 - イ. 場所 『CONA 大宮店』
 - ウ. 参加者 40 人
- (3) 今後の予定を報告した。
 - ア. 第 3 回支部役員会
 - (ア) 日時 平成 30 年 1 月 18 日 (木)
 - (イ) 場所 埼玉県立小児医療センター 会議室 6-1
 - (ウ) 内容 第六支部・地区総会および第 3 回講習会について

第 3. 審議・承認事項

1. 賛助会員特典の変更について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-33) (承認)
2. 講師謝礼に関する規程変更について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-34) (承認)
3. 旅費および日当等支払規程変更について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-35) (継続審議)
4. ホームページ「新着情報」掲載順番変更について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-36) (継続審議)
5. フレッシュャーズセミナー (第 20 回 SART セミナー) の開催について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-37) (承認)
6. 新入会員 (1 月 10 日現在) の承認について、審議し承認した。(議案書番号：理-38) (承認)

配布資料 (メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 総務資料
- (3) 財務資料
- (4) 編集・情報委員会資料
- (5) 学術委員会資料
- (6) 公益委員会資料
- (7) 各支部資料 (第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部)
- (8) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

平成 30 年 1 月 11 日 (木)

議事録署名人

平成 29 年度 第 8 回理事会議事録 (抄)

日 時：平成 30 年 3 月 1 日 (木)
18:45 から 20:00

場 所：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会事務所

出席者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一、
常務理事：今出 克利、八木沢 英樹、
佐々木 健、潮田 陽一、
結城 朋子、城處 洋輔
理 事：寺澤 和晶、山田 智子、
清水 邦昭、芦葉 弘志、
大西 圭一、山岸 正和、
齋藤 幸夫、矢崎 一郎、
山口 明、中根 淳
監 事：橋本 里見
顧 問：小川 清

欠 席 者：鈴木 正人、富田 博信、双木 邦博

ア. 日時：平成 30 年 1 月 27 日 (土)
イ. 場所：さいたま市大宮区吉敷町

(6) 第 3 回埼玉県医師会新年会に出席
ア. 日時：平成 30 年 2 月 3 日 (土)
イ. 場所：大宮パレスホテル

(7) 三ツ林代議士の新年会に参加
ア. 日時：平成 30 年 2 月 11 日 (日)
イ. 場所：幸手

(8) 第 4 回埼玉県大腸 CT 研究会の名義後援を承認した。
ア. 日時：平成 30 年 5 月 12 日 (木)
イ. 場所：ウェスタ川越

(9) 以下の 2 人が学術委員に選任された。
埼玉県立小児医療センター 放射線技術部 持田 朋之
埼玉県立小児医療センター 放射線技術部 佐藤 克哉

第 1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について

議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、橋本 里見
議事録作成人 城處 洋輔
と定めた。

2. 副会長 (堀江)

(1) 日本診療放射線技師会から請求してもらう本会費のリストを作成し、内容のチェックと日本診療放射線技師会への送信を事務員に依頼した。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長 (田中)

- (1) (公社) 埼玉県看護協会の新年会に富田副会長が参加した。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 13 日 (土)
イ. 場所：プリランテ
- (2) 公明党新年会に芦葉理事が参加した。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 22 日 (月)
イ. 場所：浦和ロイヤルパインズ
- (3) さいたま市小中学校 160 校宛の市民公開講座案内をさいたま市役所教育委員会へ配布のお願いをした。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 22 日 (月)
イ. 場所：さいたま市教育委員会 (さいたま市役所 9F)
- (4) 第 35 回日本診療放射線技師学術大会視察を行った。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 17 日
イ. 場所：ホテルプリランテ、大宮ソニックシティ
- (5) 藤井たけし県議会議員と面会した。

3. 副会長 (富田)

報告事項なし。

4. 総務 (結城)

- (1) 平成 29 年度永年勤続表彰対象者 (20 年、40 年) に申請書類を送付した。
- (2) 平成 30 年新春の集いを開催した。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 12 日 (金) 19:00 から
イ. 場所：大宮サンパレス グランツ
ウ. 参加者
会員：39 人
賛助会員：33 人
新入会員：21 人
- (3) 第 2 回表彰委員会に出席した。
ア. 日時：平成 30 年 1 月 29 日 (月) 19:00 から
イ. 場所：技師会事務所
- (4) 平成 29 年度役員研修会を開催した。
ア. 日時：平成 30 年 2 月 9 日 (金) 18:45 から
イ. 場所：with you さいたま男女共同参画センター 視聴覚室

- ウ. 内容：グループワーキング
- (5) 今後の予定を報告した。
- ア. 平成30年度理事会・常務理事会開催予定
 - (ア) 4月5日：常務理事会
 - (イ) 5月10日：理事会
 - (ウ) 6月7日：理事会
 - (エ) 7月5日：理事会
 - (オ) 8月2日：常務理事会
 - (カ) 9月6日：理事会
 - (キ) 10月4日：常務理事会
 - (ク) 11月1日：理事会
 - (ケ) 12月6日：常務理事会
 - (コ) 1月10日：理事会
 - (サ) 2月7日：常務理事会
 - (シ) 3月7日：理事会
- 5. 総務（城處）
 - (1) 業務拡大に伴う統一講習会の案内状を県内医療機関（287施設）に郵送した。
 - (2) 第35回日本診療放射線技師学術大会の名刺を作成した。
 - (3) JART主催基礎医療コース「看護学」を開催した。
 - ア. 日時：平成30年2月18日（日）
 - イ. 場所：済生会川口総合病院 東館講堂
 - ウ. 参加人数：29人
- 6. 編集・情報（八木沢）
 - (1) 会誌5月252号について報告した。
 - ア. 原稿締め切り予定：平成30年4月15日（火）
 - イ. 内容
 - (ア) 第7回総会資料
 - (イ) 誌上講座
 - a. 整形外科領域の撮影技術向上を目指して「Talbot-Lau 干渉計 X 線撮影装置による臨床撮影」
埼玉医科大学病院 仁藤 真吾
 - b. 「精査施設における乳房トモシンセシス活用とみえてきた課題（仮）」
埼玉医科大学総合医療センター 杉村 瞳
 - c. 「MRI性能評価」スライス厚の測定
埼玉県済生会栗橋病院 渡邊 城大
 - d. 骨軟部撮影セミナー2017（4人）
「THA術前計画における股関節30度内旋位PA撮影の検討」
さいたま赤十字病院 大河原 侑司
「ACS患者を対象としたアキレス腱の撮影

- 意義と撮影方法について」
所沢ハートセンター 柴 俊幸
「Dual Energy CTを用いた乾癆性関節炎の画像評価」
東京慈恵会医科大学附属病院 宮崎 健吾
「日々の撮影に活かしたい骨軟部診断の知識～読影医の視点から～」
埼玉医科大学病院 竹澤 佳由 先生
- (ウ) 求人広告
医療法人嬉泉会 春日部嬉泉病院
- (エ) 社名変更
(旧) 株式会社三田屋商事
(新) 株式会社三田屋製作所
- (オ) メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービス
更新パスワード掲載
- (2) 会誌原稿料増額について
 - ア. 現在の原稿料
著作物作成依頼規程により（執筆依頼に関する内部規程）
基本作成報酬として、原稿執筆に換算し1,000字まで3000円
それ以降、1,000字毎に1,000円
非会員の作成報酬に対して50%を割り増す。
(例) JART会誌：1ページ 5,000円で上限あり
 - イ. 2016年、2017年 お支払い原稿料
2016年 105,000円、2017年 189,000円
 - ウ. 原稿料変更案
会員：1,000字毎に2,500円 上限20,000円
非会員：埼玉県在住以外で非会員の場合、作成報酬に対して50%を割り増す。
- (3) ホームページについて報告した。
 - ア. 「新着情報」掲載順序変更について
 - (ア) 各記事は「投稿日 - 記事見出し - 開催日」の順で表示
例) 2018-01-10
@@@@セミナー開催のお知らせ(2018-02-01)
 - (イ) 「新着情報」と「イベント情報」二段組
見積もり43,200円（税込）
- (4) 各セミナー（勉強会）登録システム「登録フォーム管理システム」
見積もり666,420円（税込）
- (5) 編集情報関連委員会
 - ア. 編集・情報
 - (ア) 第6回 平成30年3月8日（木）
 - (イ) 第1回 平成30年6月5日（火）

- a. 場所：技師会事務所 2F
 - b. 時間：19時から
 - c. 内容：会誌企画・ホームページについて
- イ. 企画班
- (ア) 第4回 平成30年3月16日(金)
 - (イ) 第1回 平成30年5月17日(木)
 - (ウ) 第2回 平成30年8月9日(木)
 - (エ) 第3回 平成30年11月8日(木)
 - a. 場所：技師会事務所 2F
 - b. 時間：19:30から
 - c. 内容：会誌企画
- ウ. 演題エントリーシステム委員会
- (ア) 第2回 平成30年1月17日(水)
 - (イ) 第3回 平成30年2月7日(水)
 - a. 場所：技師会事務所 2F
 - b. 時間：19:00から
 - c. 内容：SART 学術大会2020年から「演題エントリーシステム」について
- (6) その他
- 2019年9月 日本診療放射線技師学術大会(埼玉県開催)にあたり、日本診療放射線技師会“ネットワークナウ”に2018年10月から「埼玉への道」を10回掲載予定。
7. 編集・情報(清水)
- (1) 会員用 Web サイトについて掲載および更新を行った。
 - ア. Smic (Saitama medical information conference) のお知らせ
 - イ. 平成29年度埼玉県診療放射線技師会認定試験 上部消化管検査認定試験開催お知らせ
 - ウ. 第34回 埼玉臨床画像研究会
 - エ. 第63回 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内
 - オ. 埼玉県診療放射線技師会永年勤続表彰候補者推薦について
 - カ. 学術大会ホームページ
(開催概要・大会プログラム・一般演題・大会ポスター・市民公開講座ポスター)
 - キ. 第4回 DR 計測セミナー申込期間の延長のお知らせ
 - ク. 第六支部 総会・定期講習会のお知らせ
 - ケ. 埼玉県診療放射線技師会主催学術講習会のお知らせ
 - コ. 業務拡大に伴う統一講習会(埼玉県 第9回)のお知らせ
 - サ. 平成29年度 第三地区勉強会・定時総会のお知らせ
 - シ. 会誌「埼玉放射線」バックナンバー 247号掲載
 - ス. 第4回勉強会および平成29年度 第四支部総会のご案内
 - (2) 一般用 Web サイトについて掲載および更新を行った。
 - ア. バックナンバー会誌埼玉放射線 247号
 - (3) メールマガジンについて以下の作業を行った。
 - ア. メルマガ No88 の配信
 - イ. メルマガ登録3件
8. 学術(今出)
- (1) 第5回学術委員会を開催した。
 - ア. 日時：平成30年2月19日(水)
19:00～21:30
 - イ. 場所：技師会センター 2階会議室
 - ウ. 添付資料① 第5回学術委員会議事録
 - (2) 各種(認定)講習会の進捗状況を報告した。
 - ア. 平成29年度乳腺セミナー
 - (ア) 日時：平成30年1月15日(日)
 - (イ) 場所：さいたま赤十字病院
 - (ウ) 参加人数：37人
 - (エ) 参考資料：添付資料② 平成29年度乳腺セミナー開催報告
 - イ. CT 認定講習会
 - (ア) 日時：平成30年1月21日(日)
 - (イ) 場所：済生会川口総合病院
 - (ウ) 参加人数：38人
 - (エ) 参考資料：添付資料③ 平成29年度 第9回 CT 認定講習会
 - ウ. 胸部認定試験
 - (ア) 日時：平成30年1月27日(土)
 - (イ) 場所：技師会センター 2階会議室
 - (ウ) 参加人数：20人
 - (エ) 参考資料：添付資料④ 平成29年度第16回胸部認定試験開催報告
 - エ. 上部消化管検査認定講習会
 - (ア) 日時：平成30年1月28日(日)
 - (イ) 場所：さいたま赤十字病院
 - (ウ) 参加人数：21人
 - (エ) 参考資料：添付資料⑤ 平成29年度第17回上部消化管検査認定講習会開催報告
 - オ. DR 計測セミナー
 - (ア) 日時：平成30年2月4日(日)

- (イ) 場所：済生会川口総合病院
 (ウ) 参加人数：9人
 (エ) 参考資料：添付資料⑥ 第4回DR計測セミナー開催報告
- カ. CT 認定試験
 (ア) 日時：平成30年2月16日(金)
 (イ) 場所：浦和コミュニティセンター 10階 IT研修室
 (ウ) 参加人数：14人
 (エ) 参考資料：添付資料⑦ 第9回CT認定試験開催報告
- キ. 上部消化管検査認定講習会
 (ア) 日時：平成30年2月18日(日)
 (イ) 場所：技師会センター 2階会議室
 (ウ) 参加人数：6人
- ク. 平成29年度第4回救急撮影ケーススタディー開催案内
 (ア) 日時：平成30年3月17日(土)
 (イ) 場所：さいたま赤十字病院
 (ウ) 参考資料：添付資料⑧ 平成29年度第4回救急撮影ケーススタディー開催案内
- ケ. 平成29年度 学術講演会 開催案内
 (ア) 日時：平成30年3月21日(木) 祝日
 (イ) 場所：大宮サンパレス
 (ウ) 参考資料：添付資料⑨ 平成29年度 学術講演会 開催案内
9. 公益 (佐々木)
 (1) 埼玉県内におけるDRL調査について報告した。
 ア. 現在、11施設から回答あり。(目標60施設)
 イ. アンケートをホームページからダウンロード可能。
 (2) 第2回公益委員会会議を開催した。
 ア. 日時：平成30年1月23日(火) 19:00から21:00
 イ. 場所：技師会センター2階
 ウ. 参加人数：出席者10人
 (3) 埼玉県診療放射線技師学術大会市民公開講座について
 ア. 平成30年1月22日(月)に田中会長と共にさいたま市役所へ訪問した。
 イ. SARTホームページより会員家族の事前申し込みを開始した。
 ウ. 当日は42インチモニタを2台レンタル。
 エ. 内容は議事録参照。
- オ. アミン(株)さまへワークステーション貸出願を送った。
10. 公益 (芦葉)
 報告事項なし。
11. 財務 (潮田)
 (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
 ア. 日時：平成30年1月31日(水)
 イ. 日時：平成30年2月24日(土)
12. 第一支部 (双木)
 (1) 第2回地区勉強会を開催した。
 ア. 日時：平成30年1月26日(金) 19:00～
 イ. 参加者：26人
 ウ. 内容：
 「アントンセンI法の撮影方法変更とその結果」
 東川口病院 後藤 敬明
 「トモシンセシスについて 装置概要と症例」
 東川口病院 鎌田 靖男
 「我々診療放射線技師に技師連盟は必要か？」
 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 副会長
 日本診療放射線技師連盟 理事
 富田 博信
 (2) 今後の予定を報告した。
 ア. 第3回地区勉強会&会計報告
 (ア) 日時：平成30年3月13日(火) 19:00～
 (イ) 場所：浦和コミュニティセンター 13集会室
 (ウ) 内容：
 「Azurion バイブレーション装置の頭部領域における有用性」
 IGT モダリティスペシャリスト 作田 啓太
 「Philips MR 最新鋭アプリケーションー頭部領域を中心にー(仮)」
 MR モダリティスペシャリスト 石田真 美子
 「脳血管内治療用デバイスの情報」
 日本ストライカー 盛 寛昌
 「川口市立医療センターの脳卒中の検査」
 川口市立医療センター 千代岡直家
13. 第二支部 (大西)
 (1) 骨軟部撮影セミナー2018を開催した。
 ア. 日時：平成30年2月17日(土) 10:00～18:30
 イ. 場所：済生会川口総合病院東館講堂
 ウ. 参加者：100人

エ. 内容:

- (ア) 一般演題 座長 船橋市立医療センター
石塚 瞬一
堀ノ内病院
小池 正行
- a. 「新しい画像処理パラメータの画質評価」
埼玉県済生会川口総合病院 内藤 完大
- b. 「当院における最大後屈撮影」
さいたま市立病院 金子 瑤平
- c. 「撮影室での安全な移乗～脊椎損傷者の
トランスファー～」
国立障害者リハビリテーションセンター
肥沼 武司
- d. 「整形外科領域における EI 値による至適
撮影条件の管理法」
埼玉県済生会川口総合病院 岡田 翔太
- e. 「重力ストレス撮影による 足関節回外外
旋骨折の評価」
上尾中央総合病院 茂木 大哉
- f. 「当院における全脊椎撮影」
獨協医科大学埼玉医療センター 宇津木 克弥
- (イ) メーカーセッション
座長 さいたま赤十字病院 大河原 侑司
- a. 富士フイルムメディカル株式会社
岡 律朗
- b. コニカミノルタジャパン 窪谷 大樹
- c. キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
伊藤 琢也
- (ウ) MRI セッション
座長 東京警察病院 古河 勇樹
- a. 「脊椎 MRI の基礎」
東京メディカルクリニック 荒木 智一
- b. 「日常検査から考える脊椎 MRI - 更なる
スキルアップのために -」
埼玉県済生会川口総合病院 丸 武史
- (エ) 小児撮影セッション
座長 さいたま赤十字病院 渡部 伸樹
- a. 「小児外傷撮影と固定方法」
埼玉県立小児医療センター 持田 朋之
- b. 「当院における小児全身骨撮影項目の検討
- 子ども虐待対応・医学診断ガイドをふま
えて -」
埼玉医科大学病院 新井 舞
- (オ) DR セッション 座長
獨協医科大学埼玉医療センター 高橋 利聡
- a. 「DRL を測定してみても～整形領域～」

- さいたま市立病院 福田 栞
- b. 「散乱線補正処理技術の活用法」
埼玉医科大学病院 堀切 直也
- (オ) 教育講演 座長
越谷市立病院 村本 圭祐
上尾中央総合病院 仲西 一真
- a. 「良肢位を考慮した肩関節撮影」
春日部市立医療センター 工藤 年男
- (カ) 特別講演 座長
埼玉県済生会川口総合病院 土田 拓治
- a. 「脊椎専門医からみた画像検査の役割」
埼玉県済生会川口総合病院
坂井 顕一郎 先生
- (2) 今後の予定を報告した。
- ア. 平成 30 年度第 1 回勉強会
(ア) 日時:平成 30 年 4 月 26 日 (木) 18:30～
(イ) 場所:国立障害者リハビリテーションセンター
- イ. 平成 30 年度第 2 回勉強会
(ア) 日時:平成 30 年 5 月 24 日 (木) 18:30～
(イ) 場所:国立障害者リハビリテーションセンター
- ウ. 平成 30 年度第 3 回勉強会
(ア) 日時:平成 30 年 6 月 28 日 (木) 18:30～
(イ) 場所:国立障害者リハビリテーションセンター
- エ. 循環器 CT セミナー 2018
(ア) 日時:平成 30 年 8 月 25 日 (木) 10:30～
(イ) 場所:浦和コルソコミュニティプラザ
- オ. 平成 30 年度第 4 回勉強会
(ア) 日時:平成 30 年 9 月 27 日 (木) 18:30～
(イ) 場所:国立障害者リハビリテーションセンター
- カ. 平成 30 年度第 5 回勉強会
(ア) 日時:平成 30 年 10 月 25 日 (木) 18:30～
(イ) 場所:国立障害者リハビリテーションセンター
- キ. 平成 30 年度支部合同勉強会 in 熊谷
(ア) 日時:平成 30 年 11 月 10 日 (土)
(イ) 場所:森林公園 四季の湯温泉 ホテル・
ヘリテイジ
- ク. 平成 30 年度第 6 回勉強会
(ア) 日時:平成 30 年 11 月 22 日 (木) 18:30～
(イ) 場所:国立障害者リハビリテーションセンター
14. 第三支部 (山岸)
- (1) 平成 30 年新春の集いに参加した。
ア. 日時:平成 30 年 1 月 12 (金)
イ. 場所:大宮サンパレス グランツ
- (2) 第 5 回第 3 地区役員会を開催した。
ア. 日時:平成 30 年 1 月 18 日 (木)

- 19:00～20:30
- イ. 場所: 埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室
- ウ. 内容: 3地区新年会について
第3回勉強会について
平成29年度総会について
- (3) 第三地区新年会を開催した。
- ア. 日時: 平成30年1月27日(土)
- イ. 会場: 川越市 エルミタージュ
- ウ. 参加人数: 39人
- エ. 内容: 会員の親睦を深める
- (4) 今後の予定を報告した。
- ア. 第3地区役員会
- (ア) 日時: 調整中
- (イ) 場所: 埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室
- (ウ) 内容: 平成29年度総会について
次年度事業計画について
- イ. 第3回勉強会、平成29年度総会
- (ア) 日時: 平成30年3月16日(金)
- (イ) 場所: ウエスタ川越
- (ウ) 内容: 平成29年度定時総会
第3回勉強会
メーカー講演 「コニカミノルタ画像処理エンジン REALISM の紹介」
コニカミノルタジャパン株式会社
村岡 丈到
技師講演 「散乱線補正処理技術の活用法」
埼玉医科大学病院 中央放射線部
堀切 直也
- ウ. 第4回埼玉県大腸CT研究会 in KAWAGOE
- (ア) 日時: 平成30年5月12日(土)
14:00～16:50
- (イ) 場所: ウエスタ川越
- (ウ) 内容: 大腸CTを中心に、消化管画像検査に携わる医療従事者を対象にレベルアップを目的とした研究会
テーマ「CTCをやってみよう」
15. 第四支部(齋藤)
- (1) 第四支部勉強会を開催した。
- ア. 日時: 平成30年1月25日(木)
18:30～21:00
- イ. 場所: さくらめいと 第1会議室
- ウ. 内容: CT 座長 羽生総合病院
大野 渉
- (ア) Revolution CTにおけるSnap shot FreezeとSmart Phaseの有用性
熊谷総合病院 小貝 将之
- (イ) Revolution HD 使用経験
深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
- (ウ) Small Giants Of An Offensive CT Room～攻めのCT室～
小川赤十字病院 田中 達也
- (エ) 参加者: 53人
- (2) 第四支部役員会を開催した。
- ア. 日時: 平成30年1月25日(木)
21:00～21:30
- イ. 場所: さくらめいと 第1会議室
- ウ. 参加者: 8人
- (3) 萩元孝氏公衆衛生功労知事表彰祝賀会を開催した。
- ア. 日時: 平成30年2月10日(土) 18:00～
- イ. 場所: 熊谷市銀座1-64 マロウドイン熊谷「飛天」
- ウ. 参加者: 66人
- (4) 平成29年度SART支部合同勉強会 骨軟部撮影セミナー2018
～更なるスキルアップを目指して～を開催した。
- ア. 日時: 平成30年2月17日(土)
9:50～18:30
- イ. 場所: 埼玉県川口市西川口5-11-5 済生会川口総合病院 講堂(B1)
- ウ. 参加者: 100人
- (5) 平成29年度第四支部監査会を開催した。
- ア. 日時: 平成30年2月23日(金) 19:00～
- イ. 場所: 熊谷総合病院
- ウ. 参加者: 10人
- (6) 今後の予定を報告した。
- ア. 第4回支部勉強会・平成29年度第四支部総会
- (ア) 日時: 平成30年3月15日(木)
19:00～20:30
- (イ) 場所: さくらめいと 第1会議室
- (ウ) 講演内容:
- a. 技師連盟の現状報告
深谷赤十字病院 放射線診断部
角田 喜彦
- b. 定期総会
16. 第五支部(矢崎)
- (1) 支部情報交換会を開催した。
- ア. 日時: 平成30年1月25日(木)

- イ. 場所：春日部市民活動センター 4F
 ウ. 内容：『読影力向上を目指して』
 (ア) 頭部領域：救急撮影の基礎～ 見逃したくない疾患
 越谷市立病院 放射線科 西村 美咲
 (イ) 乳腺領域：疾患読影の基礎～ 腫瘍性病変について
 越谷市立病院 放射線科 丸山 理子
 (ウ) 消化器領域：胃がんについて
 越谷市立病院 放射線科 日高 真道
- (2) 今後の予定を報告した。
 ア. 支部情報交換会
 (ア) 日時：平成 30 年 3 月 22 日 (木)
 (イ) 場所：春日部市民活動センター 4F
 イ. 支部情報交換会
 (ア) 日時：平成 30 年 4 月 26 日 (木)
 (イ) 場所：春日部市民活動センター 4F
17. 第六支部 (山口)
 (1) 第 3 回支部役員会を開催した。
 ア. 日時 平成 30 年 1 月 18 日 (木)
 イ. 場所 埼玉県立小児医療センター 会議室 6-1
 ウ. 内容 第六支部・地区総会および第 3 回講習会について
 エ. 参加人数 10 人
 (2) 骨軟部撮影セミナー (支部合同勉強会) を開催した。
 ア. 日時 平成 30 年 2 月 17 日 (土)
 イ. 場所 埼玉済生会川口総合病院
 ウ. 内容 『更なるスキルアップを目指して』
 エ. 参加人数 100 人
 (3) 今後の予定を報告した。
 ア. 平成 29 年度第六支部定期総会
 (ア) 日時 平成 30 年 3 月 8 日 (木)
 (イ) 場所 埼玉県立小児医療センター 8 階 地域医療教育センター
 (ウ) 内容 平成 29 年度事業・決算報告
 平成 29 年度事業・決算監査報告
 平成 30 年度事業計画案・予算案
 イ. 第 3 回第六支部定期講習会
 (ア) 日時 平成 30 年 3 月 8 日 (木)
 (イ) 場所 埼玉県立小児医療センター 8 階 地域医療教育センター
 (ウ) 内容 『発表スライドの作り方』
 講師 佐々木 健 上尾中央総合病院
 講師 森 一也 済生会川口総合病院

第 3. 審議・承認事項

- 第 21 回秩父市保健センターまつりにおける医療画像展の開催に際し、予算案および骨密度測定装置、展示パネル、のぼりの貸し出しについて、資料を基に審議した。(議案書番号：理-39) (承認)
- 平成 30 年度事業計画案について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-40) (承認)
- 埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会 (CT 編) の開催について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-41) (承認)
- 埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会 (乳腺領域) の開催について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-42) (承認)
- ホームページ「新着情報」の改修について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-43) (承認)
- ホームページ「登録フォーム管理システム」の改修について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-44) (継続審議)
- 会誌原稿料の変更について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-45) (継続審議)
- 新入会員の承認について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-46) (承認)
- 保有財産の用途について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-47) (継続審議)
- 平成 30 年度埼玉県診療放射線技師会予算について、資料を基に審議した。(議案書番号：理-48) (承認)

配布資料 (メール配信を含む)

- 会長資料
- 総務資料
- 財務資料
- 編集・情報委員会資料
- 学術委員会資料
- 公益委員会資料
- 各支部資料 (第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部)
- 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

平成 年 月 日 ()

議事録署名人

会員の動向

(平成 30 年 2 月 28 日現在)

平成 30 年 3 月 1 日承認

事由	技師会番号	氏名	施設名	支部No.
退会	357	三浦 修	東京白十字病院	2
新入会	1846	上野 史也	行田中央総合病院	4
再入会	1847	小林 政樹	なし	4
転入	1848	今村 雅彦	なし	4
退会	1625	松井 利憲	なし	5
転出	1383	荒木 智一	埼玉医科大学総合医療センター	3
転出	1638	内田 光	国立病院東京災害医療センター	1
新入会	1849	中嶋 千将	埼玉医科大学国際医療センター	3
新入会	1850	内田 美由貴	かわごえ駅前整形外科	3
新入会	1851	大杉 悠真	埼玉医科大学国際医療センター	3
新入会	1852	高橋 一真	埼玉医科大学総合医療センター	3
新入会	1853	福多 寛弥	埼玉医科大学総合医療センター	3
新入会	1854	菅野 綾香	佐々木病院	4
退会	361	栗原 亨	池袋病院	2
新入会	1855	宗形 慎也	高島平中央総合病院	6
再入会	1499	遠藤 弘貴	自治医科大学附属さいたま医療センター	6
退会	30	前林 森男		6
新入会	1856	高橋 裕太	埼玉医科大学国際医療センター	3
転出	1718	志田 拓哉	東京北医療センター	1
退会	971	鈴木 宏佳	ひろせクリニック	2
退会	151	橋本 正美	なし	6
退会	189	平野 幸夫	埼玉県立がんセンター	4
退会	314	立澤 正浩	医療法人幸正会 岩槻南病院	6
退会	184	長尾 潤	埼玉県立がんセンター	6
退会	752	木村 礼子		5
退会	100	星野 利文	東京電子専門学校	2
退会	197	関根 豊	杉並リハビリテーション病院	6
退会	110	松阪 宏夫	JCHO 埼玉メディカルセンター	1
退会	1532	野田 佳那		4

	人数	前回会員数 1272 人
会員数	1269 人	
新入会	9 人	平成 29 年度累計 83 人
再入会	2 人	平成 29 年度累計 5 人
転入	1 人	平成 29 年度累計 9 人
転出	3 人	平成 29 年度累計 8 人
退会	12 人	平成 29 年度累計 30 人

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

平成 29・30 年度役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	h-tanaka@sart.jp
副会長	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
副会長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
常務理事(総務)	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
常務理事(総務)	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
常務理事(財務)	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
常務理事(学術)	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
常務理事(編集・情報)	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
常務理事(公益)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
理事(学術)	山田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
理事(学術)	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院	048-852-1111	kazuaki-terasawa@sart.jp
理事(学術)	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
理事(編集・情報)	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
理事(公益)	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
理事(総務)第一支部	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
理事(総務)第二支部	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
理事(総務)第三支部	山岸 正和	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4111	masakazu-yamagishi@sart.jp
理事(総務)第四支部	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-saito@sart.jp
理事(総務)第五支部	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
理事(総務)第六支部	山口 明	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	akira-yamaguchi@sart.jp

監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	橋本 里見	JCHO 東京新宿メディカルセンター	03-3269-8111	s-hashimoto@sart.jp
監事	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp
顧問	小川 清			k-ogawa@sart.jp
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
副委員長	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
委員	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
委員	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	山岸 正和	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4111	masakazu-yamagishi@sart.jp
委員	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-saito@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	山口 明	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	akira-yamaguchi@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	t-tanaka@sart.jp
委員	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp
委員	佐々木 剛	埼玉医科大学病院	049-276-1264	tsuyoshi-sasaki@sart.jp

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
副委員長	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院	048-852-1111	kazuaki-terasawa@sart.jp
副委員長	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
副委員長	山田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
委員	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
委員	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
委員	土田 拓治	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-tsuchida@sart.jp
委員	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
委員	大森 正司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-omori@sart.jp
委員	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
委員	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	a-kondou@sart.jp
委員	滝口 泰徳	上尾中央総合病院	048-773-1111	y-takiguchi@sart.jp
委員	伊藤 寿哉	埼玉石心会病院	04-2953-6611	t-itou@sart.jp
委員	大根田 純	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	jun-oneda@sart.jp
委員	亀山 枝里	熊谷総合病院	048-521-0065	eri-kameyama@sart.jp
委員	佐藤 浩彰	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	hiroaki-sato@sart.jp
委員	持田 朋之	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	tomoyuki-mochida@sart.jp
委員	佐藤 克哉	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	katsuya-sato@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
副委員長	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学メディカルセンター	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	042-995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	大友 哲也	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	t-otomo@sart.jp
委員	吉田 敦	熊谷総合病院	048-521-0065	a-yoshida@sart.jp
委員	豊留 章裕	西大宮病院	048-644-0511	a-toyodome@sart.jp
委員	渡部 伸樹	さいたま赤十字病院	048-852-1111	nobuki-watanabe@sart.jp
委員	堀越 隆之	大宮シテイクリニック	048-645-1256	takayuki-horikoshi@sart.jp

編集・情報委員会（企画班委員）

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	河原 剛	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	takeshi-kawahara@sart.jp
委員	館林 正樹	医療法人豊智会 AIC 八重洲クリニック	03-6202-3370	masaki-tatebayashi@sart.jp
委員	眞壁 耕平	済生会川口総合病院	048-253-1551	k-makabe@sart.jp
委員	渡辺 高広	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takahiro-watanabe@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
副委員長	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
委員	志藤 正和	済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	内海 将人	済生会栗橋病院	0480-52-3611	m-uchiiumi@sart.jp
委員	眞壁 耕平	済生会川口総合病院	048-253-1551	k-makabe@sart.jp
委員	矢島 慧介	上尾中央総合病院	048-773-1111	k-yajima@sart.jp
委員	豊留 章裕	西大宮病院	048-644-0511	a-toyodome@sart.jp
委員	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	takashi-kiroku@sart.jp
委員	坂本 里紗	深谷赤十字病院	048-571-1511	risa-sakamoto@sart.jp
委員	大河原侑司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	yuji-okawara@sart.jp
委員	石田 仁子	白岡中央総合病院	0480-93-0661	kimiko-ishida@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会したく会費を添えて申し込みます。

フリガナ		性 別	
氏 名		男・女	生 年 月 日 西 暦 年 月 日

<p style="text-align: center;">1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
---	---------------	--

フリガナ		TEL	— —
勤務先名			
フリガナ	〒		
勤務先住所			
フリガナ	〒	TEL	— —
自宅住所			
E-mail (携帯不可)			

会誌送付先	① 勤務先	所属支部（地区）
	② 自宅	

診療放射線 技師免許	国家試験	第	回	合格
	登録	第	号	年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦	年	月
	卒業年月日	西暦	年	月
	学校			

関連分野の 最終学歴	学位	ある	なし
	学位記番号		
	授与年月		
	授与機関		

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-39
TEL 048-664-2728
FAX 048-664-2733

退会届

年 月 日

会員番号	日本診療放射線技師会
	埼玉県診療放射線技師会
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
会費納入状況	年度分まで納入済み

注) 規程により、埼玉県診療放射線技師会を退会すると日本診療放射線技師会も同時に退会となります。

決算処理

埼放技	
日放技	

会員異動届

ファックス送信票

下記の通り送信致しますので、よろしくお願い致します。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名 _____
	施設名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

*郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会員登録変更届

平成 年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入ください			
転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入	
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入ください	
	ふりがな 自宅住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 改 姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

平成 30 年度

埼玉県診療放射線技師会
日本診療放射線技師会など 年間スケジュール表

平成 30 年度 (5-7) 予定											
5 月		埼玉放技	日放技等	6 月		埼玉放技	日放技等	7 月		埼玉放技	日放技等
1	火			1	金			1	日		関東甲信越
2	水			2	土		JART 総会	2	月		
3	木			3	日			3	火		
4	金			4	月			4	水		
5	土			5	火			5	木	第 3 回 理事会	
6	日			6	水			6	金		
7	月			7	木	第 2 回 理事会		7	土		
8	火			8	金			8	日		
9	水			9	土			9	月		
10	木	第 1 回 理事会		10	日	フレッシュャーズセミナー		10	火		
11	金			11	月			11	水		
12	土			12	火			12	木		
13	日			13	水			13	金		
14	月			14	木			14	土		
15	火			15	金			15	日		
16	水			16	土			16	月		
17	木			17	日	SART 総会		17	火		
18	金			18	月			18	水		
19	土			19	火			19	木		
20	日			20	水			20	金		
21	月			21	木			21	土		
22	火			22	金			22	日		
23	水			23	土	SMC / 関東 MR		23	月		
24	木			24	日	学術講演会 (乳腺)		24	火		
25	金			25	月			25	水		
26	土			26	火			26	木		
27	日			27	水			27	金		
28	月			28	木			28	土		
29	火			29	金			29	日		
30	水			30	土		関東甲信越	30	月		
31	木							31	火		

平成 30 年度 (8-10) 予定											
8 月		埼玉放技	日放技等	9 月		埼玉放技	日放技等	10 月		埼玉放技	日放技等
1	水			1	土		統一講習会	1	月		
2	木	第 2 回 常務理事会		2	日		◇	2	火		
3	金			3	月			3	水		
4	土			4	火			4	木	第 3 回 常務理事会	
5	日			5	水			5	金		
6	月			6	木	第 4 回 理事会		6	土		
7	火			7	金			7	日		
8	水			8	土			8	月		
9	木			9	日			9	火		
10	金			10	月			10	水		
11	土			11	火			11	木		
12	日			12	水			12	金		
13	月			13	木			13	土		
14	火			14	金			14	日		
15	水			15	土			15	月		
16	木			16	日			16	火		
17	金			17	月			17	水		
18	土			18	火			18	木		
19	日			19	水			19	金		
20	月			20	木			20	土		
21	火			21	金		学術大会	21	日		
22	水			22	土		◇	22	月		
23	木			23	日		◇	23	火		
24	金			24	月			24	水		
25	土			25	火			25	木		
26	日			26	水			26	金		
27	月			27	木			27	土		
28	火			28	金			28	日		
29	水			29	土			29	月		
30	木			30	日			30	火		
31	金							31	水		

—編集後記—

私は5年程前からランニングを始めた。走るのは得意でなく、中学時代の同級生に誘われ無理やりにと
いう感じだ。そのような中、モチベーション維持のため年に数回、マラソン大会に出るのだが、大会前は
体重を非常に気にする生活になる。大会で速く走ることを目指しているわけではないが（そもそも速く走
れない）お菓子を断ち、宴会の翌日はひたすら走って体重を落とす。そのような生活をしていると、大会
が一段落するこの時期は何も考えずに食べられ、小さな、本当に小さな幸せを感じる。

気持ちが荒んでいると小さい幸せを見落とし、さらに荒むという負のスパイラルに陥るらしい。

人は幸せになると前向きになれる。小さな幸せは気持ちの持ちようという部分もあるので、日々の生活
で見つけられるよう努めたいものだ。

ちなみに今この文章を書いている時、ボン酢しょうゆが頭に浮かんでいる。10年ほど前にリメイクも
されたが、私の中では昭和の話だ。

(うし)

埼玉放射線 第252号

印刷	平成30年5月22日
発行日	平成30年5月28日
発行所	〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp
発行人	公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏 編集代表 八木沢 英樹
編集委員	清水 邦昭 大友 哲也 吉田 敦 宮崎 雄二 豊留 章裕 潮田 陽一 渡部 伸樹 堀越 隆之 肥沼 武司
表紙デザイン	肥沼 武司
印刷	〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 望月印刷株式会社 電話 048-840-2111

事務所

〒331-0812
さいたま市北区宮原町2丁目51番39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話 048-664-2728 FAX 048-664-2733
Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡辺 弘
事務員 植松 敏江
勤務時間 9:00~12:00
13:00~15:00

表紙の解説

「はなぞの」

写真提供 豊留 章裕 氏



写真提供 「春の陽射しを浴びて」 清水 理乃 氏



〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

www.sart.jp

sart@beige.ocn.ne.jp

領布価格 1,000円(会誌購読料は会費に含まれる)

